
AX8600R ソフトウェアマニュアル

メッセージ・ログレファレンス

Ver. 12.9 対応 Rev.1

AX86R-S010-C0

■ 対象製品

このマニュアルは AX8600R を対象に記載しています。

■ 輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

■ 商標一覧

Cisco は、米国 Cisco Systems, Inc. の米国および他の国々における登録商標です。

Ethernet は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

Python(R)は、Python Software Foundation の登録商標です。

RSA および RC4 は、米国およびその他の国における米国 EMC Corporation の登録商標です。

sFlow は、米国およびその他の国における米国 InMon Corp. の登録商標です。

ssh は、SSH Communications Security,Inc.の登録商標です。

UNIX は、The Open Group の米国ならびに他の国における登録商標です。

イーサネットは、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

そのほかの記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

■ マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の説明をよく読み、十分理解してください。

このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近な所に保管してください。

■ ご注意

このマニュアルの内容については、改良のため、予告なく変更する場合があります。

■ 発行

2021年 6月（第13版） AX86R-S010-C0

■ 著作権

All Rights Reserved, Copyright(C), 2012, 2021, ALAXALA Networks, Corp.

変更内容

【Ver. 12.9 対応 Rev.1 版】

表 変更内容

章・節・項・タイトル	追加・変更内容
2.4 NIF	• キュー長変更関連のシステムメッセージを追加しました。
3.2 CONFIG	• インタフェース統計モードおよびポリサー統計モード関連のシステムメッセージを追加しました。 • キュー長変更関連のシステムメッセージを追加しました。

なお、単なる誤字・脱字などはお断りなく訂正しました。

【Ver. 12.9 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
BCU	• ボード障害時の自動復旧抑止関連のシステムメッセージを追加しました。
SFU	• ボード障害時の自動復旧抑止関連のシステムメッセージを追加しました。
PRU	• ボード障害時の自動復旧抑止関連のシステムメッセージを追加しました。
NIF	• ボード障害時の自動復旧抑止関連のシステムメッセージを追加しました。
PORT	• トラッキング連携に関するシステムメッセージを追加しました。

【Ver. 12.8 対応 Rev.1 版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
NIF	• SFP+/SFP 共用ポートに関するシステムメッセージを追加しました。
CONFIG	• SFP+/SFP 共用ポートに関するシステムメッセージを追加しました。

【Ver. 12.7 対応 Rev.1 版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
メッセージ種別	• 次に示すメッセージ種別を追加しました。 SCR-KEY SCR-CNFERR SCR-CMDRSP
SOFTWARE	• トラッキング機能に関連するシステムメッセージを追加しました。
PORT	• 階層化シェーパに関連するシステムメッセージを追加しました。
VRRP	• トラッキング連携に関連するシステムメッセージを追加しました。

【Ver. 12.7 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
NIF	NIF の搭載に関するシステムメッセージを追加しました。
SOFTWARE	階層化シェーパに関連するシステムメッセージを追加しました。
CONFIG	- 階層化シェーパに関連するシステムメッセージを追加しました。 - 経路配分パターンのシステムメッセージを追加しました。
AXRP	- 経路切り戻し抑止機能のシステムメッセージを追加しました。 - リングポートがフォワーディング状態に遷移する時間に関するシステムメッセージを追加しました。

【Ver. 12.6 対応 Rev.1 版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
PRU	ポリシーベースミラーリングに関連するシステムメッセージを追加しました。
ACLLOG	本節を追加しました。

【Ver. 12.6 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
SFU	reload sfu コマンドに関連するシステムメッセージを追加しました。
PRU	reload pru コマンドに関連するシステムメッセージを追加しました。
NIF	reload nif コマンドに関連するシステムメッセージを追加しました。
SOFTWARE	ソフトウェア障害検出時の動作に関連するシステムメッセージを追加しました。
STMCTL	本節を追加しました。
STATIC	本節を追加しました。
MULTI-IPv6	マルチキャストチャンネル参加制限機能についてのシステムメッセージを追加しました。

【Ver. 12.4 対応 Rev.1 版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
SCRIPT-MNG	システムメッセージを追加しました。
IGMPsnoop	本節を追加しました。
MLDsnoop	本節を追加しました。
EFMOAM	本節を追加しました。

項目	追加・変更内容
OSPFv3	システムメッセージを追加しました。
BGP4+	システムメッセージを追加しました。
MULTI-IPv6	システムメッセージを追加しました。

【Ver. 12.4 対応版】

表 変更内容

項目	追加・変更内容
SOFTWARE	BFD 関連のシステムメッセージを追加しました。
SCRIPT-MNG	本節を追加しました。
SCRIPT	本節を追加しました。
EVENT-MNG	本節を追加しました。
VLAN	本節を追加しました。
STP	本節を追加しました。
AXRP	本節を追加しました。
L2LD	本節を追加しました。
LLDP	本節を追加しました。
BGP4	4 バイト AS 関連のシステムメッセージを追加しました。
BGP4+	4 バイト AS 関連のシステムメッセージを追加しました。
MULTI-IPv4	系切替時の無停止マルチキャスト中継機能関連のシステムメッセージを追加しました。
BFD	本節を追加しました。
TRACK	本節を追加しました。

はじめに

■ 対象製品およびソフトウェアバージョン

このマニュアルは AX8600R のソフトウェア Ver. 12.9 の機能について記載しています。ソフトウェア機能のうち、オプションライセンスで提供する機能については次のマークで示します。

【OP-SHPS】

オプションライセンス OP-SHPS についての記述です。

【OP-SHPE】

オプションライセンス OP-SHPE についての記述です。

操作を行う前にこのマニュアルをよく読み、書かれている指示や注意を十分に理解してください。また、このマニュアルは必要なときにすぐ参照できるよう使いやすい場所に保管してください。

■ このマニュアルの訂正について

このマニュアルに記載の内容は、ソフトウェアと共に提供する「リリースノート」および「マニュアル訂正資料」で訂正する場合があります。

■ 対象読者

本装置を利用したネットワークシステムを構築し、運用するシステム管理者の方を対象としています。

また、次に示す知識を理解していることを前提としています。

- ネットワークシステム管理の基礎的な知識

■ このマニュアルの URL

このマニュアルの内容は下記 URL に掲載しております。

<https://www.alaxala.com/>

■ マニュアルの読書手順

本装置の導入、セットアップ、日常運用までの作業フローに従って、それぞれの場合に参照するマニュアルを次に示します。

●装置の開梱から、初期導入時の基本的な設定を知りたい

クイックスタートガイド

(AX86R-Q001)

●ハードウェアの設備条件、取扱方法を調べる

ハードウェア取扱説明書

(AX86R-H001)

●ソフトウェアの機能、コンフィグレーションの設定、運用コマンドを知りたい

▽まず、ガイドで使用する機能や収容条件についてご確認ください。

- ・収容条件
- ・ログインなどの基本操作
- ・イーサネット
- ・フィルタ, QoS
- ・ネットワークの管理
- ・IPパケット中継
- ・ユニキャストルーティング
- ・マルチキャストルーティング

コンフィグレーションガイド
Vol. 1

(AX86R-S001)

コンフィグレーションガイド
Vol. 2

(AX86R-S002)

コンフィグレーションガイド
Vol. 3

(AX86R-S003)

▽必要に応じて、レファレンスをご確認ください。

- ・コマンドの入力シンタックス, パラメータ詳細について

コンフィグレーション
コマンドレファレンス
Vol. 1

(AX86R-S004)

コンフィグレーション
コマンドレファレンス
Vol. 2

(AX86R-S005)

コンフィグレーション
コマンドレファレンス
Vol. 3

(AX86R-S006)

運用コマンドレファレンス
Vol. 1

(AX86R-S007)

運用コマンドレファレンス
Vol. 2

(AX86R-S008)

運用コマンドレファレンス
Vol. 3

(AX86R-S009)

- ・システムメッセージとログについて

メッセージ・ログレファレンス

(AX86R-S010)

- ・MIBについて

MIBレファレンス

(AX86R-S011)

●トラブル発生時の対処方法について知りたい

トラブルシューティングガイド

(AX86R-T001)

■ このマニュアルでの表記

AC	Alternating Current
ACK	ACKnowledge
ARP	Address Resolution Protocol
AS	Autonomous System
AUX	Auxiliary
AXRP	Autonomous eXtensible Ring Protocol
BCU	Basic Control Unit
BEQ	Best Effort Queueing
BFD	Bidirectional Forwarding Detection
BGP	Border Gateway Protocol
BGP4	Border Gateway Protocol - version 4
BGP4+	Multiprotocol Extensions for Border Gateway Protocol - version 4
bit/s	bits per second *bpsと表記する場合があります。
BOOTP	Bootstrap Protocol
BPDU	Bridge Protocol Data Unit
C-Tag	Customer Tag

CA	Certificate Authority
CC	Continuity Check
CCM	Continuity Check Message
CFM	Connectivity Fault Management
CFP	C Form-factor Pluggable
CIDR	Classless Inter-Domain Routing
CLI	Command Line Interface
CoS	Class of Service
CRC	Cyclic Redundancy Check
CSMA/CD	Carrier Sense Multiple Access with Collision Detection
DA	Destination Address
DC	Direct Current
DCE	Data Circuit terminating Equipment
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol
DHCPv6	Dynamic Host Configuration Protocol for IPv6
DNS	Domain Name System
DNSSL	Domain Name System Search List
DR	Designated Router
DSA	Digital Signature Algorithm
DSAP	Destination Service Access Point
DSCP	Differentiated Services Code Point
DSS	Digital Signature Standard
DTE	Data Terminal Equipment
E-mail	Electronic mail
EAP	Extensible Authentication Protocol
EAPOL	EAP Over LAN
ECDSA	Elliptic Curve Digital Signature Algorithm
EFM	Ethernet in the First Mile
ETH-AIS	Ethernet Alarm Indicator Signal
ETH-LCK	Ethernet Locked Signal
FAN	Fan Unit
FCS	Frame Check Sequence
FE	Forwarding Engine
HDC	Hardware Dependent Code
HMAC	Keyed-Hashing for Message Authentication
IANA	Internet Assigned Numbers Authority
ICMP	Internet Control Message Protocol
ICMPv6	Internet Control Message Protocol version 6
ID	Identifier
IEEE	Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.
IETF	the Internet Engineering Task Force
IGMP	Internet Group Management Protocol
IP	Internet Protocol
IPv4	Internet Protocol version 4
IPv6	Internet Protocol version 6
ISO	International Organization for Standardization
ISP	Internet Service Provider
L2LD	Layer 2 Loop Detection
LAN	Local Area Network
LCD	Liquid Crystal Display
LED	Light Emitting Diode
LLC	Logical Link Control
LLDP	Link Layer Discovery Protocol
LLPQ	Low Latency Priority Queueing
LLQ	Low Latency Queueing
LLRLQ	Low Latency Rate Limited Queueing
LSA	Link State Advertisement
MA	Maintenance Association
MAC	Media Access Control
MC	Memory Card
MD5	Message Digest 5
MDI	Medium Dependent Interface
MDI-X	Medium Dependent Interface crossover
MEG	Maintenance Entity Group
MEP	Maintenance association End Point/Maintenance entity group End Point
MIB	Management Information Base
MIP	Maintenance domain Intermediate Point
MLD	Multicast Listener Discovery
MP	Maintenance Point
MRU	Maximum Receive Unit
MSTP	Multiple Spanning Tree Protocol
MTU	Maximum Transfer Unit
NAK	Not AcKnowledge
NAS	Network Access Server

NBMA	Non-Broadcast Multiple-Access
NDP	Neighbor Discovery Protocol
NIF	Network Interface
NSAP	Network Service Access Point
NSR	NonStop Routing
NSSA	Not So Stubby Area
NTP	Network Time Protocol
OAM	Operations, Administration, and Maintenance
OSPF	Open Shortest Path First
OUI	Organizationally Unique Identifier
PA	Protocol Accelerator
packet/s	packets per second *ppsと表記する場合があります。
PAD	PADding
PC	Personal Computer
PDU	Protocol Data Unit
PE-ME	Programmable Engine Micro Engine
PE-NIF	Programmable Engine Network Interface
PGP	Pretty Good Privacy
PID	Protocol IDentifier
PIM	Protocol Independent Multicast
PIM-SM	Protocol Independent Multicast-Sparse Mode
PIM-SSM	Protocol Independent Multicast-Source Specific Multicast
PQ	Priority Queueing
PRU	Packet Routing Unit
PS	Power Supply
PSINPUT	Power Supply Input
PSU	Packet Switching Unit
QoS	Quality of Service
QSFP+	Quad Small Form factor Pluggable Plus
QSFP28	28Gbps Quad Small Form factor Pluggable
RA	Router Advertisement
RADIUS	Remote Authentication Dial In User Service
RDI	Remote Defect Indication
RDNSS	Recursive Domain Name System Server
RFC	Request For Comments
RGQ	Rate Guaranteed Queueing
RIP	Routing Information Protocol
RIPng	Routing Information Protocol next generation
RMON	Remote Network Monitoring MIB
RPF	Reverse Path Forwarding
RQ	ReQuest
RR	Round Robin
RSA	Rivest, Shamir, Adleman
S-Tag	Service Tag
SA	Source Address
SD	Secure Digital
SFD	Start Frame Delimiter
SFP	Small Form-factor Pluggable
SFP+	enhanced Small Form-factor Pluggable
SFU	Switch Fabric Unit
SHA1	Secure Hash Algorithm 1
SMTP	Simple Mail Transfer Protocol
SNAP	Sub-Network Access Protocol
SNMP	Simple Network Management Protocol
SNPA	Subnetwork Point of Attachment
SNTP	Simple Network Time Protocol
SOP	System Operational Panel
SPF	Shortest Path First
SSAP	Source Service Access Point
SSH	Secure Shell
SSW	Sub-crossbar SWitch
STP	Spanning Tree Protocol
TA	Terminal Adapter
TACACS+	Terminal Access Controller Access Control System Plus
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol
TLV	Type, Length, and Value
TOS	Type Of Service
TPID	Tag Protocol Identifier
TTL	Time To Live
UDLD	Uni-Directional Link Detection
UDP	User Datagram Protocol
URL	Uniform Resource Locator
uRPF	unicast Reverse Path Forwarding
VLAN	Virtual LAN

VPN	Virtual Private Network
VRF	Virtual Routing and Forwarding/Virtual Routing and Forwarding Instance
VRRP	Virtual Router Redundancy Protocol
WAN	Wide Area Network
WFQ	Weighted Fair Queueing
WWW	World-Wide Web

■ KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト）、1MB（メガバイト）、1GB（ギガバイト）、1TB（テラバイト）はそれぞれ 1024 バイト、 1024^2 バイト、 1024^3 バイト、 1024^4 バイトです。

目次

1	システムメッセージ	1
1.1	システムメッセージのフォーマット	2
1.1.1	画面出力時のフォーマット	2
1.1.2	ログの種類	2
1.1.3	運用ログのフォーマット	4
1.1.4	統計ログのフォーマット	5
1.2	システムメッセージの要素	6
1.2.1	イベントレベル	6
1.2.2	メッセージ種別	6
1.2.3	メッセージ種別詳細情報	8
2	ハードウェア	11
2.1	BCU	12
2.2	SFU	24
2.3	PRU	28
2.4	NIF	43
2.5	PS	49
2.6	FAN	52
3	運用管理	55
3.1	SOFTWARE	56
3.2	CONFIG	72
3.3	ACCESS	78
3.4	NTP	86
3.5	SOP-KEY	88
3.6	SOP-RSP	90
3.7	SNMP	94
3.8	SCRIPT-MNG	96
3.9	SCRIPT	98
3.10	EVENT-MNG	99
4	ネットワークインタフェース	101
4.1	PORT	102
4.2	ChGr	105

5	レイヤ 2 スイッチング	111
5.1	VLAN	112
5.2	STP	113
5.3	AXRP	121
5.4	IGMPsnoop	123
5.5	MLDsnoop	125
6	ネットワーク監視機能	127
6.1	ACLLOG	128
6.2	L2LD	130
6.3	STMCTL	133
6.4	TRACK	135
7	ネットワークの管理	137
7.1	EFMOAM	138
7.2	CFM	139
7.3	LLDP	144
8	IP パケット中継	145
8.1	IP	146
8.2	PBR	152
8.3	DHCP	153
8.4	VRRP	154
9	ユニキャストルーティング	157
9.1	STATIC	158
9.2	RIP	159
9.3	RIPng	163
9.4	OSPF	165
9.5	OSPFv3	171
9.6	BGP4	176
9.7	BGP4+	205
9.8	UNICAST	234
10	マルチキャストルーティング	237
10.1	PIM-IPv4	238
10.2	IGMP	241

10.3	PIM-IPv6	242
10.4	MLD	245
10.5	MULTI-IPv4	246
10.6	MULTI-IPv6	249
10.7	MULTI-INFO	254

11	ネットワーク経路監視機能	255
11.1	BFD	256

索引	259
----	-----

1 システムメッセージ

1.1 システムメッセージのフォーマット

本装置は動作状態の変化や障害情報など、管理者に通知することを目的とした情報をメッセージとして運用端末に出力します。メッセージは運用端末に出力するほか、運用ログとして装置内に保存します。この情報で装置の運用状態を管理できます。

本装置が出力するメッセージの種類と参照先を次の表に示します。

表 1-1 メッセージの種類と参照先

メッセージの種類	内容	参照先
システムメッセージ	装置関連の障害情報およびイベント情報	このマニュアル
コンフィグレーションエラーメッセージ	コンフィグレーションコマンド入力に対して本装置が出力するメッセージ	「コンフィグレーションコマンドレファレンス」の「コンフィグレーション編集時のエラーメッセージ」
コマンド応答メッセージ	運用コマンド入力に対して本装置が出力するメッセージ	「運用コマンドレファレンス」の各コマンドの「応答メッセージ」

1.1.1 画面出力時のフォーマット

システムメッセージを画面に出力するときのフォーマットを次の図に示します。

図 1-1 画面出力時のフォーマット

```

yyyy/mm/dd hh:mm:ss zzzz 1-b(c) ee kkkkkkkk [iii...iii] xxxxxxxx
      1          2 3 4      5          6          7

yy yyyyyyyyyyyy ttt...ttt
      8          9

```

- 1.時刻：画面出力時の年月日時分秒，およびタイムゾーンを表示します。
- 2.BCU 番号：イベントが発生した BCU の搭載スロット番号を表示します。
- 3.系状態：イベントが発生した BCU の系状態を表示します。運用系の場合は A，待機系の場合は S を表示します。
- 4.イベントレベル（S0～S7）
- 5.メッセージ種別
- 6.メッセージ種別詳細情報（表示の有無はメッセージ種別に依存します）
- 7.メッセージ識別子：メッセージを識別するための一意な識別子を表示します。
- 8.付加情報：イベントの詳細情報をコードで表示します。
- 9.メッセージテキスト（最大 316 文字まで表示します）

1.1.2 ログの種類

本装置が取得するログは運用ログと統計ログの 2 種類があります。運用ログはシステムメッセージ，コマンド応答メッセージ，コンフィグレーションエラーメッセージおよび入力コマンドをログとして時系列で取得します。統計ログはシステムメッセージの統計情報をログとして取得します。

運用ログと統計ログの特徴を次の表に示します。

表 1-2 運用ログと統計ログの特徴

項目	運用ログ	統計ログ
ログの内容	メッセージ，入力コマンドを時系列で取得します。※1	同一のシステムメッセージ※2 ごとに，最も古い発生時刻と最新の発生時刻，累積回数の統計情報を記録します。
取得の対象とする情報	- システムメッセージ - コマンド応答メッセージ - コンフィグレーションエラーメッセージ - 入力コマンド	システムメッセージ
ログの取得数	- 運用ログの取得数は 20 万件※3 です。 - メッセージ種別ごとに最小保存件数が決められています。最小保存件数はコンフィグレーションコマンド logging save-count で変更できます。デフォルトは一律 500 件です。 - メッセージ種別 SCR-KEY, SCR-CNFERR, および SCR-CMDRSP については，最大保存件数は 20000 件です。	統計ログの取得数は 5000 件です。
ログの取得数オーバー時の処理	保存している運用ログのうち，メッセージ種別ごとの最小保存件数分の運用ログを除いた古い運用ログを削除します。	保存している統計ログのうち，最もイベントレベルが低い統計ログを削除します。該当する統計ログが複数ある場合，該当する統計ログの中で最後の発生時刻が最も古い統計ログを削除します。

注※1

複数のログを同時に取得すると，時系列順に表示されないことがあります。

注※2

次の表示内容が一致した場合に同一のシステムメッセージと見なします。

- ・BCU 番号
- ・系状態
- ・イベントレベル
- ・メッセージ種別
- ・メッセージ種別詳細情報
- ・メッセージ識別子
- ・付加情報の上位 2 桁

ただし，メッセージ種別詳細情報がプロトコルなどの論理的な部位および番号を示す場合，同一のシステムメッセージと見なす条件からメッセージ種別詳細情報を除外します。

注※3

取得できる運用ログの件数は実際に取得したそれぞれの運用ログの長さによって異なりますが，最低でも 20 万件までの運用ログが取得できます。

1.1.3 運用ログのフォーマット

運用ログの各フォーマットを次に示します。

(1) システムメッセージ

システムメッセージのフォーマットを次の図に示します。

図 1-2 システムメッセージのフォーマット

```

yyyy/mm/dd hh:mm:ss[.nnn] zzzz 1-b(c) ee kkkkkkkk [iii...iii] xxxxxxxx
  1          2 3 4          5          6          7

yy yyyyyyyyyyyy ttt...ttt
  8          9

```

- 1.時刻：ログ取得時の年月日時分秒，およびタイムゾーンを表示します。
show logging コマンドで表示するときは，コマンド実行時点のタイムゾーンで表示します。また，show logging コマンドのパラメータ指定によってミリ秒まで表示できます。
- 2.BCU 番号：イベントが発生した BCU の搭載スロット番号を表示します。
- 3.系状態：イベントが発生した BCU の系状態を表示します。運用系の場合は A，待機系の場合は S を表示します。
- 4.イベントレベル（S0～S7）
- 5.メッセージ種別
- 6.メッセージ種別詳細情報（表示の有無はメッセージ種別に依存します）
- 7.メッセージ識別子：メッセージを識別するための一意な識別子を表示します。
- 8.付加情報：イベントの詳細情報をコードで表示します。
- 9.メッセージテキスト（最大 316 文字まで表示します）

(2) 入力コマンド，コマンド応答メッセージおよびコンフィグレーションエラーメッセージのフォーマット

入力コマンド，コマンド応答メッセージおよびコンフィグレーションエラーメッセージのフォーマットを次の図に示します。

図 1-3 入力コマンド，コマンド応答メッセージおよびコンフィグレーションエラーメッセージのフォーマット

```

yyyy/mm/dd hh:mm:ss[.nnn] zzzz 1-b(c) ee kkkkkkkk xxxx(yyyy):xxxx ttt...ttt
  1          2 3 4          5          6          7

```

- 1.時刻：ログ取得時の年月日時分秒，およびタイムゾーンを表示します。
show logging コマンドで表示するときは，コマンド実行時点のタイムゾーンで表示します。また，show logging コマンドのパラメータ指定によってミリ秒まで表示できます。
- 2.BCU 番号：イベントが発生した BCU の搭載スロット番号を表示します。
- 3.系状態：イベントが発生した BCU の系状態を表示します。運用系の場合は A，待機系の場合は S を表示します。
- 4.イベントレベル（S6 固定）
- 5.メッセージ種別
- 6.アカウントおよび端末情報（取得できないときは表示しません）

7. メッセージテキスト（最大 316 文字まで表示します）：入力コマンド、コマンド応答メッセージおよびコンフィグレーションエラーメッセージを表示します。

メッセージ中に改行がある場合、改行個所を「^J」で表示します。また、コンフィグレーションエラーメッセージでは、メッセージの最後に詳細コードを表示することがあります。

1.1.4 統計ログのフォーマット

統計ログのフォーマットを次の図に示します。

図 1-4 統計ログのフォーマット

```

1-b(c) ee kkkkkkkk [iii...iii] xxxxxxxx yy yyyyyyyyyyyy
 1 2 3 4 5 6 7
yyyy/mm/dd hh:mm:ss zzzz yyyy/mm/dd hh:mm:ss zzzz cccccccccc
                        8 9 10

```

1. BCU 番号：イベントが発生した BCU の搭載スロット番号を表示します。
2. 系状態：イベントが発生した BCU の系状態を表示します。運用系の場合は A，待機系の場合は S を表示します。
3. イベントレベル（S0～S7）
4. メッセージ種別
5. メッセージ種別詳細情報（表示の有無はメッセージ種別に依存します）
6. メッセージ識別子：メッセージを識別するための一意な識別子を表示します。
7. 付加情報：イベントの詳細情報をコードで表示します。
8. 該当イベントの最後の発生時刻
9. 該当イベントの最古の発生時刻
10. 該当イベントの発生回数

1.2 システムメッセージの要素

1.2.1 イベントレベル

発生したイベントは、その内容によって8段階でレベル分けされます。イベントレベルとその説明を次の表に示します。

イベントレベルがS0～S4のイベント発生時には何らかの対応が必要です。イベントレベルがS5のイベント発生時には対応内容の確認を推奨します。

表 1-3 イベントレベル一覧

イベントレベル	説明
S0	装置全体が再起動
S1	ハードウェアの一部が停止する障害（該当ハードウェアの再起動）
S2	ソフトウェアの一部が停止する障害
S3	S1, S2 以外の障害
S4	警告
S5	注意（一部正常動作も含む）
S6	正常動作の記録
S7	各機能の詳細な記録

1.2.2 メッセージ種別

イベント発生部位または機能をメッセージ種別で表示します。メッセージ種別一覧を次の表に示します。

表 1-4 メッセージ種別一覧

メッセージ種別	イベント発生部位または機能
BCU	BCU
SFU	SFU
PRU	PRU
NIF	NIF
PS	電源機構
FAN	ファン
KEY	入力コマンド
CONFIGERR	コンフィグレーションエラーメッセージ
CMDRSP	コマンド応答メッセージ
SOFTWARE	ソフトウェア
CONFIG	コンフィグレーション

メッセージ種別	イベント発生部位または機能
ACCESS	装置アクセス
NTP	NTP, SNTP
SOP-KEY	システム操作パネル操作
SOP-RSP	システム操作パネル応答メッセージ
SNMP	SNMP
SCRIPT-MNG	スクリプト管理
SCRIPT	ユーザ作成スクリプト
EVENT-MNG	イベント管理
SCR-KEY	スクリプトによる入力コマンド
SCR-CNFERR	スクリプトによるコンフィグレーションエラーメッセージ
SCR-CMDRSP	スクリプトによるコマンド応答メッセージ
PORT	ポート
ChGr	リンクアグリゲーション
VLAN	VLAN
STP	スパニングツリー
AXRP	Ring Protocol
IGMPsnoop	IGMP snooping
MLDsnoop	MLD snooping
ACLLOG	アクセスリストロギング
L2LD	L2 ループ検知
STMCTL	ストームコントロール
TRACK	トラック
EFMOAM	IEEE802.3ah OAM
CFM	CFM
LLDP	LLDP
IP	IPv4, IPv6
PBR	ポリシーベースルーティング
DHCP	DHCP/BOOTP リレーエージェント, DHCPv6 リレーエージェント
VRRP	VRRPv4, VRRPv6
STATIC	スタティックルーティング (IPv4, IPv6)
RIP	RIP

メッセージ種別	イベント発生部位または機能
RIPng	RIPng
OSPF	OSPF
OSPFv3	OSPFv3
BGP4	BGP4
BGP4+	BGP4+
UNICAST	ユニキャストルーティングプロトコル (IPv4, IPv6)
PIM-IPv4	IPv4 PIM
IGMP	IGMP
PIM-IPv6	IPv6 PIM
MLD	MLD
MULTI-IPv4	IPv4 マルチキャストルーティングプロトコル
MULTI-IPv6	IPv6 マルチキャストルーティングプロトコル
MULTI-INFO	マルチキャストルーティングプロトコル
BFD	BFD

1.2.3 メッセージ種別詳細情報

装置内で同じ種類の部位が複数存在する場合、イベントが発生した部位を詳細情報で表示します。PRU や NIF などの物理的な部位および番号を表示するとき、プロトコルなどの論理的な部位および番号を表すときがあります。また、メッセージによって表示するときと表示しないときがあります。

メッセージ種別詳細情報の表示形式一覧を次の表に示します。

表 1-5 メッセージ種別詳細情報の表示形式一覧

メッセージ種別詳細情報の表示形式	イベント発生部位と表示内容
SFU:<sfu no.> [<sfu type>]	SFU <sfu no.> : SFU 番号 <sfu type> : SFU の型名略称※
PRU:<pru no.> [<pru type>]	PRU <pru no.> : PRU 番号 <pru type> : PRU の型名略称※
NIF:<nif no.> [<nif type>]	NIF <nif no.> : NIF 番号 <nif type> : NIF の型名略称※
PORT: <nif no.>/<port no.>	ポート <nif no.> : NIF 番号 <port no.> : ポート番号

メッセージ種別詳細情報の表示形式	イベント発生部位と表示内容
MGMT: 0	マネージメントポート
PS:<ps no.>	電源機構 <ps no.>：電源機構のスロット番号
FAN:<fan unit no.>	ファン <fan unit no.>：ファンユニット番号
ChGr:<channel group number>	チャンネルグループ <channel group number>：チャンネルグループ番号
VLAN:<vlan id>	VLAN <vlan id>：VLAN ID
RING:<ring id>	Ring Protocol <ring id>：リング ID
VRID:<vrid>	仮想ルータ <vrid>：仮想ルータ ID
VRF:<vrf id>	VRF <vrf id>：VRF ID

注※ 型名略称は、システムメッセージによって省略されることがあります。

2 ハードウェア

2.1 BCU

メッセージ種別 BCU のシステムメッセージを次の表に示します。

表 2-1 メッセージ種別 BCU のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
00003001	S6	The BCU restarted because the RESET switch was pressed.
		リセットスイッチが押されたため、BCU を再起動しました。 [対応] なし。
00003002	S6	The BCU restarted because of a default restart.
		デフォルトリスタートによって BCU を再起動しました。 [対応] なし。
00003003	S0	The BCU restarted because the software detected a fatal error.
		致命的障害をソフトウェアが検出したため、BCU を再起動しました。 [対応] ダンプ情報、ログ情報、およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
00003004	S1	The BCU restarted because the software detected a fatal error.
		致命的障害をソフトウェアが検出したため、BCU を再起動しました。 [対応] ダンプ情報、ログ情報、およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
00003005	S6	The BCU restarted because of a user operation.
		reload コマンドによって BCU を再起動しました。 [対応] なし。
00003006	S0	The BCU restarted because the kernel detected a fatal software error.
		ソフトウェアの致命的障害をカーネルが検出したため、BCU を再起動しました。 [対応] ダンプ情報、ログ情報、およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
00003007	S1	The BCU restarted because the kernel detected a fatal software error.
		ソフトウェアの致命的障害をカーネルが検出したため、BCU を再起動しました。 [対応] ダンプ情報、ログ情報、およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
00003008	S0	The BCU restarted because of a WDT timeout.
		WDT（ウォッチドッグタイマ）タイムアウトによって BCU を再起動しました。 [対応] ダンプ情報、ログ情報、およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
00003009	S1	The BCU restarted because of a WDT timeout.
		WDT（ウォッチドッグタイマ）タイムアウトによって BCU を再起動しました。 [対応] ダンプ情報、ログ情報、およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
00003010	S0	The BCU restarted because the kernel detected a fatal hardware error.
		ハードウェアの致命的障害をカーネルが検出したため、BCU を再起動しました。 [対応] BCU を交換してください。
00003011	S1	The BCU restarted because the kernel detected a fatal hardware error.
		ハードウェアの致命的障害をカーネルが検出したため、BCU を再起動しました。 [対応] BCU を交換してください。
00003012	S0	The BCU restarted because the hardware detected a fatal hardware error.
		ハードウェアの致命的障害をハードウェアが検出したため、BCU を再起動しました。 [対応] BCU を交換してください。
00003013	S1	The BCU restarted because the hardware detected a fatal hardware error.
		ハードウェアの致命的障害をハードウェアが検出したため、BCU を再起動しました。 [対応] BCU を交換してください。
00003014	S6	The BCU restarted because of an auto restart by software.
		ソフトウェアによる自動再起動によって BCU を再起動しました。 [対応] なし。
00003015	S6	The BCU restarted because the ACH switch was pressed.
		ACH スイッチが押されたため、BCU を再起動しました。 [対応] なし。
00003016	S0	The BCU will restart to correct a transient error. When the BCU corrects the error, there is no need to change the BCU.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		一時的な故障を修復するため、BCU を再起動します。 一時的な故障が正常に修復できた場合、BCU の交換は不要です。 [対応] 再起動後に、障害の回復に成功したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合（正常に再起動が完了した場合）は継続して運用できるため、BCU の交換は不要です。失敗した場合（回復中に障害が発生した場合）は、BCU を交換してください。
00003017	S1	The BCU will restart to correct a transient error. When the BCU corrects the error, there is no need to change the BCU.
		一時的な故障を修復するため、BCU を再起動します。 一時的な故障が正常に修復できた場合、BCU の交換は不要です。 [対応] 再起動後に、障害の回復に成功したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合（正常に再起動が完了した場合）は継続して運用できるため、BCU の交換は不要です。失敗した場合（回復中に障害が発生した場合）は、BCU を交換してください。
00200100	S3	An access error was detected on the internal flash memory.
		内蔵フラッシュメモリへのアクセスエラーを検出しました。 [対応] BCU を交換してください。
00200201	S1	The BCU will restart to correct a transient error. When the BCU corrects the error, there is no need to change the BCU.
		一時的な故障を修復するため、BCU を再起動します。 一時的な故障が正常に修復できた場合、BCU の交換は不要です。 [対応] 再起動後に、障害の回復に成功したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合（正常に再起動が完了した場合）は継続して運用できるため、BCU の交換は不要です。失敗した場合（回復中に障害が発生した場合）は、BCU を交換してください。
01101001	S6	Initialization is complete.
		初期化が完了しました。 [対応] なし。
01101002	S3	Initialization failed because the BCU is unknown.
		不明な BCU のため、初期化できません。 [対応] 1. BCU が正しく挿入されているか確認してください。 2. ソフトウェアバージョンでサポートされていない BCU です。BCU 種別とソフトウェアのバージョンを確認して、BCU を交換するか、ソフトウェアをアップデートしてください。 3. 本装置でサポートされていない BCU です。BCU を交換してください。
01101003	S6	The BCU will be restarted because of the user operation.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		ユーザ操作によって BCU を再起動します。 [対応] なし。
01101004	S6	The BCU will be restarted because the RESET switch was pressed.
		リセットスイッチによって BCU を再起動します。 [対応] なし。
01101005	S5	The BCU redundancy status changed from duplex to simplex.
		BCU の二重化状態が、二重化運用中から一重化運用中になりました。 [対応] なし。
01101006	S6	The BCU redundancy status changed from simplex to duplex.
		BCU の二重化状態が、一重化運用中から二重化運用中になりました。 [対応] なし。
01101007	S6	The other BCU went down.
		他系の BCU がダウンしました。 [対応] なし。
01101008	S6	The time was synchronized with the time of the active BCU.
		時刻を運用系に合わせました。このメッセージは待機系でだけ表示されます。 [対応] なし。
01101009	S6	The standby BCU will be inactivated by a command operation.
		コマンド操作によって待機系 BCU を停止します。 [対応] なし。
0110100a	S6	The standby BCU will be activated by a command operation.
		コマンド操作によって待機系 BCU を起動します。 [対応] なし。
0110100b	S6	The standby BCU will be inactivated by an operation from the system operation panel.
		システム操作パネルからの操作によって、待機系 BCU を停止します。 [対応] なし。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
0110100c	S6	The standby BCU will be activated by an operation from the system operation panel.
		システム操作パネルからの操作によって、待機系 BCU を起動します。 [対応] なし。
0110100d	S5	The BCU was switched over from standby to active.
		待機系から運用系に切り替えました。 [対応] 1. ユーザ操作による系切替の場合は、問題ありません。 2. それ以外の場合、show logging コマンドまたは show logging standby コマンドを実行して、障害のメッセージを確認したあとそのメッセージに合わせて対応してください。新待機系が起動していない場合は、しばらく待ってから確認してください。
0110100e	S5	The BCU was switched over from active to standby.
		運用系から待機系に切り替えました。 [対応] 1. ユーザ操作による系切替の場合は、問題ありません。 2. それ以外の場合、show logging コマンドまたは show logging standby コマンドを実行して、障害のメッセージを確認したあとそのメッセージに合わせて対応してください。新待機系が起動していない場合は、しばらく待ってから確認してください。
0110100f	S6	The BCU will be restarted because of a BCU switchover occurred.
		二重化運用中ではない状態で系切替が発生したため、BCU を再起動します。このメッセージは新運用系で表示されます。 [対応] なし。
01101010	S6	The BCU will be switched over from active to standby and restart, because the ACH switch was pressed.
		ACH スイッチが押されたため、運用系から待機系に切り替えて BCU を再起動します。 [対応] なし。
01101011	S3	A fatal error was detected on the other BCU.
		他系の BCU で致命的な障害が発生しました。 [対応] 他系 BCU が再起動したあと、show logging コマンドまたは show logging standby コマンドを実行して障害内容を確認して、そのメッセージに合わせて対応してください。
01101012	S3	An error was detected by the health check between the active BCU and the standby BCU.
		BCU 間のヘルスチェックで、エラーを検出しました。 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		1. BCU が正しく挿入されていないおそれがあります。BCU 交換直後の場合は搭載状態を確認してください。 2. 障害の原因と思われる BCU を再起動します。再起動後、同一の障害が発生しない場合は対応不要です。 3. 再起動後も同一の障害が発生する場合は、再起動した系の BCU を交換してください。 4. 上記対応後も解決しない場合、3 で交換した系と反対の BCU を交換してください。 5. 上記対応後も解決しない場合、筐体を交換してください。
01101013	S3	An error was detected by a health check of the BCU.
		BCU 内のヘルスチェックで、エラーを検出しました。 [対応] 1. BCU が正しく挿入されていないおそれがあります。BCU 交換直後の場合は搭載状態を確認してください。 2. 障害の原因と思われる BCU を再起動します。再起動後、同一の障害が発生しない場合は対応不要です。 3. 再起動後も同一の障害が発生する場合は、再起動した系の BCU を交換してください。
01101014	S1	The BCU will be restarted because a hardware error was detected.
		ハードウェア障害を検出したため、BCU を再起動します。 [対応] BCU を交換してください。
01101015	S5	The BCU has been extracted.
		BCU の抜去を検出しました。 [対応] BCU が抜去された、または正しく挿入されていないおそれがあります。BCU が正しく挿入されているか確認してください。
01101016	S5	The BCU has been inserted.
		BCU の挿入を検出しました。 [対応] なし。
01101018	S3	A failure recovery of the BCU has been restrained.
		BCU 障害からの復旧は抑止されています。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、障害が発生している場合はそのメッセージに対応した処置をしてください。 障害状態から復旧するには、BCU を交換するか、または BCU を再起動してください。
01211001	S4	The inlet temperature of the device dropped to 2 degrees C or less, and a low temperature warning was detected.
		装置の入気温度が 2℃以下になって低温注意を検出しました。 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		装置周辺の環境（室温など）を確認して、改善してください。
01211002	S6	The low temperature warning was cleared because the inlet temperature of the device rose to 5 degrees C or more.
		装置の入気温度が 5℃以上になったため、低温注意から回復しました。 [対応] なし。
01211003	S4	The inlet temperature of the device rose to 43 degrees C or more, and a high temperature warning was detected.
		装置の入気温度が 43℃以上になって高温注意を検出しました。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認して、改善してください。 2. ファンを確認して、障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。
01211004	S6	The high temperature warning was cleared because the inlet temperature of the device dropped to 40 degrees C or less.
		装置の入気温度が 40℃以下になったため、高温注意から回復しました。 [対応] なし。
01211005	S4	The inlet temperature of the device rose to 53 degrees C or more, and is approaching a high temperature that might affect device operation.
		装置の入気温度が 53℃以上になって、装置の運用に支障を来す温度に近づいています。 [対応] 1. 装置が誤動作を起こすおそれがあるため、すぐに装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認して、改善してください。 2. ファンを確認して、障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。
01211006	S6	The inlet temperature of the device has been restored to 50 degrees C or less from a temperature that could have affected device operation. Care must still be taken because the temperature is still over the recommended maximum.
		装置の入気温度が、装置の運用に支障を来す温度から 50℃以下に回復しました。しかし、まだ許容範囲を上回る温度なため注意が必要です。 [対応] 1. 装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認して、改善してください。 2. ファンを確認して、障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。
01211007	S3	The inlet temperature of the device rose to 65 degrees C or more, and has reached a temperature that might severely damage the device.
		装置の入気温度が 65℃以上になって、装置の運用に致命的な障害を与える温度に達しました。 [対応] 1. すぐに装置周辺の環境（通風，熱源の有無など）を確認して、改善してください。 2. ファンを確認して、障害があれば障害のあるファンを含むファンユニットを交換してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
01211008	S1	The BCU will stop because of a hardware failure.
		ハードウェア障害を検出したため、BCU を停止します。 [対応] BCU を交換してください。
01211009	S6	The inlet temperature of the device rose to greater than or equal to the temperature set by the 'system temperature-warning-level' configuration command.(temperature = <temperature> degrees C)
		装置の入気温度がコンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level で設定した温度以上になりました。 • <temperature> 装置の温度 (摂氏) [対応] 装置の温度が指定した温度に達しているため、装置周辺の環境 (ファンの状態、通風、熱源の有無など) を確認してください。
0121100a	S6	The inlet temperature of the device dropped 3 degrees C or more from the temperature set by the 'system temperature-warning-level' configuration command.
		装置の入気温度がコンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level で設定した温度より 3℃以上下がりました。 [対応] なし。
0121100b	S6	The mean inlet temperature of the device rose to greater than or equal to temperature set by the 'system temperature-warning-level average' configuration command.(temperature = <average temperature> degrees C)
		装置の平均入気温度がコンフィグレーションコマンド system temperature-warning-level average で設定した温度以上になりました。 • <average temperature> 装置の温度 (摂氏) [対応] 装置の平均入気温度が指定した温度に達しているため、装置周辺の環境 (ファンの状態、通風、熱源の有無など) を確認してください。
0122100c	S3	Access to the BCU statistics failed.
		BCU の通算稼働時間へのアクセスに失敗しました。 [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし、通算稼働時間の管理機能が使用できないため、使用する場合は BCU を交換してください。
0122100d	S6	Access to the BCU statistics finished successfully.
		BCU の通算稼働時間へのアクセスが正常に完了しました。 [対応] なし。
0122100e	S4	The BCU-CPU memory usage exceeded 98%.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
	内容と対応	
		BCU-CPU のメモリ使用率が 98%を超えました。 [対応] 1. 多数のユーザがログインしている場合、必要最小限のユーザ以外はログアウトしてください。 2. ftp からの利用が多い場合、必要最小限のコネクション以外は切断してください。 3. ネットワーク管理装置からのアクセスが多い場合、必要最小限のアクセス以外は抑止してください。 4. これらの対応で回復しない場合、本装置の収容条件を満たしていないおそれがあります。ネットワーク構成を見直してください。
0122100f	S6	The BCU-CPU memory usage fell below 95%.
		BCU-CPU のメモリ使用率が 95%を下回りました。 [対応] なし。
01221010	S3~S7	The internal flash memory has too short free space.
		内蔵フラッシュメモリの未使用容量がコンフィグレーションコマンド system flash-monitor で設定した閾値未満になりました。 [対応] ユーザ領域の不要ファイルを削除して、未使用容量を閾値以上にしてください。ユーザ領域の未使用容量および閾値の設定は show flash コマンドで確認できます。
01221011	S3~S7	The internal flash memory has enough free space.
		内蔵フラッシュメモリの未使用容量がコンフィグレーションコマンド system flash-monitor で設定した閾値以上になりました。 [対応] なし。
09200001	S1	The BCU will restart because a configuration software error occurred.
		コンフィグレーションソフトウェアに障害が発生したため、BCU を再起動します。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、ほかの障害が発生している場合はそのメッセージに合わせて対応してください。
09300001	S1	The BCU will restart because a configuration software error occurred.
		コンフィグレーションソフトウェアに障害が発生したため、BCU を再起動します。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、ほかの障害が発生している場合はそのメッセージに合わせて対応してください。
09400001	S1	The BCU will restart because a configuration software error occurred.
		コンフィグレーションソフトウェアに障害が発生したため、BCU を再起動します。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、ほかの障害が発生している場合はそのメッセージに合わせて対応してください。
09500001	S1	The BCU will restart because a configuration software error occurred.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		コンフィグレーションソフトウェアに障害が発生したため、BCU を再起動します。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、ほかの障害が発生している場合はそのメッセージに合わせて対応してください。
09600001	S1	The BCU will restart because a configuration software error occurred.
		コンフィグレーションソフトウェアに障害が発生したため、BCU を再起動します。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、ほかの障害が発生している場合はそのメッセージに合わせて対応してください。
25011001	S6	The port status is Up.
		ポートが UP しました。 [対応] なし。
25011002	S6	The port was inactivated by configuration.
		コンフィグレーションコマンド shutdown によってポートを停止しました。 [対応] なし。
25011003	S6	The port was activated by configuration.
		コンフィグレーションコマンド no shutdown によってポートを起動しました。 [対応] なし。
25011004	S6	The port was inactivated by an operation command.
		inactivate コマンドによってポートを停止しました。 [対応] なし。
25011005	S6	The port was activated by an operation command.
		activate コマンドによってポートを起動しました。 [対応] なし。
25011201	S5	An error was detected on the port.
		ポートで障害を検出しました。 [対応] 1. 指定のケーブルを正しく接続しているか確認してください。 2. 相手装置が起動しているか確認してください。
35000101	S6	Past event information was initialized because the BCU was switched over from active to standby.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		本装置は運用系 BCU から待機系 BCU に系切替したため、過去のイベント情報を初期化しました。このメッセージは待機系 BCU でだけ表示されます。 [対応] なし。
35010001	S1	The BCU will restart because a hardware error was detected.
		ハードウェア障害を検出したため、BCU を再起動します。 [対応] BCU を交換してください。
35010011	S1	The BCU will restart to correct a transient error. When the BCU corrects the error, there is no need to change the BCU.
		一時的な故障を修復するため、BCU を再起動します。 一時的な故障が正常に修復できた場合、BCU の交換は不要です。 [対応] 再起動後に、障害の回復に成功したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合（正常に再起動が完了した場合）は継続して運用できるため、BCU の交換は不要です。失敗した場合（回復中に障害が発生した場合）は、BCU を交換してください。
35020401	S4	The PA memory usage exceeded 98%.
		PA のメモリ使用率が 98%を超えました。 [対応] 長時間 PA のメモリ使用率が下がらない場合は、BCU を再起動してください。
35020402	S6	The PA memory usage fell below 95%.
		PA のメモリ使用率が 95%を下回りました。 [対応] なし。
350d0101	S6	The HDC on the BCU will be updated. Do not remove the BCU.
		HDC を更新します。 [対応] BCU を抜去しないでください。
350d0102	S6	The BCU will restart because its HDC was updated.
		HDC を更新したため、BCU を再起動します。 [対応] なし。
350d0103	S3	The HDC update was unsuccessful on the BCU.
		HDC の更新に失敗しました。 [対応] 1. update software コマンドで再度アップデートしてください。 2. 再び更新に失敗する場合は、BCU が故障しているおそれがあるため、BCU を交換してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
350e0201	S6	The PA online dump command was executed.
		PA ダンプ (BCU 再起動なし) コマンドの実行によって、メモリダンプの収集が完了しました。 [対応] なし。
350e0203	S6	Collection of the PA dump was canceled.
		ダンプ採取が中断されました。 [対応] なし。

2.2 SFU

メッセージ種別 SFU のシステムメッセージを次の表に示します。

表 2-2 メッセージ種別 SFU のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
35050001	S6	The SFU was activated by a configuration command.
		コンフィグレーションコマンド power enable によって、SFU を起動しました。 [対応] なし。
35050002	S6	The SFU was inactivated by a configuration command.
		コンフィグレーションコマンド no power enable によって、SFU を停止しました。 [対応] なし。
35050003	S5	The SFU has been extracted.
		SFU の抜去を検出しました。 [対応] SFU が抜去された、または正しく挿入されていないおそれがあります。SFU が正しく挿入されているか確認してください。
35050004	S5	The SFU has been inserted.
		SFU の挿入を検出しました。 [対応] なし。
35050101	S6	The SFU initialization is complete.
		SFU の初期化が完了しました。 [対応] なし。
35050102	S6	The SFU termination is complete.
		SFU の停止処理が完了しました。 [対応] なし。
35050103	S3	The SFU could not be initialized because the SFU was unknown.
		不明な SFU のため、初期化できません。 [対応] 1. SFU が正しく挿入されているか確認してください。 2. ソフトウェアバージョンでサポートされていない SFU です。SFU 種別とソフトウェアのバージョンを確認して、SFU を交換するか、ソフトウェアをアップデートしてください。 3. 本装置でサポートされていない SFU です。SFU を交換してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
35050104	S3	The SFU could not be initialized because the BCU status is fault.
		BCU が障害中状態のため、SFU を初期化できませんでした。 [対応] BCU を復旧させてください。
35050201	S1	The SFU will stop because of a hardware failure.
		SFU でハードウェア障害を検出しました。SFU を停止します。 [対応] SFU を交換してください。
35050202	S1	A hardware failure was detected during SFU self-diagnosis. The SFU will restart.
		SFU の自己診断中に障害を検出しました。SFU を再起動します。 [対応] 再起動後に、障害が回復したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合は継続して運用できます。失敗した場合は SFU を交換してください。
35050203	S6	The SFU recovered from a hardware failure detected during self-diagnosis.
		SFU の自己診断中に検出した障害から回復しました。 [対応] なし。
35050204	S1	The SFU will restart because of a hardware failure.
		SFU にハードウェア障害が発生したため、SFU を再起動します。 [対応] 再起動後に、障害が回復したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合は継続して運用できます。失敗した場合は SFU を交換してください。
35050205	S6	The SFU recovered from a hardware failure.
		SFU のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。
35050206	S1	The SFU restarted, but has not recovered from a hardware failure.
		SFU を再起動しましたが、ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しません。 [対応] SFU を交換してください。
35050207	S5	The SFU was inactivated by the 'failure-action sfu stop' configuration command.
		コンフィグレーションコマンド failure-action sfu stop によって SFU を停止しました。 [対応] なし。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
35050214	S1	The SFU will restart to correct a transient error. When the SFU corrects the error, there is no need to change the SFU.
		一時的な故障を修復するため、SFU を再起動します。 一時的な故障が正常に修復できた場合、SFU の交換は不要です。 [対応] 再起動後に、障害の回復に成功したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合(回復メッセージが出力された場合)は継続して運用できるため、SFU の交換は不要です。失敗した場合(回復中に障害が発生した場合)は、SFU を交換してください。
35050215	S6	The SFU corrected a transient error.
		SFU の一時的な故障から回復しました。 [対応] 継続して運用できますが、繰り返し発生する場合は SFU が故障しているおそれがあるため、交換してください。
35050301	S6	The HDC on the SFU will be updated. Do not remove the SFU.
		HDC を更新します。 [対応] 次のどちらかのメッセージが表示されるまで、SFU を抜去しないでください。 • メッセージ種別：SFU メッセージ識別子：35050302 • メッセージ種別：SFU メッセージ識別子：35050304
35050302	S6	The SFU will restart because its HDC was updated.
		HDC を更新したため、SFU を再起動します。 [対応] なし。
35050303	S3	The HDC update was unsuccessful on the SFU.
		HDC の更新に失敗しました。 [対応] 1. アップデートファイルのソフトウェアバージョンでサポートされていない SFU の可能性があります。SFU 種別とソフトウェアのバージョンを確認して、サポートされていない場合は、SFU を交換または抜去するか、正しいアップデートファイルを準備してください。 2. update software コマンドで再度アップデートしてください。 3. 再び更新に失敗する場合は、SFU が故障しているおそれがあるため、SFU を交換してください。
35050304	S5	The HDC on the SFU was updated, and to be applied after restarting the SFU.
		HDC を更新しましたが、運用に適用されていません。 [対応] SFU を再起動してください。
35050501	S3	Access to the SFU statistics failed.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		SFU の通算稼働時間へのアクセスに失敗しました。 [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし、通算稼働時間の管理機能が使用できないため、使用する場合は SFU を交換してください。
35050502	S6	Access to the SFU statistics finished successfully.
		SFU の通算稼働時間へのアクセスが正常に完了しました。 [対応] なし。
350e0501	S6	The SFU online dump command was executed.
		SFU ダンプ (SFU 再起動なし) コマンドの実行によって、メモリダンプの収集が完了しました。 [対応] なし。
350e0502	S6	The SFU offline dump command was executed.
		SFU ダンプ (SFU 再起動あり) コマンドの実行によって、メモリダンプの収集が完了しました。 [対応] なし。
350e0503	S6	Collection of the SFU dump was canceled.
		ダンプ採取が中断されました。 [対応] なし。
35400501	S6	The SFU was inactivated by an operation command.
		inactivate コマンドによって、SFU を停止しました。 [対応] なし。
35400502	S6	The SFU was activated by an operation command.
		activate コマンドによって、SFU を起動しました。 [対応] なし。
35400503	S6	The SFU restarted by an operation command.
		reload コマンドによって、SFU を再起動しました。 [対応] なし。

2.3 PRU

メッセージ種別 PRU のシステムメッセージを次の表に示します。

表 2-3 メッセージ種別 PRU のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
22001001	S4	The number of MAC address table entries exceeded <percent>% of the PRU capacity.
		MAC アドレステーブルのエントリ数が収容条件の<percent>%を超えました。 • <percent> パーセント 80, 85, 90, 95 [対応] MAC アドレステーブルのエントリを追加する場合は, 該当 PRU の収容条件を超えないように注意してください。
22001002	S3	The number of MAC address table entries exceeded the PRU capacity.
		MAC アドレステーブルのエントリ数が収容条件を超えました。MAC アドレスの学習が 5 分間抑止されています。 [対応] show pru resources コマンドで経路系エントリ情報の MAC Address resources の値を確認してください。 システム構成を見直してください。 「コンフィグレーションガイド Vol.1」 「3.2 収容条件」を参照して, 経路配分パターンを設定を確認し, 必要に応じて変更してください。
22001003	S6	The number of MAC address table entries fell below the <percent>% of the PRU capacity.
		MAC アドレステーブルのエントリ数が収容条件の<percent>%を下回りました。 • <percent> パーセント 75, 80, 85, 90 [対応] なし。
22002001	S3	The MAC address in an ARP/NDP entry cannot be registered to the MAC address table.
		ARP/NDP で学習した MAC アドレスの一部を, MAC アドレステーブルに設定できませんでした。一部の ARP/NDP を利用するレイヤ 3 中継がフラッディングされています。 [対応] MAC アドレステーブルの使用量の合計が, 装置の収容条件に達していないか確認してください。 show pru resources コマンドで経路系エントリ情報の MAC Address resources の値を確認してください。 システム構成を見直してください。 「コンフィグレーションガイド Vol.1」 「3.2 収容条件」を参照して, 経路配分パターンを設定を確認し, 必要に応じて変更してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
22003001	S3	The MAC address in an IGMP snooping entry cannot be registered to the MAC address table.
		IGMP snooping で学習した MAC アドレスの一部を、MAC アドレステーブルに設定できませんでした。 [対応] MAC アドレステーブルの使用量の合計が、装置の収容条件に達していないか確認してください。show pru resources コマンドで、経路系エントリ情報の MAC Address resources の値を確認できます。「コンフィグレーションガイド Vol.1」 「3.2 収容条件」を参照して、システム構成を見直してください。見直し後、clear igmp-snooping group コマンドを実行してください。
22003002	S3	The MAC address in an MLD snooping entry cannot be registered to the MAC address table.
		MLD snooping で学習した MAC アドレスの一部を、MAC アドレステーブルに設定できませんでした。 [対応] MAC アドレステーブルの使用量の合計が、装置の収容条件に達していないか確認してください。show pru resources コマンドで、経路系エントリ情報の MAC Address resources の値を確認できます。「コンフィグレーションガイド Vol.1」 「3.2 収容条件」を参照して、システム構成を見直してください。見直し後、clear mld-snooping group コマンドを実行してください。
22003003	S3	The MAC address in an IGMP snooping control entry cannot be registered to the MAC address table.
		IGMP snooping を制御するための MAC アドレスの一部を MAC アドレステーブルに設定できませんでした。 [対応] MAC アドレステーブルの使用量の合計が、装置の収容条件に達していないか確認してください。show pru resources コマンドで、経路系エントリ情報の MAC Address resources の値を確認できます。「コンフィグレーションガイド Vol.1」 「3.2 収容条件」を参照して、システム構成を見直してください。見直し後、restart snooping コマンドを実行してください。
22003004	S3	The MAC address in an MLD snooping control entry cannot be registered to the MAC address table.
		MLD snooping を制御するための MAC アドレスの一部を MAC アドレステーブルに設定できませんでした。 [対応] MAC アドレステーブルの使用量の合計が、装置の収容条件に達していないか確認してください。show pru resources コマンドで、経路系エントリ情報の MAC Address resources の値を確認できます。「コンフィグレーションガイド Vol.1」 「3.2 収容条件」を参照して、システム構成を見直してください。見直し後、restart snooping コマンドを実行してください。
35060001	S6	The PRU was activated by a configuration command.
		コンフィグレーションコマンド power enable によって、PRU を起動しました。 [対応] なし。
35060002	S6	The PRU was inactivated by a configuration command.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		コンフィグレーションコマンド no power enable によって、PRU を停止しました。 [対応] なし。
35060003	S5	The PRU has been extracted. PRU の抜去を検出しました。 [対応] PRU が抜去された、または正しく挿入されていないおそれがあります。PRU が正しく挿入されているか確認してください。
35060004	S5	The PRU has been inserted. PRU の挿入を検出しました。 [対応] なし。
35060101	S6	The PRU initialization is complete. PRU の初期化が完了しました。 [対応] なし。
35060102	S6	The PRU termination is complete. PRU の停止処理が完了しました。 [対応] なし。
35060103	S3	The PRU could not be initialized because the PRU was unknown. 不明な PRU のため、初期化できませんでした。 [対応] 1. PRU が正しく挿入されているか確認してください。 2. ソフトウェアバージョンでサポートされていない PRU です。PRU 種別とソフトウェアのバージョンを確認して、PRU を交換するか、ソフトウェアをアップデートしてください。 3. 本装置でサポートされていない PRU です。PRU を交換してください。
35060104	S3	The PRU could not be initialized because the power supply was insufficient. 電源容量不足のため、PRU を初期化できませんでした。 [対応] 1. 電源機構の搭載状態、および稼働状態を確認してください。 正常に移働している電源機構が不足している場合は、増設してください。電源機構の増設手順は、「ハードウェア取扱説明書」を参照してください。 2. 電源機構の増設完了後、activate pru コマンドで PRU を再起動してください。
35060106	S3	The PRU could not be initialized because the BCU status is fault. BCU が障害中状態のため、PRU を初期化できませんでした。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] BCU を復旧させてください。
35060201	S1	The PRU will stop because of a hardware failure.
		PRU でハードウェア障害を検出しました。PRU を停止します。 [対応] PRU を交換してください。
35060202	S1	A hardware failure was detected during PRU self-diagnosis. The PRU will restart.
		PRU の自己診断中に障害を検出しました。PRU を再起動します。 [対応] 再起動後に、障害が回復したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合は継続して運用できます。失敗した場合は PRU を交換してください。
35060203	S6	The PRU recovered from a hardware failure detected during self-diagnosis.
		PRU の自己診断中に検出した障害から回復しました。 [対応] なし。
35060204	S1	The PRU will restart because of a hardware failure.
		PRU にハードウェア障害が発生したため、PRU を再起動します。 [対応] 再起動後に、障害が回復したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合は継続して運用できます。失敗した場合は PRU を交換してください。
35060205	S6	The PRU recovered from a hardware failure.
		PRU のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。
35060206	S1	The PRU restarted, but has not recovered from a hardware failure.
		PRU を再起動しましたが、ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しません。 [対応] PRU を交換してください。
35060208	S1	The PRU will restart because of a software failure.
		PRU にソフトウェア障害が発生したため、PRU を再起動します。 [対応] 再起動後に、障害が回復したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合は継続して運用できます。失敗した場合は PRU を交換してください。
35060209	S6	The PRU recovered from a software failure.
		PRU のソフトウェア障害から回復しました。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] なし。
35060214	S1	The PRU will restart to correct a transient error. When the PRU corrects the error, there is no need to change the PRU.
		一時的な故障を修復するため、PRU を再起動します。 一時的な故障が正常に修復できた場合、PRU の交換は不要です。 [対応] 再起動後に、障害の回復に成功したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合(回復メッセージが出力された場合)は継続して運用できるため、PRU の交換は不要です。失敗した場合(回復中に障害が発生した場合)は、PRU を交換してください。
35060215	S6	The PRU corrected a transient error.
		PRU の一時的な故障から回復しました。 [対応] 継続して運用できますが、繰り返し発生する場合は PRU が故障しているおそれがあるため、交換してください。
3506020a	S1	The PRU restarted, but has not recovered from a software failure.
		PRU を再起動しましたが、ソフトウェア障害から回復しません。 [対応] PRU を交換してください。
3506020b	S5	The PRU was inactivated by the 'failure-action pru stop' configuration command.
		コンフィグレーションコマンド failure-action pru stop によって PRU を停止しました。 [対応] なし。
35060301	S6	The HDC on the PRU will be updated. Do not remove the PRU.
		HDC を更新します。 [対応] 次のどちらかのメッセージが表示されるまで、PRU を抜去しないでください。 • メッセージ種別：PRU メッセージ識別子：35060302 • メッセージ種別：PRU メッセージ識別子：35060304
35060302	S6	The PRU will restart because its HDC was updated.
		HDC を更新したため、PRU を再起動します。 [対応] なし。
35060303	S3	The HDC update was unsuccessful on the PRU.
		HDC の更新に失敗しました。 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		1. アップデートファイルのソフトウェアバージョンでサポートされていない PRU の可能性があります。PRU 種別とソフトウェアのバージョンを確認して、サポートされていない場合は、PRU を交換または抜去するか、正しいアップデートファイルを準備してください。 2. update software コマンドで再度アップデートしてください。 3. 再び更新に失敗する場合は、PRU が故障しているおそれがあるため、PRU を交換してください。
35060304	S5	The HDC on the PRU was updated, and to be applied after restarting the PRU.
		HDC を更新しましたが、運用に適用されていません。 [対応] PRU を再起動してください。
35060401	S4	The PRU memory usage exceeded 98%.
		PRU のメモリ使用率が 98%を超えました。 [対応] 長時間 PRU のメモリ使用率が下がらない場合は、PRU を再起動してください。
35060402	S6	The PRU memory usage fell below 95%.
		PRU のメモリ使用率が 95%を下回りました。 [対応] なし。
35060501	S3	Access to the PRU statistics failed.
		PRU の通算稼働時間へのアクセスに失敗しました。 [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし、通算稼働時間の管理機能が使用できないため、使用する場合は PRU を交換してください。
35060502	S6	Access to the PRU statistics finished successfully.
		PRU の通算稼働時間へのアクセスが正常に完了しました。 [対応] なし。
350e0601	S6	The PRU online dump command was executed.
		PRU ダンプ (PRU 再起動なし) コマンドの実行によって、メモリダンプの収集が完了しました。 [対応] なし。
350e0602	S6	The PRU offline dump command was executed.
		PRU ダンプ (PRU 再起動あり) コマンドの実行によって、メモリダンプの収集が完了しました。 [対応] なし。
350e0603	S6	Collection of the PRU dump was canceled.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		ダンプ採取が中断されました。 [対応] なし。
35400601	S6	The PRU was inactivated by an operation command.
		inactivate コマンドによって、PRU を停止しました。 [対応] なし。
35400602	S6	The PRU was activated by an operation command.
		activate コマンドによって、PRU を起動しました。 [対応] なし。
35400603	S6	The PRU restarted by an operation command.
		reload コマンドによって、PRU を再起動しました。 [対応] なし。
3f000001	S4	The number of shared resources exceeded the <percent>% of the PRU capacity.
		入力側リソースの使用量が収容条件の<percent>%を超えました。 • <percent> パーセント 80, 85, 90, 95 [対応] 入力側リソースの使用量が収容条件を超えないように注意してください。
3f000002	S4	The number of shared resources has reached the capacity of the PRU.
		入力側リソースの使用量が収容条件に達しました。 [対応] show pru resources コマンドで経路系エントリ情報の Inbound の値を確認してください。 システム構成を見直してください。見直したあとも回復しない場合は、PRU を再起動してください。 「コンフィグレーションガイド Vol.1」 「3.2 収容条件」を参照して、経路配分パターンを設定を確認し、必要に応じて変更してください。
3f000003	S6	The number of shared resources fell below the <percent>% of the PRU capacity.
		入力側リソースの使用量が収容条件の<percent>%を下回りました。 • <percent> パーセント 75, 80, 85, 90, 95 [対応] なし。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
3f000004	S4	The number of outbound forwarding resources exceeded the <percent>% of the PRU capacity.
		Outbound forwarding resources テーブルで使用中のエントリ数が収容条件の<percent>%を超えました。 • <percent> パーセント 80, 85, 90, 95 [対応] Outbound forwarding resources テーブルで使用中のエントリ数が収容条件を超えないように注意してください。
3f000005	S4	The number of outbound forwarding resources has reached the capacity of the PRU.
		Outbound forwarding resources テーブルで使用中のエントリ数が収容条件に達しました。 [対応] show pru resources コマンドで経路系エントリ情報の Outbound forwarding resources の値を確認してください。 システム構成を見直してください。見直したあとも回復しない場合は、PRU を再起動してください。 「コンフィグレーションガイド Vol.1」 「3.2 収容条件」を参照して、経路配分パターンを設定を確認し、必要に応じて変更してください。
3f000006	S6	The number of outbound forwarding resources fell below the <percent>% of the PRU capacity.
		Outbound forwarding resources テーブルで使用中のエントリ数が収容条件の<percent>%を下回りました。 • <percent> パーセント 75, 80, 85, 90, 95 [対応] なし。
3f000007	S4	The number of destination resources exceeded the <percent>% of the PRU capacity.
		出力先情報の使用量が収容条件の<percent>%を超えました。 • <percent> パーセント 80, 85, 90, 95 [対応] 出力先情報の使用量が収容条件を超えないように注意してください。
3f000008	S4	The number of destination resources has reached the capacity of the PRU.
		出力先情報の使用量が収容条件に達しました。 [対応] show pru resources コマンドで経路系エントリ情報の Destination resources の値を確認してください。 システム構成を見直してください。見直したあとも回復しない場合は、PRU を再起動してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		「コンフィグレーションガイド Vol.1」 「3.2 収容条件」を参照して、経路配分パターンを設定を確認し、必要に応じて変更してください。
3f000009	S6	The number of destination resources fell below the <percent>% of the PRU capacity.
		出力先情報の使用量が収容条件の<percent>%を下回りました。 • <percent> パーセント 75, 80, 85, 90, 95 [対応] なし。
3f000010	S3	The number of shared resources exceeded the PRU capacity.
		入力側リソースの使用量が収容条件を超えるため、エントリが設定できませんでした。 [対応] システム構成を見直し、PRU を再起動してください。
3f000011	S3	The number of outbound forwarding resources exceeded the PRU capacity.
		Outbound forwarding resources テーブルが収容条件を超えるため、エントリが設定できませんでした。 [対応] システム構成を見直し、PRU を再起動してください。
3f000012	S3	The number of destination resources exceeded the PRU capacity.
		出力先情報が収容条件を超えるため、エントリが設定できませんでした。 [対応] システム構成を見直し、PRU を再起動してください。
40100001	S4	Some advance access-lists cannot be set.
		フィルタの advance access-list は該当 PRU に適用できませんでした。 [対応] PRU を再起動してフロー検出モードの内容を反映するか、該当 PRU のコンフィグレーションで設定されたフィルタの advance access-list を削除してください。
40100002	S4	The number of filter entries exceeded <percent>% of the PRU capacity.
		フィルタエントリ数が収容条件の<percent>%を超えました。 • <percent> パーセント 80, 85, 90, 95 [対応] フィルタエントリをさらに追加する場合は、該当 PRU の収容条件を超えないように注意してください。
40100003	S4	The number of filter entries has reached the capacity of the PRU.
		フィルタエントリ数が収容条件に達しました。 [対応] 収容条件に達したあとのエントリは設定されないため、システム構成を見直ししてください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
40100004	S3	The number of filter entries exceeded the PRU capacity.
		フィルタエントリ数が収容条件を超えるため、フィルタエントリが設定できませんでした。 [対応] PRU を再起動して、フロー検出モード、フロー配分パターンの内容を反映させてください。
40100005	S6	The number of filter entries fell below the <percent>% of the PRU capacity.
		フィルタエントリ数が収容条件の<percent>%を下回りました。 • <percent> パーセント 75, 80, 85, 90, 95 [対応] なし。
40200001	S4	Some advance qos-flow-lists cannot be set.
		advance qos-flow-list は該当 PRU に適用できませんでした。 [対応] PRU を再起動してフロー検出モードの内容を反映させるか、該当 PRU のコンフィグレーションで設定された advance qos-flow-list を削除してください。
40200002	S4	The number of QoS entries exceeded <percent>% of the PRU capacity.
		QoS エントリ数が収容条件の<percent>%を超えました。 • <percent> パーセント 80, 85, 90, 95 [対応] QoS エントリをさらに追加する場合は、該当 PRU の収容条件を超えないように注意してください。
40200003	S4	The number of QoS entries has reached the capacity of the PRU.
		QoS エントリ数が収容条件に達しました。 [対応] 収容条件に達したあとのエントリは設定されないため、システム構成を見直してください。
40200004	S3	The number of QoS entries exceeded the PRU capacity.
		QoS エントリ数が収容条件を超えるため、QoS エントリが設定できませんでした。 [対応] PRU を再起動して、フロー検出モード、フロー配分パターンの内容を反映させてください。
40200005	S6	The number of QoS entries fell below the <percent>% of the PRU capacity.
		QoS エントリ数が収容条件の<percent>%を下回りました。 • <percent> パーセント 75, 80, 85, 90, 95 [対応] なし。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
40300002	S4	The number of policer entries exceeded <percent>% of the PRU capacity. (direction = <direction>)
		<direction>側のポリサーエントリ数が収容条件の<percent>%を超えました。 • <percent> パーセント 80, 85, 90, 95 • <direction> 受信側または送信側 inbound, outbound [対応] ポリサーエントリをさらに追加する場合は、該当 PRU の収容条件を超えないように注意してください。
40300003	S4	The number of policer entries has reached the capacity of the PRU. (direction = <direction>)
		<direction>側のポリサーエントリ数が収容条件に達しました。 • <direction> 受信側または送信側 inbound, outbound [対応] 収容条件に達したあとのエントリは設定されないため、システム構成を見直してください。
40300005	S6	The number of policer entries fell below the <percent>% of the PRU capacity. (direction = <direction>)
		<direction>側のポリサーエントリ数が収容条件の<percent>%を下回りました。 • <percent> パーセント 75, 80, 85, 90, 95 • <direction> 受信側または送信側 inbound, outbound [対応] なし。
40400001	S4	Some advance access-lists cannot be set.
		ポリシーベースミラーリングの advance access-list は該当 PRU に適用できませんでした。 [対応] PRU を再起動してフロー検出モードの内容を反映するか、該当 PRU のコンフィギュレーションで設定されたポリシーベースミラーリングの advance access-list を削除してください。
40400002	S4	The number of policy based mirroring entries exceeded <percent>% of the PRU capacity.
		ポリシーベースミラーリングエントリ数が収容条件の<percent>%を超えました。 • <percent> パーセント 80, 85, 90, 95 [対応] ポリシーベースミラーリングエントリをさらに追加する場合は、該当 PRU の収容条件を超えないように注意してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
40400003	S4	The number of policy based mirroring entries has reached the capacity of the PRU.
		ポリシーベースミラーリングエントリ数が収容条件に達しました。 [対応] 収容条件に達したあとのエントリは設定されないため、システム構成を見直してください。
40400004	S3	The number of policy based mirroring entries exceeded the PRU capacity.
		ポリシーベースミラーリングエントリ数が収容条件を超えるため、ポリシーベースミラーリングエントリが設定できませんでした。 [対応] PRU を再起動して、フロー検出モード、フロー配分パターンの内容を反映させてください。
40400005	S6	The number of policy based mirroring entries fell below the <percent>% of the PRU capacity.
		ポリシーベースミラーリングエントリ数が収容条件の<percent>%を下回りました。 • <percent> パーセント 75, 80, 85, 90, 95 [対応] なし。
41011001	S4	The number of IPv4 unicast routing entries exceeded <percent>% of the PRU capacity.
		IPv4 ユニキャスト経路エントリ数が収容条件の<percent>%を超えました。 • <percent> パーセント 80, 85, 90, 95 [対応] IPv4 ユニキャスト経路エントリを追加する場合は、該当 PRU の収容条件を超えないように注意してください。
41011002	S4	The number of IPv4 unicast routing entries has reached the capacity of the PRU.
		IPv4 ユニキャスト経路エントリ数が収容条件に達しました。 [対応] 収容条件に達したあとのエントリは設定されないため、システム構成を見直してください。 見直したあと、clear ip route コマンドで vrf all *パラメータを指定して、IPv4 ユニキャスト経路エントリを再登録してください。
41011003	S6	The number of IPv4 unicast routing entries fell below the <percent>% of the PRU capacity.
		IPv4 ユニキャスト経路エントリ数が収容条件の<percent>%を下回りました。 • <percent> パーセント 75, 80, 85, 90, 95 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		なし。
41011004	S3	The number of IPv4 unicast routing entries exceeded the PRU capacity.
		IPv4 ユニキャスト経路エントリ数が収容条件を超えるため、エントリを設定できませんでした。 [対応] 収容条件を超えたエントリは設定されないため、システム構成を見直してください。 見直したあと、clear ip route コマンドで vrf all *パラメータを指定して、IPv4 ユニキャスト経路エントリを再登録してください。
41012001	S4	The number of IPv6 unicast routing entries exceeded <percent>% of the PRU capacity.
		IPv6 ユニキャスト経路エントリ数が収容条件の<percent>%を超えました。 • <percent> パーセント 80, 85, 90, 95 [対応] IPv6 ユニキャスト経路エントリを追加する場合は、該当 PRU の収容条件を超えないように注意してください。
41012002	S4	The number of IPv6 unicast routing entries has reached the capacity of the PRU.
		IPv6 ユニキャスト経路エントリ数が収容条件に達しました。 [対応] 収容条件に達したあとのエントリは設定されないため、システム構成を見直してください。 見直したあと、clear ipv6 route コマンドで vrf all *パラメータを指定して、IPv6 ユニキャスト経路エントリを再登録してください。
41012003	S6	The number of IPv6 unicast routing entries fell below the <percent>% of the PRU capacity.
		IPv6 ユニキャスト経路エントリ数が収容条件の<percent>%を下回りました。 • <percent> パーセント 75, 80, 85, 90, 95 [対応] なし。
41012004	S3	The number of IPv6 unicast routing entries exceeded the PRU capacity.
		IPv6 ユニキャスト経路エントリ数が収容条件を超えるため、エントリを設定できませんでした。 [対応] 収容条件を超えたエントリは設定されないため、システム構成を見直してください。 見直したあと、clear ipv6 route コマンドで vrf all *パラメータを指定して、IPv6 ユニキャスト経路エントリを再登録してください。
41021001	S4	The number of IPv4 multicast forwarding entries exceeded <percent>% of the PRU capacity.
		IPv4 マルチキャスト中継エントリ数が収容条件の<percent>%を超えました。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <percent> パーセント 80, 85, 90, 95 [対応] IPv4 マルチキャスト中継エントリを追加する場合は、該当 PRU の収容条件を超えないように注意してください。
41021002	S4	The number of IPv4 multicast forwarding entries has reached the capacity of the PRU.
		IPv4 マルチキャスト中継エントリ数が収容条件に達しました。 [対応] 収容条件に達したあとのエントリは設定されないため、システム構成を見直してください。 見直したあと、restart ipv4-multicast コマンドを実行して、IPv4 マルチキャスト中継エントリを再登録してください。
41021003	S6	The number of IPv4 multicast forwarding entries fell below the <percent>% of the PRU capacity.
		IPv4 マルチキャスト中継エントリ数が収容条件の<percent>%を下回りました。 • <percent> パーセント 75, 80, 85, 90, 95 [対応] なし。
41022001	S4	The number of IPv6 multicast forwarding entries exceeded <percent>% of the PRU capacity.
		IPv6 マルチキャスト中継エントリ数が収容条件の<percent>%を超えました。 • <percent> パーセント 80, 85, 90, 95 [対応] IPv6 マルチキャスト中継エントリを追加する場合は、該当 PRU の収容条件を超えないように注意してください。
41022002	S4	The number of IPv6 multicast forwarding entries has reached the capacity of the PRU.
		IPv6 マルチキャスト中継エントリ数が収容条件に達しました。 [対応] 収容条件に達したあとのエントリは設定されないため、システム構成を見直してください。 見直したあと、restart ipv6-multicast コマンドを実行して、IPv6 マルチキャスト中継エントリを再登録してください。
41022003	S6	The number of IPv6 multicast forwarding entries fell below the <percent>% of the PRU capacity.
		IPv6 マルチキャスト中継エントリ数が収容条件の<percent>%を下回りました。 • <percent> パーセント 75, 80, 85, 90, 95

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] なし。
41023001	S4	The total number of outgoing interfaces of multicast forwarding entries exceeded <percent>% of PRU capacities.
		マルチキャスト中継エントリの下流インタフェースの合計が収容条件の<percent>%を超えました。 • <percent> パーセント 80, 85, 90, 95 [対応] マルチキャスト中継エントリに下流インタフェースを追加する場合は、該当 PRU の収容条件を超えないように注意してください。
41023002	S4	The total number of outgoing interfaces of multicast forwarding entries has reached the capacity of the PRU.
		マルチキャスト中継エントリの下流インタフェースの合計が収容条件に達しました。 [対応] 収容条件に達したあとの下流インタフェースは設定されないため、システム構成を見直してください。 見直したあと、restart ipv4-multicast および restart ipv6-multicast コマンドをどちらも実行して、IPv4 および IPv6 マルチキャスト中継エントリを再登録してください。
41023003	S6	The total number of outgoing interfaces of multicast forwarding entries fell below the <percent>% of the PRU capacity.
		マルチキャスト中継エントリの下流インタフェースの合計が収容条件の<percent>%を下回りました。 • <percent> パーセント 75, 80, 85, 90, 95 [対応] なし。

2.4 NIF

メッセージ種別 NIF のシステムメッセージを次の表に示します。

表 2-4 メッセージ種別 NIF のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
25010008	S6	The port recovered from a hardware failure.
		ポートのハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。
25010009	S1	The port restarted but has not recovered from a hardware failure.
		ポートを再起動しましたが、ポートのハードウェア障害から回復しませんでした。 [対応] NIF を交換してください。
25010109	S1	The port will restart because of a hardware failure.
		ポートにハードウェア障害が発生したため、ポートを再起動します。 [対応] 再起動後に、障害が回復したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合は継続して運用できます。失敗した場合は NIF を交換してください。
35070001	S6	The NIF was activated by a configuration command.
		コンフィグレーションコマンド power enable によって、NIF を起動しました。 [対応] なし。
35070002	S6	The NIF was inactivated by a configuration command.
		コンフィグレーションコマンド no power enable によって、NIF を停止しました。 [対応] なし。
35070003	S5	The NIF has been extracted.
		NIF の抜去を検出しました。 [対応] NIF が抜去された、または正しく挿入されていないおそれがあります。NIF が正しく挿入されているか確認してください。
35070004	S5	The NIF has been inserted.
		NIF の挿入を検出しました。 [対応] なし。
35070101	S6	The NIF initialization is complete.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		NIF の初期化が完了しました。 [対応] なし。
35070102	S6	The NIF termination is complete.
		NIF の停止処理が完了しました。 [対応] なし。
35070103	S3	The NIF could not be initialized because the NIF was unknown.
		不明な NIF のため、初期化できませんでした。 [対応] 1. NIF が正しく挿入されているか確認してください。 2. ソフトウェアバージョンでサポートされていない NIF です。NIF 種別とソフトウェアのバージョンを確認して、NIF を交換するか、ソフトウェアをアップデートしてください。 3. 本装置でサポートされていない NIF です。NIF を交換してください。
35070104	S3	The NIF could not be initialized because the power supply was insufficient.
		電源容量不足のため、NIF を初期化できませんでした。 [対応] 1. 電源機構の搭載状態、および稼働状態を確認してください。 正常に稼働している電源機構が不足している場合は、増設してください。電源機構の増設手順は、「ハードウェア取扱説明書」を参照してください。 2. 電源機構の増設完了後、activate nif コマンドで NIF を再起動してください。
35070105	S3	The NIF could not be initialized because the configuration settings for the NIF were incomplete.
		搭載した NIF に対するコンフィグレーションが異なる、またはコンフィグレーションの設定が不完全なため、初期化できませんでした。 [対応] 搭載されている NIF とボードタイプのコンフィグレーションの設定を合わせてください。 また、ボードタイプに PE-NIF を設定している場合、サービスタイプが設定されていることを確認してください。
35070108	S3	The NIF could not be initialized because the NIF was not installed in a right slot.
		NIF の搭載に誤りがあるため、NIF を初期化できませんでした。 [対応] 「コンフィグレーションガイド Vol.1」 「3.1 搭載条件」を参照して、装置構成を見直してください。
35070201	S1	The NIF will stop because of a hardware failure.
		NIF でハードウェア障害を検出しました。NIF を停止します。 [対応] NIF を交換してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
35070202	S1	A hardware failure was detected during NIF self-diagnosis. The NIF will restart.
		NIF の自己診断中に障害を検出しました。NIF を再起動します。 [対応] 再起動後に、障害が回復したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合は継続して運用できます。失敗した場合は NIF を交換してください。
35070203	S6	The NIF recovered from a hardware failure detected during self-diagnosis.
		NIF の自己診断中に検出した障害から回復しました。 [対応] なし。
35070204	S1	The NIF will restart because of a hardware failure.
		NIF にハードウェア障害が発生したため、NIF を再起動します。 [対応] 再起動後に、障害が回復したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合は継続して運用できます。失敗した場合は NIF を交換してください。
35070205	S6	The NIF recovered from a hardware failure.
		NIF のハードウェア障害から回復しました。 [対応] なし。
35070206	S1	The NIF restarted, but has not recovered from a hardware failure.
		NIF を再起動しましたが、ハードウェア障害または自己診断中に検出した障害から回復しません。 [対応] NIF を交換してください。
3507020a	S5	The NIF was inactivated by the 'failure-action nif stop' configuration command.
		コンフィグレーションコマンド failure-action nif stop によって NIF を停止しました。 [対応] なし。
35070214	S1	The NIF will restart to correct a transient error. When the NIF corrects the error, there is no need to change the NIF.
		一時的な故障を修復するため、NIF を再起動します。 一時的な故障が正常に修復できた場合、NIF の交換は不要です。 [対応] 再起動後に、障害の回復に成功したかどうかをメッセージで確認してください。成功した場合(回復メッセージが出力された場合)は継続して運用できるため、NIF の交換は不要です。失敗した場合(回復中に障害が発生した場合)は、NIF を交換してください。
35070215	S6	The NIF corrected a transient error.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		NIF の一時的な故障から回復しました。 [対応] 継続して運用できますが、繰り返し発生する場合は NIF が故障しているおそれがあるため、交換してください。
35070301	S6	The HDC on the NIF will be updated. Do not remove the NIF. HDC を更新します。 [対応] 次のどちらかのメッセージが表示されるまで、NIF を抜去しないでください。 • メッセージ種別：NIF メッセージ識別子：35070302 • メッセージ種別：NIF メッセージ識別子：35070304
35070302	S6	The NIF will restart because its HDC was updated. HDC を更新したため、NIF を再起動します。 [対応] なし。
35070303	S3	The HDC update was unsuccessful on the NIF. HDC の更新に失敗しました。 [対応] 1. アップデートファイルのソフトウェアバージョンでサポートされていない NIF の可能性があります。NIF 種別とソフトウェアのバージョンを確認して、サポートされていない場合は、NIF を交換または抜去するか、正しいアップデートファイルを準備してください。 2. update software コマンドで再度アップデートしてください。 3. 再び更新に失敗する場合は、NIF が故障しているおそれがあるため、NIF を交換してください。
35070304	S5	The HDC on the NIF was updated, and to be applied after restarting the NIF. HDC を更新しましたが、運用に適用されていません。 [対応] NIF を再起動してください。
35070501	S3	Access to the NIF statistics failed. NIF の通算稼働時間へのアクセスに失敗しました。 [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし、通算稼働時間の管理機能が使用できないため、使用する場合は NIF を交換してください。
35070502	S6	Access to the NIF statistics finished successfully. NIF の通算稼働時間へのアクセスが正常に完了しました。 [対応] なし。
35070702	S6	A speed configuration is correct.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		SFP+/SFP 共用ポートを収容する NIF で、回線速度のコンフィグレーションの内容が正常になりました。 [対応] なし。
35070703	S3	A speed configuration is incomplete.
		SFP+/SFP 共用ポートを収容する NIF で、回線速度のコンフィグレーションの内容が不完全または不正です。コンフィグレーションコマンド speed の設定によって、SFP+を使用できるポートと SFP を使用できるポートを正しい手順で切り替えている途中でも、このメッセージが出力されます。 [対応] 「コンフィグレーションガイド Vol.1」 「18 イーサネット」を参照して、コンフィグレーションコマンド speed の設定を見直してください。なお、コンフィグレーションコマンド speed の設定によって、SFP+を使用できるポートと SFP を使用できるポートを切り替えている途中の場合、切り替えを完了させてください。切り替えが完了したあとにメッセージ識別子 35070702 のシステムメッセージが出力されていれば対応は不要です。
350e0701	S6	The NIF online dump command was executed.
		NIF ダンプ (NIF 再起動なし) コマンドの実行によって、メモリダンプの収集が完了しました。 [対応] なし。
350e0702	S6	The NIF offline dump command was executed.
		NIF ダンプ (NIF 再起動あり) コマンドの実行によって、メモリダンプの収集が完了しました。 [対応] なし。
350e0703	S6	Collection of the NIF dump was canceled.
		ダンプ採取が中断されました。 [対応] なし。
35400701	S6	The NIF was inactivated by an operation command.
		inactivate コマンドによって、NIF を停止しました。 [対応] なし。
35400702	S6	The NIF was activated by an operation command.
		activate コマンドによって、NIF を起動しました。 [対応] なし。
35400703	S6	The NIF restarted by an operation command.
		reload コマンドによって、NIF を再起動しました。 [対応] なし。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
	内容と対応	
37610105	S3	The NIF does not change to the specified queue length.(Queue = <queue no.>, queue length = <queue length>)
	この NIF は、指定されたキュー長には変更しません。 • <queue no.> 1～8 のキュー番号 • <queue length> キュー長 [対応] 該当 NIF に対するコンフィグレーションからキュー長変更を削除するか、動作できるキュー長に変更してください。	

2.5 PS

メッセージ種別 PS のシステムメッセージを次の表に示します。

表 2-5 メッセージ種別 PS のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
01202001	S6	The power supply unit is normal.
		電源機構は正常状態です。 [対応] なし。
01202002	S1	A fatal error was detected in the power supply unit.
		電源機構に障害が発生しました。 [対応] 電源機構を交換してください。
01202003	S3	The power supply unit is not supported.
		搭載されている電源機構はサポートしていません。 [対応] サポートしているモデルの電源機構と交換してください。
01202004	S6	The power supply unit is not connected.
		電源機構は未搭載です。 [対応] なし。
01202005	S6	The power supply unit is powered off.
		電源機構は給電停止状態です。 [対応] なし。
01202006	S3	A mix of AC and DC power supply units are mounted.
		AC 用と DC 用の電源機構が混載されています。 [対応] AC 用または DC 用のどちらかの電源機構だけを搭載してください。
01202007	S3	A mix of AC 100 V and AC 200 V power supply units are mounted.
		AC100V 用と AC200V 用の電源機構が混載されています。 [対応] AC100V 用または AC200V 用のどちらかの電源機構だけを搭載してください。
01202008	S6	The combination of power supply units is correct.
		搭載されている電源機構の組み合わせは正常です。 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		なし。
01202009	S3	The power supply is insufficient.
		供給電力が不足しています。 [対応] 使用中、十分な電力を供給できるように、電源機構を搭載してください。
0120200a	S6	The power supply is now sufficient.
		供給電力の不足が回復しました。 [対応] なし。
0120200b	S5	The power supply units are not in a redundant configuration.
		電源機構が冗長構成ではありません。このメッセージは、コンフィグレーションコマンド power redundancy-mode が設定されている場合に出力されます。 [対応] 電源ユニット冗長が必要な場合は、show environment コマンドで装置の給電状況に問題がないか確認してください。
0120200c	S6	The power supply units are in a redundant configuration.
		電源機構が冗長構成になりました。このメッセージは、コンフィグレーションコマンド power redundancy-mode が設定されている場合に出力されます。 [対応] なし。
0120200d	S5	The power available is insufficient from input source A.
		給電システム A の余剰電力が不足しています。このメッセージは、コンフィグレーションコマンド power redundancy-mode で 2（電源ユニット冗長かつ給電システム冗長）を指定している場合に出力されます。 [対応] 給電システム冗長が必要な場合は、show environment コマンドで装置の給電状況に問題がないか確認してください。
0120200e	S6	The power available is now sufficient from input source A.
		給電システム A の余剰電力の不足が回復しました。このメッセージは、コンフィグレーションコマンド power redundancy-mode で 2（電源ユニット冗長かつ給電システム冗長）を指定している場合に出力されます。 [対応] なし。
0120200f	S5	The power available is insufficient from input source B.
		給電システム B の余剰電力が不足しています。このメッセージは、コンフィグレーションコマンド power redundancy-mode で 2（電源ユニット冗長かつ給電システム冗長）を指定している場合に出力されます。 [対応] 給電システム冗長が必要な場合は、show environment コマンドで装置の給電状況に問題がないか確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
01202010	S6	The power available is now sufficient from input source B.
		給電系統 B の余剰電力の不足が回復しました。このメッセージは、コンフィグレーションコマンド power redundancy-mode で 2 (電源ユニット冗長かつ給電系統冗長) を指定している場合に出力されます。 [対応] なし。
01222011	S3	Access to the power supply unit statistics failed.
		電源機構の通算稼働時間へのアクセスに失敗しました。 [対応] 通信および通常運用に影響はありません。ただし、通算稼働時間の管理機能が使用できないため、使用する場合は電源機構を交換してください。
01222012	S6	Access to the power supply unit statistics finished successfully.
		電源機構の通算稼働時間へのアクセスが正常に完了しました。 [対応] なし。

2.6 FAN

メッセージ種別 FAN のシステムメッセージを次の表に示します。

表 2-6 メッセージ種別 FAN のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
01213001	S6	The fan unit is normal.
		ファンユニットは正常状態になりました。 [対応] なし。
01213002	S3	A problem occurred in a fan.
		ファンに障害が発生しました。ファンユニットを交換してください。 [対応] 該当するファンユニットを交換してください。
01213003	S1	The fan unit is not working.
		ファンが停止しました。ファンユニットをすぐに交換してください。 [対応] すぐに該当するファンユニットを交換してください。
01213004	S1	The fan unit is not connected.
		ファンユニットは未搭載です。 [対応] 1. ファンユニットの交換中の場合は、交換作業を続けてください。 2. 交換中でない場合は搭載状態を確認して、未搭載のときはファンユニットを搭載してください。 3. ファンユニットが正しく挿入されているか確認してください。 4. 上記 3.でも回復しない場合は、別のファンユニットに交換してください。
01213005	S3	The fan unit is not supported.
		搭載されているファンユニットはサポートしていません。 [対応] サポートしているモデルのファンユニットと交換してください。
01213006	S4	The fan speed was changed to high.
		ファン障害に伴って、ファンを高速回転にしました。 [対応] なし。
01213007	S6	The fan speed has returned to normal.
		ファンの高速回転を解除しました。 [対応] なし。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
01213008	S3	The fan speed failed to change.
		ファンの回転速度の変更に失敗しました。 [対応] 該当するファンユニットを交換してください。
01223009	S3	Access to the fan unit statistics failed.
		ファンユニットの通算稼働時間へのアクセスに失敗しました。 [対応] ファンの冷却機能に影響はありません。ただし、通算稼働時間の管理機能が使用できないため、使用する場合は該当するファンユニットを交換してください。
0122300a	S6	Access to the fan unit statistics finished successfully.
		ファンユニットの通算稼働時間へのアクセスが正常に完了しました。 [対応] なし。

3 運用管理

3.1 SOFTWARE

メッセージ種別 SOFTWARE のシステムメッセージを次の表に示します。

表 3-1 メッセージ種別 SOFTWARE のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
01100001	S1	The BCU will be restarted because a software error occurred.
		ソフトウェアに障害が発生したため、BCU を再起動します。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、ほかの障害が発生している場合はそのメッセージに合わせて対応してください。
01100002	S5	The software versions of the active BCU and the standby BCU are different.
		運用系と待機系のソフトウェアバージョンが不一致です。 [対応] 1. ソフトウェアのアップデート作業中の場合は、問題ありません。 2. 上記以外の場合、ソフトウェアをアップデートして運用系と待機系のソフトウェアバージョンを一致させてください。ソフトウェアのアップデートの方法については「ソフトウェアインストールガイド」を参照してください。
01100003	S6	The mismatch of software versions recovered.
		運用系と待機系のソフトウェアバージョンの不一致が解消しました。このメッセージは、ソフトウェアバージョンが不一致な状態で他系 BCU がダウンしたときに表示されます。 [対応] なし。
01200002	S1	The BCU will be restarted because a software error occurred.
		ソフトウェアに障害が発生したため、BCU を再起動します。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、ほかの障害が発生している場合はそのメッセージに合わせて対応してください。
01220001	S3	Writing of temperature log data failed.
		温度ログの書き込みに失敗しました。 [対応] 1. 内蔵フラッシュメモリのユーザ領域を確認してください。 2. 空き領域が不足している場合は、不要なファイルを削除して空き領域（約 8KB）を確保してください。
01300001	S5	The CPU usage statistics were initialized because a change in the system time of 5 seconds or more was detected.
		5 秒以上の時刻変更を検出したため、CPU 使用率を保持している統計情報テーブルを初期化しました。 [対応] なし。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
01400001	S6	The software started.
		ソフトウェアの起動を開始しました。 [対応] なし。
01400002	S7	Reference logs will now be acquired.
		統計ログを新規に採取し始めました。このメッセージは、show logging コマンドで reference パラメータを指定した場合だけに表示されます。 [対応] なし。
01400003	S1	The BCU will be restarted because a software error occurred.
		ソフトウェアに障害が発生したため、BCU を再起動します。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、ほかの障害が発生している場合はそのメッセージに合わせて対応してください。
01400004	S6	All operation logs have been cleared.
		すべての運用ログを削除しました。 [対応] なし。
01400005	S6	Operation logs of the specified message type were cleared. (message type = <message type>)
		メッセージ種別 (<message type>) の運用ログを削除しました。 • <message type> メッセージ種別 [対応] なし。
01400006	S2	The log control program (logCtl) restarted.
		ログ制御プログラム (logCtl) を再起動しました。このメッセージは、ログ制御プログラムの強制終了から自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] ログ制御プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル logCtl.core)、ログ情報、およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
01400007	S2	The SYSLOG control program (logSyslogCtl) restarted.
		SYSLOG 送信制御プログラム (logSyslogCtl) を再起動しました。このメッセージは SYSLOG 送信制御プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] SYSLOG 送信制御プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル logSyslogCtl.core)、ログ情報、およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
01400008	S2	The Email control program (logEmailCtl) restarted.
		E-mail 送信制御プログラム (logEmailCtl) を再起動しました。このメッセージは E-mail 送信制御プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] E-mail 送信制御プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル logEmailCtl.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
01400009	S2	The sysmsg control program (logSysMsgCtl) restarted.
		システムメッセージ出力制御プログラム (logSysMsgCtl) を再起動しました。このメッセージはシステムメッセージ出力制御プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] システムメッセージ出力制御プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル logSysMsgCtl.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
01500001	S2	The SOP control program (sopd) restarted.
		SOP 制御プログラム (sopd) を再起動しました。このメッセージは、SOP 制御プログラムの強制終了から自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] SOP 制御プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル sopd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
01600001	S1	The BCU will be restarted because a software error occurred.
		ソフトウェアに障害が発生したため、BCU を再起動します。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、ほかの障害が発生している場合はそのメッセージに合わせて対応してください。
01800001	S5	The BCU will be switched over from active to standby because a software error occurred.
		ソフトウェア障害が発生したため、運用系から待機系に切り替えます。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、障害が発生している場合はそのメッセージに合わせて対応してください。
01800002	S5	A BCU switchover was canceled because the system is not in a duplex state.
		二重化状態ではないため、系切替を中断しました。 [対応] なし。
01800003	S5	A BCU switchover was canceled because a software error occurred repeatedly.
		ソフトウェア障害が連続的に発生したため、系切替を中断しました。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] show logging コマンドでログを確認して、障害が発生している場合はそのメッセージに合わせて対応してください。
0200ff02	S2	The SNMP agent program (snmpd) restarted.
		SNMP エージェントプログラム (snmpd) を再起動しました。このメッセージは、SNMP エージェントプログラムの強制終了から自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] SNMP エージェントプログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル snmpd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお、SNMP エージェントプログラムは自動で再起動します。SNMP エージェントプログラムが再起動しない、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
0201ff00	S2	The RMON program (rmon) restarted.
		RMON プログラム (rmon) を再起動しました。このメッセージは、RMON プログラムの強制終了から自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] RMON プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル rmon.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 なお、RMON プログラムは自動で再起動します。RMON プログラムが再起動しない、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
05000001	S2	The unicast routing program (rtm) was forced to stop. [(error = <error string>)]
		ユニキャストルーティングプログラム (rtm) を強制終了しました。 <error string> エラー要因 Cannot allocate memory: メモリ不足による強制終了 空白: その他の要因による強制終了 [対応] - IP ユニキャストルーティングプログラムの障害退避情報 (/usr/var/core 下のファイル rtm.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 - エラー要因が「メモリ不足による強制終了」の場合、メモリ領域が枯渇したことが原因です。収容条件を超えていないことを確認してください。収容条件を超えていないときは、手順 3.および手順 4.に従って対応してください。 - エラー要因が「その他の要因による強制終了」の場合、ユニキャストルーティングプロトコルに関するほかのログ (メッセージ種別: UNICAST) が発生していないか確認してください。発生している場合はそれに合わせて対応してください。 - エラー要因が「その他の要因による強制終了」の場合、ユニキャストルーティングプログラムは自動で再起動します。ユニキャストルーティングプログラムが再起動しない、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
05000002	S6	The unicast routing program (rtm) restarted.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		ユニキャストルーティングプログラム (rtm) を再起動しました。このメッセージは、ユニキャストルーティングプログラムが自動で再起動した場合、または restart unicast コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
05000003	S1	The BCU will restart because a software error occurred.
		ソフトウェアに障害が発生したため、BCU を再起動します。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、ほかの障害が発生している場合はそのメッセージに合わせて対応してください。
0b000001	S2	The software update control program (upctld) restarted.
		アップデート制御プログラム (upctld) を再起動しました。このメッセージはアップデート制御プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] アップデート制御プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル upctld.core) を収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
0b000002	S2	The syslogd program (syslogd) restarted.
		syslog 送信プログラム (syslogd) を再起動しました。このメッセージは syslog 送信プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] syslog 送信プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル syslogd.core) を収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
0b000003	S2	The dualization file copy program (dupcopyd) restarted.
		BCU 間のファイルコピーを管理するプログラム (dupcopyd) を再起動しました。このメッセージは、BCU 間のファイルコピーを管理するプログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] BCU 間のファイルコピーを管理するプログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル dupcopyd.core) を収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
0b000004	S2	The log control program (krcclogd) restarted.
		装置内情報の転送プログラム (krcclogd) を再起動しました。このメッセージは、装置内情報の転送プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] 装置内情報の転送プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル krcclogd.core) を収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
0d00b001	S2	The DHCP/BOOTP relay agent program (dhcpcd) restarted.
		DHCP/BOOTP リレーエージェントプログラム (dhcpcd) を再起動しました。このメッセージは DHCP/BOOTP リレーエージェントプログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		なし。
0d00b002	S6	The DHCP/BOOTP relay agent program (dhcpcd) restarted.
		DHCP/BOOTP リレーエージェントプログラム (dhcpcd) を再起動しました。このメッセージは DHCP/BOOTP リレーエージェントプログラムがコマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
0e008014	S2	The VRRP program (vrrpd) restarted.
		VRRP プログラム (vrrpd) を再起動しました。このメッセージは VRRP プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] VRRP プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル vrrpd.core) を収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
0f010001	S2	The IPv4 multicast routing program (pimd) restarted.
		IPv4 マルチキャストルーティングプログラム (pimd) を再起動しました。このメッセージは IPv4 マルチキャストルーティングプログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] 1. IPv4 マルチキャストルーティングプログラム関連のほかのログ (メッセージ種別: IPv4-PIM, IGMP) が発生していないか確認してください。発生している場合はそれに合わせて対応してください。 2. IPv4 マルチキャストルーティングプログラムは自動で再起動します。IPv4 マルチキャストルーティングプログラムが再起動しない、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。 3. IPv4 マルチキャストルーティングプログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル pimd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 4. 二重化装置での系切替時に出力された場合は、運用系ならびに待機系の、BCU および PRU のソフトウェアを無停止マルチキャスト中継機能に対応した同じバージョンにアップデートしてください。
0f010002	S6	The IPv4 multicast routing program (pimd) restarted.
		IPv4 マルチキャストルーティングプログラム (pimd) を再起動しました。このメッセージは restart ipv4-multicast コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
11110001	S2	The policy-based routing program (policyd) restarted.
		ポリシーベースルーティング制御プログラム (policyd) を再起動しました。このメッセージはポリシーベースルーティング制御プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] ポリシーベースルーティング制御プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル policyd.core) を収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
11110002	S6	The policy-based routing program (policyd) restarted.
		ポリシーベースルーティング制御プログラム (policyd) を再起動しました。このメッセージは restart policy-based-routing コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
19010001	S2	The IPv6 multicast routing program (pim6sd) restarted.
		IPv6 マルチキャストルーティングプログラム (pim6sd) を再起動しました。このメッセージは IPv6 マルチキャストルーティングプログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] 1. IPv6 マルチキャストルーティングプログラム関連のほかのログ (メッセージ種別: IPv6-PIM, MLD) が発生していないか確認してください。発生している場合はそれに合わせて対応してください。 2. IPv6 マルチキャストルーティングプログラムは自動で再起動します。IPv6 マルチキャストルーティングプログラムが再起動しない、または再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。 3. IPv6 マルチキャストルーティングプログラムの障害回避情報 (/usr/var/core 下のファイル pim6sd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
19010002	S6	The IPv6 multicast routing program (pim6sd) restarted.
		IPv6 マルチキャストルーティングプログラム (pim6sd) を再起動しました。このメッセージは restart ipv6-multicast コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
1e001000	S2	The flow statistics program (flowd) restarted.
		フロー統計エージェントプログラム (flowd) を強制終了しました。 [対応] 1. コアファイル (/usr/var/core 下のファイル flowd.core) を収集してください。 2. フロー統計エージェントプログラムは自動で再起動します。再起動が頻発する場合は装置を再起動してください。
1e001001	S6	The flow statistics program (flowd) restarted.
		フロー統計エージェントプログラム (flowd) を再起動しました。このメッセージは restart sflow コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
1f01b021	S2	The DHCPv6 relay agent program (dhcp6_relay) restarted.
		DHCPv6 リレーエージェントプログラム (dhcp6_relay) を再起動しました。このメッセージは DHCPv6 リレーエージェントプログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] なし。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
1f01b022	S6	The DHCPv6 relay agent program (dhcp6_relay) restarted.
		DHCPv6 リレーエージェントプログラム (dhcp6_relay) を再起動しました。このメッセージは restart ipv6-dhcp relay コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
20110000	S2	The spanning tree program (stpd) restarted.
		スパニングツリープログラム (stpd) を再起動しました。このメッセージはスパニングツリープログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] スパニングツリープログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル stpd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については, 「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
20110001	S6	The spanning tree program (stpd) restarted.
		スパニングツリープログラム (stpd) を再起動しました。このメッセージは restart spanning-tree コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
20120000	S2	The LACP program (lacpd) restarted.
		LACP プログラム (lacpd) を再起動しました。このメッセージは LACP プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] LACP プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル lacpd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については, 「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
20120001	S6	The LACP program (lacpd) restarted.
		LACP プログラム (lacpd) を再起動しました。このメッセージは restart lacp コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
20140001	S2	The LLDP program (lldpd) restarted.
		LLDP プログラム (lldpd) を再起動しました。このメッセージは LLDP プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] LLDP プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル lldpd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については, 「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
20140002	S6	The LLDP program (lldpd) restarted.
		LLDP プログラム (lldpd) を再起動しました。このメッセージは restart lldp コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] なし。
20170001	S2	The Ring Protocol program (axrpd) restarted.
		Ring Protocol プログラム (axrpd) を再起動しました。このメッセージは Ring Protocol プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] Ring Protocol プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル axrpd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については, 「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
20170002	S6	The Ring Protocol program (axrpd) restarted.
		Ring Protocol プログラム (axrpd) を再起動しました。このメッセージは restart axrp コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
20700000	S2	The IEEE802.3ah OAM program (efmoamd) restarted.
		IEEE802.3ah OAM プログラム (efmoamd) を再起動しました。 このメッセージは IEEE802.3ah OAM プログラムが自動的に再起動した場合に出力されます。 [対応] IEEE802.3ah OAM プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル efmoamd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については, 「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
20700001	S6	The IEEE802.3ah OAM program (efmoamd) restarted.
		IEEE802.3ah OAM プログラム (efmoamd) を再起動しました。 このメッセージは IEEE802.3ah OAM プログラムが restart efmoam コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
20800001	S2	The L2 loop detection program (l2ldd) restarted.
		L2 ループ検知プログラム (l2ldd) を再起動しました。このメッセージは L2 ループ検知プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] L2 ループ検知プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル l2ldd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については, 「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
20800002	S6	The L2 loop detection program (l2ldd) restarted.
		L2 ループ検知プログラム (l2ldd) を再起動しました。このメッセージは restart loop-detection コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20900001	S2	The CFM program (cfmd) restarted.
		CFM プログラム (cfmd) を再起動しました。このメッセージは CFM プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] CFM プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル cfmd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
20900002	S6	The CFM program (cfmd) restarted.
		CFM プログラム (cfmd) を再起動しました。このメッセージは restart cfm コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
21030001	S2	The IGMP/MLD snooping program (snoopd) restarted.
		IGMP/MLD snooping プログラム (snoopd) を再起動しました。このメッセージは IGMP/MLD snooping プログラムが自動的に再起動した場合に出力されます。 [対応] 1. IGMP/MLD snooping プログラムは自動的に再起動します。IGMP/MLD snooping プログラムが再起動しない場合、または再起動が頻発する場合は、装置を再起動してください。 2. IGMP/MLD snooping プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル snoopd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
21030002	S6	The IGMP/MLD snooping program (snoopd) restarted.
		IGMP/MLD snooping プログラム (snoopd) を再起動しました。このメッセージは restart snooping コマンドによって再起動した場合に出力されます。 [対応] なし。
25000001	S6	The network interface management program (nimd) restarted.
		ネットワークインタフェース管理プログラム (nimd) を再起動しました。このメッセージは restart interface-manager コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
25000002	S2	The network interface management program (nimd) restarted.
		ネットワークインタフェース管理プログラム (nimd) を再起動しました。このメッセージはネットワークインタフェース管理プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] ネットワークインタフェース管理プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル nimd.core) を収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
27000001	S2	The accounting program (acctd) restarted.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		アカウントングプログラム (acctd) を再起動しました。このメッセージはアカウントングプログラムが自動で再起動した、または restart accounting コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
27000002	S2	The accounting program (acctd) was forced to stop. アカウントングプログラム (acctd) を強制終了しました。 [対応] 1. アカウントングプログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル acctd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。 2. コンフィグレーションからアカウントングの設定を削除したあと、再設定してください。設定方法については、「コンフィグレーションガイド Vol.1」を参照してください。 3. 手順 2. の対応後もアカウントングプログラムが強制終了する場合は、装置を再起動してください。
2d000001	S2	The flow log control program (flowlogd) restarted. フローログ制御プログラム (flowlogd) を再起動しました。このメッセージはフローログ制御プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] フローログ制御プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル flowlogd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
2d000002	S6	The flow log control program (flowlogd) restarted. フローログ制御プログラム (flowlogd) を再起動しました。このメッセージは restart flow-log-control コマンドによって再起動した場合に出力されます。 [対応] なし。
31000001	S2	The track program (trackd) restarted. トラックプログラム (trackd) を再起動しました。このメッセージはトラックプログラムが強制終了した場合に出力されます。 [対応] トラックプログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル trackd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
31000002	S6	The track program (trackd) restarted. トラックプログラム (trackd) を再起動しました。このメッセージは restart track コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
35000001	S1	The BCU will restart because a software error occurred.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		ソフトウェアに障害が発生したため、BCU を再起動します。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、ほかの障害が発生している場合はそのメッセージに合わせて対応してください。
35020001	S1	The BCU will restart because a PA software error occurred.
		PA ソフトウェアに障害が発生したため、BCU を再起動します。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、ほかの障害が発生している場合はそのメッセージに合わせて対応してください。
37110001	S2	The queue control program (quectld) restarted.
		キュー制御プログラム (quectld) を再起動しました。このメッセージはキュー制御プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] キュー制御プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル quectld.core) を収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
37110002	S6	The queue control program (quectld) restarted.
		キュー制御プログラム (quectld) を再起動しました。このメッセージは restart queue-control コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
37410001	S2	The queue statistics program (queinfod) restarted.
		キュー統計制御プログラム (queinfod) を再起動しました。このメッセージはキュー統計制御プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] キュー統計制御プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル queinfod.core) を収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
37410002	S6	The queue statistics program (queinfod) restarted.
		キュー統計制御プログラム (queinfod) を再起動しました。このメッセージは保守用のコマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
38000001	S2	The synchronization management program(dupctld) restarted.
		BCU 間の同期情報を管理するプログラム (dupctld) を強制再起動しました。 [対応] プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル dupctld.core) を収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
38000002	S6	The synchronization management program(dupctld) restarted.
		BCU 間の同期情報を管理するプログラム (dupctld) を再起動しました。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] なし。
3a110001	S2	The filter and qosflow program (flowctld) restarted.
		フィルタ・QoS フロープログラム (flowctld) を再起動しました。このメッセージはフィルタ・QoS フロープログラムが強制終了した場合に出力されます。 [対応] フィルタ・QoS フロープログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル flowctld.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については, 「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
3a110002	S6	The filter and qosflow program (flowctld) restarted.
		フィルタ・QoS フロープログラム (flowctld) を再起動しました。このメッセージは restart filter-qosflow コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
3a510001	S2	The filter-qosflow statistics program (flowinfod) restarted.
		フィルタ・QoS フロー統計制御プログラム (flowinfod) を再起動しました。このメッセージはフィルタ・QoS フロー統計制御プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] フィルタ・QoS フロー統計制御プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル flowinfod.core) を収集してください。収集方法については, 「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
3a510002	S6	The filter-qosflow statistics program (flowinfod) restarted.
		フィルタ・QoS フロー統計制御プログラム (flowinfod) を再起動しました。このメッセージは保守用のコマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
3b000001	S2	The command-driver-interface-program (cmddrvif) restarted.
		コマンドドライバインタフェースプログラムが再起動しました。 [対応] 1. 実行中にエラーメッセージを表示して終了した運用コマンドがある場合, 再実行してください。 2. コマンドドライバインタフェースプログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル cmddrvifd.core) を収集してください。収集方法については, 「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
3d008605	S2	The NTP program (ntpd) restarted.
		NTP プログラム (ntpd) を再起動しました。このメッセージは NTP プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] NTP プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル ntpd.core) を収集してください。収集方法については, 「トラブルシューティングガイド」を参照してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
3d008615	S2	The SNTP program (sntpd) restarted.
		SNTP プログラム (sntpd) を再起動しました。このメッセージは SNTP プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] SNTP プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル sntpd.core) を収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
3e010001	S2	The event management program (eventManagerd) restarted.
		イベント管理プログラム (eventManagerd) が再起動しました。このメッセージはイベント管理プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] イベント管理プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル eventManagerd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
3e010002	S6	The event management program (eventManagerd) restarted.
		イベント管理プログラム (eventManagerd) が再起動しました。このメッセージは restart event-manager コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
3e020001	S2	The script management program (scriptManagerd) restarted.
		スクリプト管理プログラム (scriptManagerd) が再起動しました。このメッセージはスクリプト管理プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] スクリプト管理プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル scriptManagerd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
3e020002	S6	The script management program (scriptManagerd) restarted.
		スクリプト管理プログラム (scriptManagerd) が再起動しました。このメッセージは restart script-manager コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
47000001	S2	The BFD program (bfd) restarted.
		BFD プログラム (bfd) を再起動しました。このメッセージは、BFD プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] BFD プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル bfd.core) を収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
47000002	S6	The BFD program (bfd) restarted.
		BFD プログラム (bfd) を再起動しました。このメッセージは restart bfd コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] なし。
48000001	S1	The BCU will restart because a software error occurred.
		ソフトウェアに障害が発生したため、BCU を再起動します。 [対応] show logging コマンドでログを確認して、ほかの障害が発生している場合は、そのメッセージに合わせて対応してください。
49110001	S2	The hierarchical shaper program (shaperd) restarted.
		階層化シェーパ制御プログラム (shaperd) を再起動しました。このメッセージは階層化シェーパ制御プログラムが強制終了した場合に出力されます。 [対応] 階層化シェーパ制御プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル shaperd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
49110002	S6	The hierarchical shaper program (shaperd) restarted.
		階層化シェーパ制御プログラム (shaperd) を再起動しました。このメッセージは restart shaper コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
52000000	S2	The storm control program (stmctld) restarted.
		ストームコントロールプログラム (stmctld) を再起動しました。このメッセージはストームコントロールプログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] ストームコントロールプログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル stmctld.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
52000001	S6	The storm control program (stmctld) restarted.
		ストームコントロールプログラム (stmctld) を再起動しました。このメッセージはストームコントロールプログラムが restart storm-control コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。
55000001	S2	The destination-interface-manager program (dimd) restarted.
		送信先インタフェース制御プログラム (dimd) を再起動しました。このメッセージは送信先インタフェース制御プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] 送信先インタフェース制御プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル dimd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については、「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
55000002	S6	The destination-interface-manager program (dimd) restarted.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		送信先インタフェース制御プログラム (dimd) を再起動しました。このメッセージは restart destination-interface-manager コマンドによって再起動した場合に出力されます。 [対応] なし。
56000001	S2	The TCP High-Availability program (tcphad) restarted.
		TCP 高可用プログラム (tcphad) を再起動しました。このメッセージは TCP 高可用プログラムが自動で再起動した場合に出力されます。 [対応] TCP 高可用プログラムの障害回避情報 (/usr/var/core 下のファイル tcphad.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については, 「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
57000001	S2	The track watch program (trackWatchd) restarted.
		トラック監視プログラム (trackWatchd) を再起動しました。このメッセージはトラック監視プログラム (trackWatchd) が強制終了した場合に出力されます。 [対応] トラック監視プログラムの障害待避情報 (/usr/var/core 下のファイル trackWatchd.core), ログ情報, およびコンフィグレーションを収集してください。収集方法については, 「トラブルシューティングガイド」を参照してください。
57000002	S6	The track watch program (trackWatchd) restarted.
		トラック監視プログラム (trackWatchd) を再起動しました。このメッセージは restart track-watch コマンドによって再起動を要求した場合に出力されます。 [対応] なし。

3.2 CONFIG

メッセージ種別 CONFIG のシステムメッセージを次の表に示します。

表 3-2 メッセージ種別 CONFIG のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
09200003	S3	Synchronization of the configuration files failed.
		冗長化運用開始時に、運用系 BCU と待機系 BCU の間でランニングコンフィグレーションおよび編集 中のコンフィグレーションの同期に失敗しました。 [対応] ソフトウェアバージョンが運用系 BCU と待機系 BCU で一致しているときは、待機系 BCU を再起動し て、運用系 BCU と待機系 BCU のランニングコンフィグレーションおよび編集中のコンフィグレー ションを一致させてください。
09200004	S6	Configuration files were successfully synchronized between the active and standby systems.
		冗長化運用開始時に、運用系 BCU と待機系 BCU の間でランニングコンフィグレーションおよび編集 中のコンフィグレーションの同期に成功しました。 [対応] なし。
09200005	S3	The active and standby configurations are different.
		運用系 BCU と待機系 BCU のコンフィグレーションが異なります。 この状態で、致命的障害発生、リセットボタン押下、ACH スイッチ押下、redundancy force-switchover コマンド実行、または reload active コマンド実行などによって系切替が発生した場合、系切替後の新 運用系 BCU は再起動します。 このメッセージは次のどれかの場合に表示されます。 - 運用系 BCU と待機系 BCU のランニングコンフィグレーションまたは編集中のコンフィグレー ションが、装置起動時に異なっていた場合 - 運用系 BCU と待機系 BCU のランニングコンフィグレーションまたは編集中のコンフィグレー ションが、一致している状態から異なった場合 - 他系 BCU の起動によって、運用系 BCU と待機系 BCU のランニングコンフィグレーションまたは 編集中のコンフィグレーションが異なった場合 [対応] - ソフトウェアバージョンが運用系 BCU と待機系 BCU で一致しているときは、待機系 BCU を再起 動して、運用系 BCU と待機系 BCU のランニングコンフィグレーションおよび編集中のコンフィグ レーションを一致させてください(待機系 BCU のランニングコンフィグレーションおよび編集中の コンフィグレーションが運用系 BCU と同じになります)。 - ソフトウェアバージョンが運用系 BCU と待機系 BCU で不一致のときは、運用系 BCU と待機系 BCU のソフトウェアバージョンを一致させてください。
09200006	S6	The mismatch of configurations recovered.
		運用系 BCU と待機系 BCU のコンフィグレーションが異なっている状態から復旧しました。 このメッセージは次のどちらかの場合に表示されます。 運用系 BCU と待機系 BCU のコンフィグレーションが、異なっている状態から一致した場合

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		運用系 BCU と待機系 BCU のコンフィグレーションが異なっている状態で、他系 BCU がダウンした場合 [対応] なし。
09300003	S3	This system started with the default configuration file because the startup configuration file was corrupted or not found. 次のどちらかの理由によって、デフォルト設定情報で運用を開始しました。 - スタートアップコンフィグレーションファイルがない、または読み込めない。 - BCU の障害が発生して自動復旧した回数が、一定時間内に 6 回に達した。 [対応] - コンフィグレーションファイルを待避している場合は、copy コマンドを使用して、保存しているコンフィグレーションファイルをスタートアップコンフィグレーションファイルに反映してください。 - コンフィグレーションファイルを待避していない場合は、新しくコンフィグレーションファイルを作成してください。 - show logging コマンドでログを確認して、BCU の障害が発生していた場合はそのメッセージに対応した処置をしてください。
09300005	S3	The startup configuration file has a command syntax error. (line = <line number>, syntax = <error syntax>) スタートアップコンフィグレーションファイルで構文誤りを検出したため、ランニングコンフィグレーションへの反映をスキップしました。 <line number> 対象のコンフィグレーションコマンドの行番号 <error syntax> 対象のコンフィグレーションコマンドの構文 [対応] 対象のコンフィグレーションコマンドの構文を見直してください。
09300006	S3	An attempt to change the interface configuration failed. (NIF = <nif no.>) NIF に対応するイーサネットインタフェースのコンフィグレーションの設定に失敗しました。 <nif no.> NIF 番号 [対応] 再度 NIF を抜き差ししてください。
09300007	S6	The interface configuration changed because a NIF was connected. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>) NIF が搭載されたため、イーサネットインタフェースのコンフィグレーションを変更しました。 <nif no.> NIF 番号 <port no.> ポート番号 [対応] なし。
09300008	S3	An automatic configuration command failed. (command = <command>)

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		自動設定コンフィグレーションコマンドに失敗しました。 • <command> コマンド名 [対応] 該当コマンドを手動で設定してください。
09300009	S6	The configuration will now be rebuilt.
		次のオペレーションを実施したため、コンフィグレーションを再構築します。 • ソフトウェアのアップデート • ハードウェアプロファイルの変更 [対応] なし。
09300010	S6	A vlan-mac-suffix configuration was changed. Restart the system.
		VLAN ごと MAC アドレスの下位ビット部の設定内容を反映させるために、装置を再起動してください。 再起動前に、コンフィグレーションコマンド save または commit を実行して、編集したコンフィグレーションをスタートアップコンフィグレーションファイルに保存してください。 [対応] コンフィグレーションコマンド save または commit を実行してから、装置を再起動してください。
09300011	S6	All the non-committed configuration has been lost because a 'load merge' command failed.
		load merge コマンドが失敗したため、手動コミットモードでランニングコンフィグレーションに反映していないコンフィグレーションの編集は破棄されました。 [対応] なし。
0930000b	S3	The command cannot be set because the maximum number of entries was exceeded. (entry = <value1>, maximum number = <value2>)
		エントリの最大値を超過したため、コンフィグレーションコマンドを設定できません（エントリ名=<value1>, 最大値=<value2>）。 • <value1> エントリ名 • <value2> 最大値 [対応] ソフトウェアをアップデートする前のソフトウェアバージョンに戻して、コンフィグレーションを修正してください。
0930000c	S4	The ifIndex of the MIB was re-set.
		スタートアップコンフィグレーションファイルから MIB の ifIndex の読み込みに失敗したため、再設定してランニングコンフィグレーションに反映しました。 [対応] MIB の ifIndex の値を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
0930000d	S3	The interface configuration is invalid because the NIF has changed. (NIF/ port = <nif no.>/<port no.>)
		NIF が変更されたため、イーサネットインタフェースのコンフィグレーションが無効になっています。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 無効になったイーサネットインタフェースのコンフィグレーションを削除してください。NIF に対応するイーサネットインタフェースのコンフィグレーションを自動的に生成します。
0930000e	S6	The interface configuration is valid for all the NIFs.
		搭載されているすべての NIF のイーサネットインタフェースのコンフィグレーションが有効になりました。 [対応] なし。
09400003	S6	The configuration commit mode was changed. (mode = <mode>)
		コンフィグレーションのコミットモードが変更されました。 • <mode> 変更後のコンフィグレーションのコミットモード Auto commit : 逐次コミットモード Manual commit : 手動コミットモード [対応] なし。
09600003	S5	A lock on the configuration was released because access by a process took too long. (process = <process name>, pid = <process id>, time = <time>)
		コンフィグレーションに長時間アクセスしているプロセスが存在したため、ロックを解放して自動で復旧しました。 • <process name> 発生プロセス名 • <process id> 発生プロセス ID • <time> 発生時刻 (年/月/日 時:分:秒 タイムゾーン) [対応] なし。
35060601	S6	A hardware profile configuration was changed. Restart the system.
		ハードウェアプロファイルのコンフィグレーションの変更内容を反映させるために、装置を再起動してください。 再起動前に、コンフィグレーションコマンド save または commit を実行して、編集したコンフィグレーションをスタートアップコンフィグレーションファイルに保存してください。 ハードウェアプロファイルの内容に関係なくコンフィグレーションを変更した場合は、必ず装置を再起動してください。 [対応] コンフィグレーションコマンド save または commit を実行してから、装置を再起動してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
35070701	S6	A speed configuration was changed. Restart the NIF.
		SFP+/SFP 共用ポートを収容する NIF で、回線速度のコンフィグレーションの内容を反映させるために、NIF を再起動してください。 [対応] NIF を再起動してください。
37610106	S6	A queue length configuration was changed. Restart the NIF.
		キュー長のコンフィグレーションの内容を反映させるために、NIF を再起動してください。 [対応] NIF を再起動してください。
3a110003	S6	A flow table allocation configuration was changed. Restart all the PRUs.
		フロー配分パターンのコンフィグレーションの内容を反映させるために、すべての PRU を再起動してください。 配分パターンの内容に関係なくコンフィグレーションを変更した場合は、必ず PRU を再起動してください。 [対応] すべての PRU を再起動してください。
3a110004	S6	A flow detection mode configuration was changed. Restart all the PRUs.
		フロー検出モードのコンフィグレーションの内容を反映させるために、すべての PRU を再起動してください。 検出モードの内容に関係なくコンフィグレーションを変更した場合は、必ず PRU を再起動してください。 [対応] すべての PRU を再起動してください。
3a110006	S6	A policer statistics mode configuration was changed. Restart all the PRUs.
		ポリサー統計モードのコンフィグレーションの内容を反映するために、すべての PRU を再起動してください。 統計モードの内容に関係なくコンフィグレーションを変更した場合は、必ず PRU を再起動してください。 [対応] すべての PRU を再起動してください。
3a110007	S6	A VLAN statistics mode configuration was changed. Restart all the PRUs.
		インタフェース統計モードのコンフィグレーションの内容を反映するために、すべての PRU を再起動してください。 統計モードの内容に関係なくコンフィグレーションを変更した場合は、必ず PRU を再起動してください。 [対応] すべての PRU を再起動してください。
3f000001	S6	A forwarding table allocation configuration was changed. Restart all the PRUs.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		経路配分パターンのコンフィグレーションの内容を反映させるため、すべての PRU を再起動してください。 配分パターンの内容に関係なくコンフィグレーションを変更した場合は、必ず PRU を再起動してください。 [対応] 経路配分パターンのコンフィグレーションの内容を反映させるため、すべての PRU を再起動してください。 配分パターンの内容に関係なくコンフィグレーションを変更した場合は、必ず PRU を再起動してください。
3f000015	S3	A forwarding table allocation configuration is incorrect. Set the configuration again.
		経路配分パターンのコンフィグレーションの内容が不正です。PRU を再起動する前に、正しい手順で経路配分パターンを設定してください。 [対応] 経路配分パターンのコンフィグレーションの内容が不正です。PRU を再起動する前に、正しい手順で経路配分パターンを設定してください。 経路配分パターンを再設定する前に PRU を再起動した場合は、動作中のハードウェアプロファイルの経路配分パターンは default で動作します。
49210301	S6	A hierarchical shaper user-priority mapping configuration was changed. Restart the NIF.
		階層化シェーパのユーザ優先度マッピングのコンフィグレーションの内容を反映させるために、NIF を再起動してください。 [対応] NIF を再起動してください。
49210302	S6	A hierarchical shaper mode configuration was changed. Restart the NIF.
		階層化シェーパのシェーパモードのコンフィグレーションの内容を反映させるために、NIF を再起動してください。 [対応] NIF を再起動してください。

3.3 ACCESS

メッセージ種別 ACCESS のシステムメッセージを次の表に示します。

表 3-3 メッセージ種別 ACCESS のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
06000001	S5	Login was refused because the host address is unknown. (address = <ip address>, kind = <kind>)
		リモート運用端末から接続しようとしたが、<ip address>からの接続が拒否されました。 • <ip address> IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス • <kind> 接続種別 [対応] 1. 本装置に対して不正にアクセス（コンフィグレーションで許可された以外のリモートホストからのアクセス）されたおそれがあります。IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスが<ip address>のリモートホストを確認してください。 2. <ip address>からのリモートアクセスを許可している場合は、コンフィグレーションに誤りがあるおそれがあります。コンフィグレーションを確認してください。 3. <ip address>からのリモートアクセスを許可する場合は、コンフィグレーションでアクセス許可を指定してください。 4. VRF <vrf id>からのリモートアクセスを許可している場合は、コンフィグレーションに誤りがあるおそれがあります。コンフィグレーションを確認してください。 5. VRF <vrf id>からのリモートアクセスを許可する場合は、コンフィグレーションでアクセス許可を指定してください。
06000002	S5	Login failed. (user name = <user name>, address = <ip address>, kind = <kind>)
		<user name>のアカウントでログインしようとしたが、<ip address>からのログインが拒否されました。 • <user name> ユーザ名 • <ip address> IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス • <kind> 接続種別 [対応] 1. 本装置に対して、コンソールまたはコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正にアクセス（アカウント、パスワード認証で失敗）されたおそれがあります。コンソールまたはコンフィグレーションで許可したリモートホストの運用状況を確認してください。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作をした場合にも収集されます。したがって、このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がないこともあります。 3. コンフィグレーションコマンド username で登録済みのアカウントか、確認してください（確認方法：show users コマンドで該当するユーザアカウントがあるか確認）。
06000003	S5	Login was refused because too many users already logged in. (kind = <kind>)
		リモート運用端末から接続しようとしたが、ログインユーザ数をオーバーしたため、接続が拒否されました。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <kind> 接続種別 [対応] 1. 現在ログインしているユーザ数を確認してください。 2. 必要な場合、コンフィグレーションでログインできるユーザ数の上限を増やしてください。
06005002	S6	A user logged in. (user = <user name>, host = <host>, terminal = <term>, kind = <kind>)
		ユーザがログインしました。 • <user name> ユーザ名 • <host> ホスト識別子 IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスまたはホスト名：リモート運用端末 console：コンソール端末 aux：AUX 端末 • <term> 端末名 tty0～：リモート運用端末 tty00：コンソール端末 tty01：AUX 端末 • <kind> 接続種別 [対応] なし。
06005003	S6	A user logged out. (user = <user name>, host = <host>, terminal = <term>, kind = <kind>)
		ユーザがログアウトしました。 • <user name> ユーザ名 • <host> ホスト識別子 IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレスまたはホスト名：リモート運用端末 console：コンソール端末 aux：AUX 端末 • <term> 端末名 tty0～：リモート運用端末 tty00：コンソール端末 tty01：AUX 端末 • <kind> 接続種別 [対応] なし。
06020001	S5	Login via the AUX port failed. (user = <user name>)
		<user name>のアカウントで AUX ポート経由の PPP リンクを確立しようとしたが拒否されました。 • <user name> ユーザ名 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		1. AUX ポートに対する PPP アクセス時に、不正にアクセス（アカウント、パスワード認証で失敗）されたおそれがあります。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作をした場合にも収集されます。したがって、このログが収集されても運用状況に問題がないこともあります。
06030001	S6	Local authentication succeeded. (kind = <kind>)
		ユーザからのログイン要求、または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対して、ローカル認証をして認証に成功しました。 • <kind> 接続種別 - enable：装置管理者モードへの変更 [対応] なし。
06030002	S5	Local authentication failed. (kind = <kind>)
		ユーザからのログイン要求、または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対して、ローカル認証をしましたが認証に失敗しました。 • <kind> 接続種別 - enable：装置管理者モードへの変更 [対応] 1. 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正にアクセスされたおそれがあります。リモートホストの運用状況を確認してください。 2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作をした場合にも収集されます。したがって、このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がないこともあります。
06030003	S6	The RADIUS server approved the authentication request. (host = <host>, kind = <kind>)
		ユーザからのログイン要求、または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対して、RADIUS 認証をして認証に成功しました。 • <host> RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 • <kind> 接続種別 - enable：装置管理者モードへの変更 [対応] なし。
06030004	S5	The RADIUS server rejected the authentication request. (host = <host>, message from server = <message>, kind = <kind>)
		ユーザからのログイン要求、または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対して、RADIUS 認証をしましたが RADIUS サーバによって否認されました。 • <host> RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 • <message> RADIUS サーバからの応答メッセージ • <kind> 接続種別 - enable：装置管理者モードへの変更 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		1.本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正にアクセスされたおそれがあります。リモートホストの運用状況を確認してください。 2.このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作をした場合にも収集されます。したがって、このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がないこともあります。 3.RADIUS サーバの設定を確認してください。
06030005	S5	The RADIUS server did not respond to the authentication request. (host = <host>, kind = <kind>)
		ユーザからのログイン要求、または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対して、RADIUS 認証をしようとしたましたが RADIUS サーバが応答しません。 • <host> RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 • <kind> 接続種別 enable：装置管理者モードへの変更 [対応] 1.RADIUS サーバの IP アドレスが正しいかコンフィグレーションを確認してください。 2.RADIUS サーバのポート番号が正しいかコンフィグレーションを確認してください。
06030006	S3	The RADIUS server configuration is not defined. (kind = <kind>)
		ユーザからのログイン要求、または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対して、RADIUS 認証をしようとしたましたが RADIUS サーバに関するコンフィグレーションがありません。 • <kind> 接続種別 enable：装置管理者モードへの変更 [対応] 1.RADIUS のコンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2.RADIUS のコンフィグレーションで、acct-only が指定されて認証が抑止されていないか確認してください。
06030007	S5	An invalid response was received from the authentication server. (host = <host>, kind = <kind>)
		ユーザからのログイン要求、または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対して、RADIUS/TACACS+認証をしましたが RADIUS/TACACS+サーバからの応答が不正でした。 • <host> RADIUS/TACACS+サーバの IP アドレスまたはホスト名 • <kind> 接続種別 enable：装置管理者モードへの変更 [対応] RADIUS/TACACS+鍵が本装置と RADIUS/TACACS+サーバ間で一致していることを確認してください。
06030008	S5	RADIUS authentication failed. (kind = <kind>)
		ユーザからのログイン要求、または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対して、RADIUS 認証をしましたが認証に失敗しました。 • <kind> 接続種別 enable：装置管理者モードへの変更

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] このメッセージのほかに RADIUS 認証に関する運用ログが出力されている場合は、そのメッセージを参照してください。
0603000a	S5	Communication with the RADIUS server failed. (host = <host>, kind = <kind>)
		RADIUS サーバと通信できません。 • <host> RADIUS サーバの IP アドレスまたはホスト名 • <kind> 接続種別 enable : 装置管理者モードへの変更 [対応] 1. RADIUS サーバまでの経路があることを確認してください。 2. RADIUS サーバをホスト名で指定している場合は、名前解決ができることを確認してください。
0603000b	S5	No command lists were successfully acquired from the RADIUS server. (kind = <kind>)
		RADIUS コマンド承認をしましたが、RADIUS サーバから正常に取得できたコマンドリストがありません。 • <kind> 接続種別 [対応] RADIUS サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）に Class, Alaxala-Allow-Commands, Alaxala-Deny-Commands が正しく設定されていることを確認してください。
06030013	S6	The TACACS+ server approved the authentication request. (host = <host>, kind = <kind>)
		ユーザからのログイン要求、または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対して、TACACS+認証をして認証に成功しました。 • <host> TACACS+サーバの IP アドレスまたはホスト名 • <kind> 接続種別 enable : 装置管理者モードへの変更 [対応] なし。
06030014	S5	The TACACS+ server rejected the authentication request. (host = <host>, kind = <kind>)
		ユーザからのログイン要求、または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対して、TACACS+認証をしましたが TACACS+サーバによって否認されました。 • <host> TACACS+サーバの IP アドレスまたはホスト名 • <kind> 接続種別 enable : 装置管理者モードへの変更 [対応] 1. 本装置に対してコンフィグレーションで許可されたリモートホストから不正にアクセスされたおそれがあります。リモートホストの運用状況を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		2. このログは正規のユーザがログイン時に誤った操作をした場合にも収集されます。したがって、このログが収集されてもリモートホストの運用状況に問題がないこともあります。 3. TACACS+サーバの設定を確認してください。
06030015	S5	The TACACS+ server did not respond to the authentication request. (host = <host>, kind = <kind>) ユーザからのログイン要求、または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対して、TACACS+認証やコマンド承認（TACACS+コンフィグレーションでコマンド承認指定ありの場合）をしようとしたが、TACACS+サーバが応答しません。 • <host> TACACS+サーバの IP アドレスまたはホスト名 • <kind> 接続種別 enable：装置管理者モードへの変更 [対応] TACACS+サーバの IP アドレスが正しいかコンフィグレーションを確認してください。
06030016	S3	The TACACS+ server configuration is not defined. (kind = <kind>) ユーザからのログイン要求、または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対して、TACACS+認証をしようとしたが、TACACS+サーバに関するコンフィグレーションがありません。 • <kind> 接続種別 enable：装置管理者モードへの変更 [対応] 1. TACACS+のコンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2. TACACS+のコンフィグレーションで、acct-only が指定されて認証が抑止されていないか確認してください。
06030018	S5	TACACS+ authentication failed. (kind = <kind>) ユーザからのログイン要求、または装置管理者モードへの変更（enable コマンド）要求に対して、TACACS+認証をしましたが認証に失敗しました。 • <kind> 接続種別 enable：装置管理者モードへの変更 [対応] このメッセージのほかに TACACS+認証に関する運用ログが出力されている場合は、そのメッセージを参照してください。
0603001a	S5	Communication with the TACACS+ server failed. (host = <host>, kind = <kind>) TACACS+サーバと通信できません。 • <host> TACACS+サーバの IP アドレスまたはホスト名 • <kind> 接続種別 enable：装置管理者モードへの変更 [対応] 1. TACACS+サーバまでの経路があることを確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		2. TACACS+サーバをホスト名で指定している場合は、名前解決ができることを確認してください。 3. TACACS+のコンフィグレーションで設定したポート番号を使用して、TACACS+サーバが起動していることを確認してください。 4. TACACS+サーバ側のクライアント IP アドレスに本装置の IP アドレスが登録されていることを確認してください。
0603001b	S5	No command lists were successfully acquired from the TACACS+ server. (kind = <kind>)
		TACACS+コマンド承認をしました。TACACS+サーバから正常に取得できたコマンドリストがありません。 • <kind> 接続種別 [対応] TACACS+サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）に class, allow-commands, deny-commands が正しく設定されていることを確認してください。
0603001c	S5	TACACS+ command authorization was rejected by the TACACS+ server. (host = <host>, kind = <kind>)
		TACACS+コマンド承認をしました。TACACS+サーバによって否認されました。 • <host> TACACS+サーバの IP アドレスまたはホスト名 • <kind> 接続種別 [対応] 1. TACACS+サーバ側の設定（本装置のベンダー固有設定）のサービス名が正しいことを確認してください。 2. TACACS+サーバ側のその他の設定を確認してください。
0603001d	S3	A local authorization response had no content. (kind = <kind>)
		ローカルコマンド承認をしました。ユーザ名とユーザ名に対応したコマンドクラスまたはコマンドリストの設定がありません。 • <kind> 接続種別 [対応] ローカル認証でログインしたユーザに、コマンドクラス（username view-class）またはコマンドリスト（username view, parser view, commands exec）が正しく設定されていることを確認してください。
27000011	S5	Accounting was temporarily stopped because too many accounting events caused some congestion.
		アカウントイベントの送信が輻輳したため、ログイン、ログアウト、およびコマンドのアカウントを一時停止しました。 [対応] 1. show accounting コマンドで、エラーが発生している RADIUS または TACACS+サーバがないか確認してください。 2. エラーが発生している RADIUS サーバまたは TACACS+サーバのコンフィグレーションを確認してください。 また、RADIUS サーバまたは TACACS+サーバ側の設定も正しいことを確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		輻輳状態は次のどれかの契機で回復します。 • RADIUS サーバまたは TACACS+サーバとの通信が復旧後, 送信待ちアカウンティングイベント数が 256 まで減少したとき。 送信待ちアカウンティングイベント数は, show accounting コマンドの表示項目「InQueue」で確認できます。 • restart accounting コマンドを実行したとき。 • 次に示すアカウンティング関連のコンフィグレーションを変更したとき。 • aaa accounting exec • aaa accounting commands • radius-server • tacacs-server • interface loopback モードの ip address
27000012	S6	Accounting was restarted because the congestion caused by the accounting events was cleared up.
		アカウンティングイベントの送信が輻輳から回復したため, ログイン, ログアウト, およびコマンドのアカウンティングを再開しました。 [対応] なし。
27000013	S5	Accounting failed. (number of failures = <number>)
		ログイン, ログアウト, およびコマンドのアカウンティングが失敗しました。このメッセージは, アカウンティングが失敗した場合に, 間隔を空けて出力されます。なお, 1 回でも成功した場合や, 1 時間失敗が起きなかった場合には, 失敗回数はクリアされます。 • <number> 連続で失敗した回数 [対応] 1. RADIUS サーバまたは TACACS+サーバのコンフィグレーションが設定されているか確認してください。 2. RADIUS サーバまたは TACACS+サーバの IP アドレスが正しいかコンフィグレーションを確認してください。 3. RADIUS サーバまたは TACACS+サーバのポート番号が正しいかコンフィグレーションを確認してください。

3.4 NTP

メッセージ種別 NTP のシステムメッセージを次の表に示します。

表 3-4 メッセージ種別 NTP のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
3d008601	S5	Synchronization with an NTP server was lost. (NTP server = <ip address>)
		NTP サーバとの同期が失われました。 • <ip address> NTP サーバの IPv4 アドレス [対応] show ntp associations コマンドで NTP の状態を確認してください。同期しない状態が継続する場合は、NTP コンフィグレーション、NTP サーバの動作状況および通信可否を確認してください。
3d008602	S5	An invalid packet from an NTP server was detected. (NTP server = <ip address>)
		NTP サーバからの不正なパケットを検出しました。 • <ip address> NTP サーバの IPv4 アドレス [対応] NTP サーバを確認してください。
3d008603	S5	The NTP server to synchronize with was not found.
		同期できる NTP サーバがありません。 [対応] NTP コンフィグレーション、NTP サーバの動作状況および通信可否を確認してください。
3d008604	S6	It synchronized with the NTP server. (NTP server = <ip address>)
		NTP サーバと同期しました。 • <ip address> NTP サーバの IPv4 アドレス [対応] なし。
3d008611	S5	Synchronization with an SNTP server was lost. (SNTP server = <ip address>)
		SNTP サーバとの同期が失われました。 • <ip address> SNTP サーバの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応] SNTP サーバを確認してください。
3d008612	S5	An invalid packet from an SNTP server was detected. (SNTP server = <ip address>)
		SNTP サーバからの不正なパケットを検出しました。 • <ip address> SNTP サーバの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		SNTP サーバを確認してください。
3d008613	S5	The SNTP server to synchronize with was not found.
		同期できる SNTP サーバがありません。 [対応] SNTP コンフィグレーション, NTP サーバの動作状況および通信可否を確認してください。
3d008614	S6	It synchronized with the SNTP server. (SNTP server = <ip address>)
		SNTP サーバと同期しました。 • <ip address> SNTP サーバの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス [対応] なし。

3.5 SOP-KEY

メッセージ種別 SOP-KEY のシステムメッセージを次の表に示します。

表 3-5 メッセージ種別 SOP-KEY のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
01504000	S6	An inactivate operation for the board was selected. (board = <board>)
		<board>の inactivate 指示が選択されました。このメッセージは運用系 BCU でだけ表示されます。 <board> ボード種別 Standby BCU：待機系 BCU SFU<sfu no.>：SFU 番号 PRU<pru no.>：PRU 番号 NIF<nif no.>：NIF 番号 [対応] なし。
01504001	S6	The inactivate operation was canceled.
		inactivate 指示の NO が選択されました。このメッセージは運用系 BCU でだけ表示されます。 [対応] なし。
01504002	S6	The inactivate operation was confirmed.
		inactivate 指示の YES が選択されました。このメッセージは運用系 BCU でだけ表示されます。 [対応] なし。
01504010	S6	An activate operation for the board was selected. (board = <board>)
		<board>の activate 指示が選択されました。このメッセージは運用系 BCU でだけ表示されます。 <board> ボード種別 Standby BCU：待機系 BCU SFU<sfu no.>：SFU 番号 PRU<pru no.>：PRU 番号 NIF<nif no.>：NIF 番号 [対応] なし。
01504011	S6	The activate operation was canceled.
		activate 指示の NO が選択されました。このメッセージは運用系 BCU でだけ表示されます。 [対応] なし。
01504012	S6	The activate operation has been confirmed.
		activate 指示の YES が選択されました。このメッセージは運用系 BCU でだけ表示されます。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] なし。
01504020	S6	The shutdown operation was canceled.
		shutdown 指示の NO が選択されました。 [対応] なし。
01504121	S6	The shutdown operation was confirmed.
		shutdown 指示の YES が選択されました。 [対応] なし。

3.6 SOP-RSP

メッセージ種別 SOP-RSP のシステムメッセージを次の表に示します。

表 3-6 メッセージ種別 SOP-RSP のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
01505000	S6	No board exists that can be inactivated.
		inactivate 操作ができるボードがありません。このメッセージは運用系 BCU でだけ表示されます。 [対応] なし。
01505001	S6	No board exists that can be activated.
		activate 操作ができるボードがありません。このメッセージは運用系 BCU でだけ表示されます。 [対応] なし。
01505002	S6	The port information cannot be displayed because no NIF is active.
		active 状態の NIF がいないためポート情報を表示しません。このメッセージは運用系 BCU でだけ表示されます。 [対応] なし。
01505003	S6	The operation cannot be executed on the standby BCU.
		待機系 BCU では操作を実行できません。このメッセージは待機系 BCU でだけ表示されます。 [対応] なし。
01505004	S6	You will be returned to the Main Menu because the information could not be obtained.
		情報が得られないため、メインメニューに戻ります。 [対応] なし。
01505010	S6	The activate operation cannot be executed on the standby BCU.
		ボードの activate は待機系 BCU では実行できません。 [対応] なし。
01505011	S6	The inactivate operation cannot be executed on the standby BCU.
		ボードの inactivate は待機系 BCU では実行できません。 [対応] なし。
01505012	S6	The activate operation cannot be executed. Try again.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		ボードの activate を実行できません。再実行してください。 [対応] なし。
01505013	S6	The inactivate operation cannot be executed. Try again.
		ボードの inactivate を実行できません。再実行してください。 [対応] なし。
01505014	S6	The specified board is already active. (board = <board>)
		指定したボードはすでに active 状態です。 • <board> ボード種別 standby BCU：待機系 BCU SFU<sfu no.>：SFU 番号 PRU<pru no.>：PRU 番号 NIF<nif no.>：NIF 番号 [対応] 指定ボードに間違いがなければ実行不要です。
01505015	S6	The specified board is already inactive. (board = <board>)
		指定したボードはすでに inactive 状態です。 • <board> ボード種別 standby BCU：待機系 BCU SFU<sfu no.>：SFU 番号 PRU<pru no.>：PRU 番号 NIF<nif no.>：NIF 番号 [対応] 指定ボードに間違いがなければ実行不要です。
01505016	S6	The specified board is already being initialized. (board = <board>)
		指定したボードはすでに初期化中です。 • <board> ボード種別 SFU<sfu no.>：SFU 番号 PRU<pru no.>：PRU 番号 NIF<nif no.>：NIF 番号 [対応] 指定ボードに間違いがなければ実行不要です。
01505017	S6	The specified board is disabled. (board = <board>)
		指定したボードはコンフィグレーションによって disable 状態です。 • <board> ボード種別 SFU<sfu no.>：SFU 番号

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
	内容と対応	
		PRU<pru no.> : PRU 番号 NIF<nif no.> : NIF 番号 [対応] なし。
01505018	S6	The specified board failed. (board = <board>) 指定したボードは障害中です。 • <board> ボード種別 SFU<sfu no.> : SFU 番号 PRU<pru no.> : PRU 番号 NIF<nif no.> : NIF 番号 [対応] なし。
01505019	S6	The specified board is not connected. (board = <board>) 指定したボードは未搭載, または未使用です。 • <board> ボード種別 standby BCU : 待機系 BCU SFU<sfu no.> : SFU 番号 PRU<pru no.> : PRU 番号 NIF<nif no.> : NIF 番号 [対応] なし。
0150501a	S6	There is not enough power supply for the specified board. (board = <board>) 指定したボードは電力不足です。 • <board> ボード種別 PRU<pru no.> : PRU 番号 NIF<nif no.> : NIF 番号 [対応] なし。
0150501b	S6	The specified board is not supported. (board = <board>) 指定したボードは未サポートです。 • <board> ボード種別 SFU<sfu no.> : SFU 番号 PRU<pru no.> : PRU 番号 NIF<nif no.> : NIF 番号 [対応] なし。
0150501c	S6	The PRU that controls the specified NIF is not active. (NIF = <nif no.>)

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		指定した NIF を制御する PRU が active 状態ではありません。 • <nif no.> NIF 番号 [対応] PRU を active 状態にしてください。
01505020	S6	The board will be stopped because of the shutdown operation. (board = <board>)
		shutdown が指示されたため、間もなく<board>は停止します。 • <board> ボード種別 Active BCU：運用系 BCU Both systems：運用系 BCU および待機系 BCU [対応] なし。
01505021	S6	The shutdown operation cannot be executed on the standby BCU.
		shutdown は待機系 BCU では実行できません。 [対応] なし。
01505022	S6	The shutdown operation cannot be executed. Try again.
		shutdown を実行できません。再実行してください。 [対応] なし。
01505023	S6	The shutdown operation cannot be executed because the standby BCU is inactivated or not connected.
		待機系 BCU が停止中または未搭載のため、shutdown を実行できません。 [対応] なし。
01505024	S6	The shutdown operation cannot be executed because the standby BCU is booting or fault.
		待機系 BCU が起動中または障害中のため、shutdown を実行できません。 [対応] なし。

3.7 SNMP

メッセージ種別 SNMP のシステムメッセージを次の表に示します。

表 3-7 メッセージ種別 SNMP のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
02000300	S5	An incorrect instance value was specified.
		MIB 設定のときに指定したインスタンス値は正しくありません。 [対応] インスタンス値を確認して設定してください。
02000301	S5	A specified MIB value is outside the valid range.
		MIB 設定のときに設定範囲外の MIB 値を指定しています。 [対応] MIB 値の範囲については、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1」 「14 SNMP」を参照してください。
02000302	S5	The data length of the MIB value is too long.
		MIB 設定のときに指定した MIB 値のデータ長が長過ぎます。 [対応] MIB 値として設定できる文字数は、「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1」 「14 SNMP」を参照してください。
02000303	S5	One or more invalid characters were used in a MIB setting.
		設定できない文字を使用して、MIB を設定しようとしています。 [対応] 「コンフィグレーションコマンドレファレンス Vol.1」 「1 このマニュアルの読み方」の文字コード一覧を確認して設定してください。
02000304	S3	A MIB value was not set because an error occurred during editing of the configuration.
		MIB 設定のときにコンフィグレーション編集時のエラーが発生したため、MIB を設定できませんでした。 [対応] コンフィグレーションのエラーについては、「コンフィグレーションコマンドレファレンス」の「コンフィグレーション編集時のエラーメッセージ」を参照して対応してください。
02000305	S6	A request set an object for a MIB value. (object = <object name>, MIB value = <mib value>, source SNMP manager = <ip address>)
		<object name>は、SNMP マネージャ<ip address>からの要求によって、<mib value>に設定されました。 • <object name> MIB オブジェクトのニーモニック • <mib value> MIB 値 • <ip address> SNMP マネージャの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] なし。
0200ff00	S5	The SNMP agent program received a packet with an unexpected community name. (source SNMP manager = <ip address>, community name = <community name>)
		SNMP エージェントは、SNMP マネージャ<ip address>から、期待していないコミュニティ名 <community name>のパケットを受信しました。 • <ip address> SNMP マネージャの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス • <community name> コミュニティ名 [対応] 本装置に対してコンフィグレーションで許可していない SNMP マネージャからアクセスがありました。このメッセージは、SNMP マネージャの IP アドレスおよびコミュニティ名がコンフィグレーションで許可している SNMP マネージャの IP アドレスおよびコミュニティ名と一致しないときに出力されます。 1. 本装置にアクセスする SNMP マネージャの IP アドレスとコミュニティ名が<ip address>と <community name>に一致しているか、コンフィグレーションを確認してください。 2. 一致していない場合、不正にアクセスされているおそれがあります。<ip address>の SNMP マネージャが本装置に対してアクセスしないように、SNMP マネージャの管理者に連絡してください。 本装置では不正な IP アドレスまたはコミュニティからのアクセスに対して、運用ログの連続出力を抑止しています。最大 16 個の不正アクセス IP アドレス情報を保持して、保持されている IP アドレスからの不正アクセスログは 128 回に 1 回出力されます。
0200ff01	S5	The specified MIB does not exist, or does not have the read/write attribute.
		指定した MIB は存在しない、または read/write 属性ではありません。 [対応] 「MIB レファレンス」を参照して、指定した MIB が read/write 属性であることを確認してください。

3.8 SCRIPT-MNG

メッセージ種別 SCRIPT-MNG のシステムメッセージを次の表に示します。

表 3-8 メッセージ種別 SCRIPT-MNG のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
3e020003	S6	The resident script started. (script id = <id>)
		常駐スクリプトが起動しました。 • <id> 該当する常駐スクリプト ID [対応] なし。
3e020004	S6	The resident script ended. (script id = <id>)
		常駐スクリプトが終了しました。 • <id> 該当する常駐スクリプト ID [対応] なし。
3e020005	S5	The resident script could not be started. (script id = <id>)
		常駐スクリプトを起動できませんでした。 • <id> 該当する常駐スクリプト ID [対応] 該当するスクリプトファイルがインストールされているか確認してください。
3e020006	S5	The starting of the resident script was suppressed. (script id = <id>)
		該当する常駐スクリプトがリスタートを繰り返したため、起動を抑止しました。 • <id> 該当する常駐スクリプト ID [対応] スクリプトファイルの記述内容に問題がないか確認してください。
3e020007	S5	The script files of the active BCU do not match those of the standby BCU.
		BCU 間でスクリプトファイルが一致していません。 [対応] synchronize コマンドでスクリプトファイルを同期してください。
3e020008	S5	The script file could not be synchronized. (file name = <file name>)
		スクリプトファイルの BCU 間同期ができませんでした。 • <file name> スクリプトファイル名 [対応] synchronize コマンドでスクリプトファイルを同期してください。
3e020009	S5	The applet action script could not be started. (applet name = <applet name>, sequence = <sequence>)

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
	内容と対応	
		アプレット機能のアクションスクリプトを起動できませんでした。 なお、このメッセージを出力したあとは、15 分経過するか、または該当するアクション定義を変更するまで本メッセージを出力しません。 • <applet name> 該当するアプレット名 • <sequence> 該当するアクションシーケンス番号 [対応] 該当するスクリプトファイルがインストールされているか確認してください。

3.9 SCRIPT

メッセージ種別 SCRIPT のシステムメッセージを次の表に示します。

表 3-9 メッセージ種別 SCRIPT のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
	内容と対応	
3e03****	S0～S7	<strings> Python アクションライブラリの sysmsg() で指定したメッセージテキストがシステムメッセージとして出力されます。また、メッセージ識別子の **** の部分は、sysmsg() で指定した数値が出力されます。 • <strings> sysmsg() で指定したメッセージテキスト [対応] 任意。

3.10 EVENT-MNG

メッセージ種別 EVENT-MNG のシステムメッセージを次の表に示します。

表 3-10 メッセージ種別 EVENT-MNG のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
3e010003	S5	One or more event reports were discarded by the detector. (discard point = <point name>)
		監視プログラムで、イベント発生通知が廃棄されました。なお、このメッセージを出力したあとは、15 分経過するまで同一廃棄ポイントのこのメッセージを出力しません。 • <point name> 廃棄ポイント名 system message queue, high priority queue for script, normal priority queue for script, low priority queue for script, last priority queue for script, high priority queue for applet, normal priority queue for applet, low priority queue for applet, last priority queue for applet [対応] 廃棄ポイントごとに、次のように対応してください。 • system message queue 必要に応じて、システムメッセージの監視条件を見直してください。監視対象外の情報を廃棄した場合も出力されます。 • high priority queue for script, normal priority queue for script, low priority queue for script, last priority queue for script, high priority queue for applet, normal priority queue for applet, low priority queue for applet, last priority queue for applet 必要に応じて、各監視イベントの通知優先度の設定を見直してください。
3e010004	S5	One or more event reports were discarded by the script functionality. (name = <name>, PID = <pid>)
		スクリプトで、イベント発生通知が廃棄されました。なお、このメッセージを出力したあとは、15 分経過するまで同一プロセス ID のこのメッセージを出力しません。 • <name> イベントを破棄したスクリプトのモジュール名またはファイル名※ • <pid> イベントを廃棄したスクリプトのプロセス ID [対応] 該当するスクリプトのイベント監視の受信処理を見直してください。

注※ スクリプトのモジュール名またはファイル名が 100 文字を超える場合、先頭から 100 文字までが表示されます。

4 ネットワークインタフェース

4.1 PORT

メッセージ種別 PORT のシステムメッセージを次の表に示します。

表 4-1 メッセージ種別 PORT のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
25010001	S6	The port status is Up.
		ポートが UP しました。 [対応] なし。
25010002	S5	Reception of frames at a port failed many times because of problems with the port.
		ノイズなどによるエラーのため、該当ポートでのフレーム受信失敗が多発しています。 [対応] 1. ケーブルに問題がないことを確認してください。 2. ケーブルが正常な場合、接続先の機器を確認してください。
25010003	S5	Sending of frames to a port failed many times because of problems with the port.
		ノイズなどによるエラーのため、該当ポートでのフレーム送信失敗が多発しています。 [対応] 1. ケーブルに問題がないことを確認してください。 2. ケーブルが正常な場合、接続先の機器を確認してください。
25010004	S6	The port was inactivated by configuration.
		コンフィグレーションコマンド shutdown によって、ポートを停止しました。 [対応] なし。
25010005	S6	The port was activated by configuration.
		コンフィグレーションコマンド no shutdown によって、ポートを起動しました。 [対応] なし。
25010006	S6	The port was inactivated by an operation command.
		inactivate コマンドによって、ポートを停止しました。 [対応] なし。
25010007	S6	The port was activated by an operation command.
		activate コマンドによって、ポートを起動しました。 [対応] なし。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
25010010	S6	The port was inactivated by track.
		トラッキング連携によってポートを停止しました。 [対応] なし。
25010011	S6	The port was activated by track.
		トラッキング連携によってポートを起動しました。 [対応] なし。
25010101	S5	An error was detected on the port.
		ポートで障害を検出しました。 [対応] 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T の場合 1. 指定のケーブルを正しく接続しているか確認してください。 2. 相手装置の起動が完了しているか確認してください。 1000BASE-X/10GBASE-R/40GBASE-R/100GBASE-R の場合 1. 指定のケーブルを正しく接続しているか確認してください。また、ケーブルの端面が汚れていないか確認してください。汚れている場合は、汚れをふき取ってください。 2. 光アッテネータ（光減衰器）を使用している場合、減衰値を確認してください。 3. 相手装置の起動が完了しているか確認してください。
25010102	S5	The transceiver is not inserted properly.
		トランシーバの抜去を検出しました。 [対応] トランシーバが抜去された、または正しく挿入されていないおそれがあります。トランシーバが正しく挿入されているか確認してください。
25010103	S5	Auto-negotiation failed.
		オートネゴシエーションが失敗しました。 [対応] 1. オートネゴシエーションの設定を確認してください。 2. ケーブルに問題がないことを確認してください。 3. ケーブルが正常な場合、接続先の機器を確認してください。
25010104	S5	The unsupported transceiver was detected.
		未サポートのトランシーバを検出しました。 [対応] 1. サポートしているトランシーバを挿入してください。 2. SFP+/SFP 共用ポートの場合、コンフィグレーションコマンド speed の設定を確認してください。
25010105	S5	The inserted transceiver was detected.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		トランシーバの挿入を検出しました。 [対応] なし。
25010106	S1	The transceiver stopped because of a failure in its hardware.
		トランシーバでトランシーバ障害を検出しました。トランシーバを停止します。 [対応] トランシーバを交換してください。
35050208	S5	All ports were stopped, because there are not enough active SFUs.
		運用中の SFU が不足して本装置を経由するパケット中継ができなくなったため、全ポートを停止しました。 [対応] show system コマンドで SFU の状態を確認してください。
35050209	S6	All ports were started, because there are enough active SFUs.
		運用中の SFU が増加して本装置を経由するパケット中継が可能になったため、全ポートを起動しました。 [対応] なし。
49310303	S3	The number of hierarchical shaper users exceeded the port capacity.
		階層化シェーパのシェーパユーザ数がポートの収容条件を超えています。収容条件を超えたシェーパユーザ番号のシェーパユーザは設定しません。 [対応] 該当ポートに設定した階層化シェーパのシェーパユーザリストのシェーパユーザ数を、収容条件以内にしてください。

4.2 ChGr

メッセージ種別 ChGr のシステムメッセージを次の表に示します。

表 4-2 メッセージ種別 ChGr のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20120002	S6	The status of channel group is Up.
		チャンネルグループを UP にしました。 [対応] なし。
20120003	S5	The channel group is Down because all ports were detached.
		チャンネルグループ内のすべてのポートが離脱したためチャンネルグループを DOWN にしました。 [対応] なし。
20120004	S5	The channel group is Down because the number of detached ports exceeded the configured number.
		チャンネルグループ内の離脱ポート数が設定された制限値を超えたため、チャンネルグループを DOWN にしました。 [対応] 相手装置との回線の接続状態を確認してください。
20120005	S6	A command disabled the channel group.
		チャンネルグループ内 shutdown コンフィグレーションによってチャンネルグループを運用停止にしました。 [対応] なし。
20120006	S6	A command enabled the channel group.
		チャンネルグループ内 no shutdown コンフィグレーションによってチャンネルグループの運用停止を解除しました。 [対応] なし。
20120007	S5	The port was detached from the channel group because different partner system ID were detected. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		LACP モードのリンクアグリゲーションで、相手装置の System ID がポート間で一致しなかったためチャンネルグループから離脱しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 相手装置と正しく接続していること、および相手装置の System ID が正しいことを確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20120008	S5	The port was detached from the channel group because the partner key do not match. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		LACP モードのリンクアグリゲーションで、相手装置の Key がポート間で一致しなかったためチャネルグループから離脱しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 相手装置と正しく接続していること、および相手装置の Key が正しいことを確認してください。
20120009	S6	The port was removed from the channel group. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		コンフィギュレーションのリンク削除によってチャネルグループから離脱しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] なし。
20120010	S5	The port was detached from the channel group because the port status is Down. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		回線が DOWN 状態になったためチャネルグループから離脱しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 物理的な断線など、回線の接続状態を確認してください。
20120011	S5	The port was detached from the channel group because other ports have faster data speeds. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		速度の異なる回線がチャネルグループ内に存在したため、速度の遅い回線をチャネルグループから離脱しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 本装置および相手装置で、物理的な断線など、回線の接続状態や回線速度を確認してください。
20120012	S5	The port was detached from the channel group because the port is half duplex. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		半二重で動作中の回線をチャネルグループから離脱しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 本装置および相手装置で、物理的な断線など、回線の接続状態を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20120013	S5	The port was detached from the channel group because connection was denied by the LACP partner. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		LACP モードのリンクアグリゲーションで、LACP によって相手装置から接続拒否されたためチャンネルグループから離脱しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 相手装置の状態を確認してください。
20120014	S5	The port was detached from the channel group because of an LACPDU timeout. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		LACP モードのリンクアグリゲーションで、相手装置からの LACPDU を受信しないでタイムアウトしたためチャンネルグループから離脱しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 相手装置の状態を確認してください。
20120015	S6	The port was detached from the channel group because of a configuration change. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		コンフィグレーションが変更されたためチャンネルグループから離脱しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] なし。
20120016	S5	The port was detached from the channel group because the port was moved. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		チャンネルグループ内でポートが移動したため、チャンネルグループから離脱しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] なし。
20120017	S5	The port was detached from the channel group because the partner aggregation bit is FALSE. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		LACP モードで相手装置のアグリゲーションビットが FALSE のため、チャンネルグループから離脱しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] なし。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20120018	S5	The port was detached from the channel group because the partner port number was changed. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		相手装置のポート番号が変更されたため、チャネルグループから離脱しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] なし。
20120019	S5	The port was detached from the channel group because the partner port priority was changed. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		相手装置のポート優先度が変更されたため、チャネルグループから離脱しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] なし。
20120020	S5	The port was detached from the channel group because of a detach port limit operation. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		離脱ポート数制限によってチャネルグループから離脱しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] なし。
20120021	S6	The port was added to the channel group. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		チャネルグループにポートを追加しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] なし。
20120022	S6	The port was attached to the channel group. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		チャネルグループにポートを集約しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] なし。
20120023	S6	The standby port became active. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		スタンバイリンクによる運転を開始しました。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] なし。
20120024	S6	The port detached from the channel group became the standby port. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		スタンバイリンクによる運転を停止しました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] なし。
20120025	S6	The port cannot attach because of non-revertive function. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		切り戻し抑止機能が動作したためポートを集約しませんでした。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 回線を集約する場合は clear channel-group non-revertive コマンドを実行してください。

5 レイヤ 2 スイッチング

5.1 VLAN

メッセージ種別 VLAN のシステムメッセージを次の表に示します。

表 5-1 メッセージ種別 VLAN のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
25100001	S6	The VLAN status is Up.
		VLAN の状態が UP 状態になりました。 [対応] なし。
25100002	S5	The VLAN status is Down.
		VLAN の状態が DOWN 状態になりました。 [対応] VLAN に属している各回線の状態を確認してください。
2510001b	S3	The total number of VLANs on ports exceeded the capacity.
		VLAN ポート数の合計が装置の収容条件を超えました。 [対応] 次に示す処置のどちらかを実施してください。 1. VLAN ポート数の合計が収容条件内のコンフィグレーションファイルを、copy コマンドでスタートアップコンフィグレーションファイルに反映し、装置を再起動してください。 2. VLAN ポート数の合計を収容条件内に変更し、装置を再起動してください。

5.2 STP

メッセージ種別 STP のシステムメッセージを次の表に示します。

表 5-2 メッセージ種別 STP のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20110002	S6	This bridge became the root bridge. (STP = <mode>)
		本装置がルートブリッジになりました。 • <mode> スパニングツリー種別 single: シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id> : PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID [対応] なし。
20110003	S6	This bridge became the designated bridge. (STP = <mode>)
		本装置が指定ブリッジになりました。 • <mode> スパニングツリー種別 single: シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id> : PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID [対応] なし。
20110006	S5	The following topology change was detected: A BPDU timeout was detected on the root port. (STP = <mode>, NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		ルートポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 • <mode> スパニングツリー種別 single: シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id> : PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID CIST: マルチプルスパニングツリー (CIST) MST Instance <mst instance id> : マルチプルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。
20110007	S5	A topology change was detected by reception of a topology change notification BPDU at the port. (STP = <mode>, NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		トポロジ変更の BPDU を受信しました。 • <mode> スパニングツリー種別 single: シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id> : PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		MST：マルチプルスパニングツリー • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。
20110008	S6	The port status became Forwarding. (STP = <mode>, NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		ポートがフォワーディング状態になりました。 • <mode> スパニングツリー種別 single：シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id>：PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST） MST Instance <mst instance id>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] なし。
20110009	S6	The port status became Blocking. (STP = <mode>, NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		ポートがブロッキング状態になりました。 • <mode> スパニングツリー種別 single：シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id>：PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST） MST Instance <mst instance id>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] なし。
20110010	S5	The port status became Down because a BPDU was received on a BPDU GUARD port. (STP = <mode>, NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		BPDU ガード機能を設定しているポートで BPDU を受信したため、ポートを DOWN させました。 • <mode> スパニングツリー種別 single：シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id>：PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID MST：マルチプルスパニングツリー • <nif no.> NIF 番号

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <port no.> ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。
20110011	S5	Spanning Tree Protocol is enabled because a BPDU was received on a PortFast port. (STP = <mode>, NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		PortFast 機能を設定しているポートで BPDU を受信したため、スパニングツリー対象ポートになりました。 • <mode> スパニングツリー種別 single: シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id>: PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID MST: マルチプルスパニングツリー • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。
20110012	S5	The following topology change was detected: A BPDU timeout was detected on the root port. (STP = <mode>, ChGr = <channel group number>)
		ルートポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 • <mode> スパニングツリー種別 single: シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id>: PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID CIST: マルチプルスパニングツリー (CIST) MST Instance <mst instance id>: マルチプルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID • <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。
20110013	S5	A topology change was detected by reception of a topology change notification BPDU at the port. (STP = <mode>, ChGr = <channel group number>)
		トポロジ変更の BPDU を受信しました。 • <mode> スパニングツリー種別 single: シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id>: PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID MST: マルチプルスパニングツリー • <channel group number> チャネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20110014	S5	Spanning Tree Protocol is enabled because a BPDU was received on a PortFast port. (STP = <mode>, ChGr = <channel group number>)
		PortFast 機能を設定しているポートで BPDU を受信したため、スパニングツリー対象ポートになりました。 <mode> スパニングツリー種別 single: シングルスパニングツリー PVST+: VLAN <vlan id>: PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID MST: マルチプルスパニングツリー <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。
20110015	S6	The port status became Forwarding. (STP = <mode>, ChGr = <channel group number>)
		ポートがフォワーディング状態になりました。 <mode> スパニングツリー種別 single: シングルスパニングツリー PVST+: VLAN <vlan id>: PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID CIST: マルチプルスパニングツリー (CIST) MST Instance <mst instance id>: マルチプルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。
20110016	S6	The port status became Blocking. (STP = <mode>, ChGr = <channel group number>)
		ポートがブロッキング状態になりました。 <mode> スパニングツリー種別 single: シングルスパニングツリー PVST+: VLAN <vlan id>: PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID CIST: マルチプルスパニングツリー (CIST) MST Instance <mst instance id>: マルチプルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。
20110017	S5	The port status became Down because a BPDU was received on a BPDU GUARD port. (STP = <mode>, ChGr = <channel group number>)
		BPDU ガード機能を設定しているポートで BPDU を受信したため、ポートを DOWN させました。 <mode> スパニングツリー種別

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		single：シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id>：PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID MST：マルチプルスパニングツリー • <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。
20110022	S6	Entries in the MAC address table were cleared.
		トポロジ変更の BPDU を受信したため、MAC アドレステーブルのエントリをクリアしました。 [対応] なし。
20110023	S5	The following topology change was detected: A BPDU timeout was detected on the alternate port. (STP = <mode>, NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 • <mode> スパニングツリー種別 single：シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id>：PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST） MST Instance <mst instance id>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。
20110024	S5	The following topology change was detected: A BPDU timeout was detected on the backup port. (STP = <mode>, NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 • <mode> スパニングツリー種別 single：シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id>：PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST） MST Instance <mst instance id>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 回線の状態を確認してください。
20110025	S5	The following topology change was detected: A BPDU timeout was detected on the alternate port. (STP = <mode>, ChGr = <channel group number>)
		代替ポートの BPDU タイムアウトを検出しました。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <mode> スパニングツリー種別 single: シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id>: PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID CIST: マルチプルスパニングツリー (CIST) MST Instance <mst instance id>: マルチプルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID • <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。
20110026	S5	The following topology change was detected: A BPDU timeout was detected on the backup port. (STP = <mode>, ChGr = <channel group number>)
		バックアップポートの BPDU タイムアウトを検出しました。 • <mode> スパニングツリー種別 single: シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id>: PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID CIST: マルチプルスパニングツリー (CIST) MST Instance <mst instance id>: マルチプルスパニングツリー (MSTI) および MST インスタンス ID • <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] 回線の状態を確認してください。
20110027	S6	This bridge became the CIST root bridge.(STP = MST)
		本装置が CIST ルートブリッジになりました。 [対応] なし。
20110028	S6	This bridge became the CIST regional root bridge. (STP = CIST)
		本装置が CIST 内部ルートブリッジになりました。 [対応] なし。
20110029	S6	This bridge became the MSTI regional root bridge. (STP = MST instance = <mst instance id>)
		本装置が MSTI 内部ルートブリッジになりました。 • <mst instance id> MST インスタンス ID [対応] なし。
20110031	S6	This bridge became the CIST regional designated bridge. (STP = CIST)
		本装置が CIST 内部指定ブリッジになりました。 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		なし。
20110032	S6	This bridge became the MSTI regional designated bridge. (STP = MST instance = <mst instance id>)
		本装置が MSTI 内部指定ブリッジになりました。 • <mst instance id> MST インスタンス ID [対応] なし。
20110039	S3	The number of spanning trees exceeds the maximum.
		スパニングツリーで収容できるツリー数を超過しました。今後はツリーの追加ができません。 [対応] ネットワーク構成を見直すか、シングルスパニングツリーまたはマルチプルスパニングツリーを使用してください。
20110040	S5	The port status became Blocking because a high priority BPDU was received on a ROOT GUARD port. (STP = <mode>, NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		ルートガード機能を設定しているポートで優先度の高い BPDU を受信したため、ブロッキング状態にします。 • <mode> スパニングツリー種別 single：シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id>：PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST） MST Instance <mst instance id>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] 対向装置の設定を確認してください。
20110041	S5	The port status became Blocking because a high priority BPDU was received on a ROOT GUARD port. (STP = <mode>, ChGr = <channel group number>)
		ルートガード機能を設定しているポートで優先度の高い BPDU を受信したため、ブロッキング状態にします。 • <mode> スパニングツリー種別 single：シングルスパニングツリー PVST+:VLAN <vlan id>：PVST+スパニングツリーおよび VLAN ID CIST：マルチプルスパニングツリー（CIST） MST Instance <mst instance id>：マルチプルスパニングツリー（MSTI）および MST インスタンス ID • <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応]

5 レイヤ2スイッチング

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		対向装置の設定を確認してください。

5.3 AXRP

メッセージ種別 AXRP のシステムメッセージを次の表に示します。

表 5-3 メッセージ種別 AXRP のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20170003	S6	Status monitoring has started.
		Ring Protocol の状態監視を開始しました。このメッセージは、Ring Protocol の初期化が完了した場合、および Ring Protocol のコンフィギュレーションの動作モードをマスタモードに設定した場合に出力されます。 [対応] なし。
20170004	S6	A failure recovery was detected by received health check frames.
		Ring Protocol の状態監視で障害復旧を検出しました。このメッセージは、マスタノードでヘルスチェックフレームを受信し、障害復旧を検出した場合に出力されます。 [対応] なし。
20170005	S6	A MAC address table was cleared because a flush request frame was received.
		フラッシュ制御フレームを受信し、MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは、出力先がリングポートであるデータ転送用リング VLAN グループに関する MAC アドレステーブルだけをクリアした場合に出力されます。 [対応] なし。
20170006	S5	A failure was detected by a health check timeout.
		Ring Protocol の状態監視で障害を検出しました。このメッセージは、マスタノードでヘルスチェックタイムアウトを検出した場合に出力されます。 [対応] 該当リング内のリンク、またはノードに障害が発生しているおそれがあります。リンクおよびノードの状態を確認してください。
20170007	S6	A MAC address table was cleared because of a timeout of the forwarding-shift-timer.
		forwarding-shift-time のタイムアウトによって、MAC アドレステーブルをクリアしました。このメッセージは、トランジットノードで forwarding-shift-time のタイムアウトを検出し、MAC アドレステーブルをクリアした場合に出力されます。 [対応] なし。
20170008	S5	A failure recovery was suspended, although health check frames were received.
		Ring Protocol の状態監視で障害復旧を検出しましたが、設定によって経路の切り戻しが抑止されました。このメッセージは、マスタノードで障害復旧を検出した場合に出力されます。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] コンフィグレーションコマンド preempt-delay で指定した経路切り戻し抑止時間のタイムアウトを待ってください。または、clear axrp preempt-delay コマンドを実行して、経路切り戻し抑止状態を解除してください。
20170009	S6	A failure recovery was resumed.
		Ring Protocol の経路の切り戻しの抑止解除によって、リング障害の復旧動作を実施しました。このメッセージは、マスタノードで経路切り戻し抑止中に経路切り戻し抑止状態が解除された場合に出力されます。 [対応] なし。
2017000a	S6	The status of the ring port changed to forwarding because of a timeout of the forwarding-shift-timer. (NIF/port = <nif no.>/<port no.>)
		forwarding-shift-time のタイムアウトによって、リングポートをフォワーディング状態に変更しました。このメッセージは、マスタノードで forwarding-shift-time のタイムアウトを検出し、リングポートをフォワーディング状態に変更した場合に出力されます。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] なし。
2017000b	S6	The status of the ring port changed to forwarding because of a timeout of the forwarding-shift-timer. (ChGr = <channel group number>)
		forwarding-shift-time のタイムアウトによって、リングポートをフォワーディング状態に変更しました。このメッセージは、マスタノードで forwarding-shift-time のタイムアウトを検出し、リングポートをフォワーディング状態に変更した場合に出力されます。 • <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] なし。

5.4 IGMPsnoop

メッセージ種別 IGMPsnoop のシステムメッセージを次の表に示します。

表 5-4 メッセージ種別 IGMPsnoop のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
21010001	S4	The IGMP querier on the VLAN was lost. (former querier address = <ipv4 address>)
		VLAN 上の IGMP クエリアが消失しました。IPv4 マルチキャストグループの受信者の有無を正しく確認できないため、IPv4 マルチキャストパケットが正しく中継されません。 • <ipv4 address> IPv4 アドレス [対応] 他装置が IGMP クエリアの場合は、次の対応をしてください。 1. IGMP クエリアとの接続を確認してください。 2. メッセージ識別子が 21010002 である IGMP クエリア変更メッセージが出力されているか確認してください。 3. IGMP クエリアとの接続が確認できない場合は、コンフィグレーションコマンド <code>ip igmp snooping querier</code> を設定して、本装置の IGMP クエリア機能を有効にしてください。 自装置が IGMP クエリアの場合は、該当する VLAN で、次の対応をしてください。 1. コンフィグレーションコマンド <code>ip igmp snooping querier</code> が設定されていることを確認してください。 2. IPv4 アドレスが設定されていることを確認してください。
21010002	S6	The IGMP querier on the VLAN was changed. (new IGMP querier address = <ipv4 address>)
		VLAN 上に新たな IGMP クエリアを確認したため、IGMP クエリアを変更しました。 • <ipv4 address> IPv4 アドレス [対応] なし。
21010003	S4	The IGMP querier on the VLAN stopped because the IPv4 address was not configured.
		VLAN 上の IGMP クエリアは、IPv4 アドレスが設定されていないため、停止しています。 [対応] 1. 該当 VLAN に IPv4 アドレスを設定してください。 2. <code>show igmp-snooping</code> コマンドを実行して、該当 VLAN に設定した IPv4 アドレスが表示されるか確認してください。
21010004	S3	The number of IGMP snooping entries exceeded the capacity limit.
		IGMP snooping で使用している学習エントリ数が装置の収容条件を超えています。 [対応] IGMP snooping で使用している学習エントリ数が、装置の収容条件に達していないか確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		収容条件に達している場合は、エントリ数を削減できるようにシステム構成を見直してください。
21010005	S6	The number of IGMP snooping entries fell below the capacity limit.
		IGMP snooping で使用している学習エントリ数が装置の収容条件を下回りました。 [対応] なし。

5.5 MLDsnoop

メッセージ種別 MLDsnoop のシステムメッセージを次の表に示します。

表 5-5 メッセージ種別 MLDsnoop のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
21020001	S4	The MLD querier on the VLAN was lost. (former MLD querier address = <ipv6 address>)
		VLAN 上の MLD クエリアが消失しました。IPv6 マルチキャストグループの受信者の有無を正しく確認できないため、IPv6 マルチキャストパケットが正しく中継されません。 • <ipv6 address> IPv6 アドレス [対応] 他装置が MLD クエリアの場合は、次の対応をしてください。 1. MLD クエリアとの接続を確認してください。 2. メッセージ識別子が 21020002 である MLD クエリア変更メッセージが出力されているか確認してください。 3. MLD クエリアとの接続が確認できない場合は、コンフィグレーションコマンド <code>ipv6 mld snooping querier</code> を設定して、本装置の MLD クエリア機能を有効にしてください。 自装置が MLD クエリアの場合は、該当する VLAN で、次の対応をしてください。 1. コンフィグレーションコマンド <code>ipv6 mld snooping querier</code> が設定されていることを確認してください。 2. IPv6 アドレスが設定されていることを確認してください。
21020002	S6	The MLD querier on the VLAN was changed. (new MLD querier address = <ipv6 address>)
		VLAN 上に新たな MLD クエリアを確認したため、MLD クエリアを変更しました。 • <ipv6 address> IPv6 アドレス [対応] なし。
21020003	S4	The MLD querier on the VLAN stopped because the IPv6 address was not configured.
		VLAN 上の MLD クエリアは、IPv6 アドレス（IPv6 リンクローカルアドレス）が設定されていないため、停止しています。 [対応] 1. 該当 VLAN に IPv6 アドレス（IPv6 リンクローカルアドレス）を設定してください。 2. <code>show mld-snooping</code> コマンドを実行して、該当 VLAN に設定した IPv6 アドレスが表示されるか確認してください。
21020004	S3	The number of MLD snooping entries exceeded the capacity limit.
		MLD snooping で使用している学習エントリ数が装置の収容条件を超えています。 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		MLD snooping で使用している学習エントリ数が、装置の収容条件に達していないか確認してください。 収容条件に達している場合は、エントリ数を削減できるようシステム構成を見直してください。
21020005	S6	The number of MLD snooping entries fell below the capacity limit.
		MLD snooping で使用している学習エントリ数が装置の収容条件を下回りました。 [対応] なし。

6

ネットワーク監視機能

6.1 ACLLOG

メッセージ種別 ACLLOG のシステムメッセージを次の表に示します。

表 6-1 メッセージ種別 ACLLOG のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
2d000003	S6	denied:<source mac>(<mac header>)[(<received interface>)] -> <destination mac>, <packets> アクセスリストロギングで、フィルタで廃棄したフローを検知しました。 • <source mac> 送信元 MAC アドレス • <mac header> MAC ヘッダ <ethernet type>: イーサネットタイプ (VLAN Tag なしの場合) <tag vlan id>, <ethernet type>: VLAN ID, イーサネットタイプ (VLAN Tag 1 段または 2 段の場合) <tag vlan id>: VLAN ID (VLAN Tag 3 段以上の場合) • <received interface> 受信インタフェース • <destination mac> 宛先 MAC アドレス • <packets> 該当パケット数 <packet> packet: 表示パケット数が 1 以下の場合 <packets> packets: 表示パケット数が 2 以上の場合 [対応] なし。
2d000004	S6	denied:[(<tag vlan id>)]<protocol no.> <source ip address>[[(<source port>)](<received interface>)] -> <destination ip address>[(<destination port>)], <packets> アクセスリストロギングで、フィルタで廃棄したフローを検知しました。 • <tag vlan id> VLAN ID • <protocol no.> 上位プロトコル番号 • <source ip address> 送信元 IPv4 アドレス • <source port> 送信元ポート番号 • <received interface> 受信インタフェース • <destination ip address> 宛先 IPv4 アドレス • <destination port> 宛先ポート番号 • <packets> 該当パケット数 <packet> packet: 表示パケット数が 1 以下の場合 <packets> packets: 表示パケット数が 2 以上の場合 [対応] なし。
2d000005	S6	denied:[(<tag vlan id>)]<next header> <source ip address>[[(<source port>)](<received interface>)] -> <destination ip address>[(<destination port>)], <packets>

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
	内容と対応	
		アクセスリストロギングで、フィルタで廃棄したフローを検知しました。 • <tag vlan id> VLAN ID • <next header> 次ヘッダ番号 • <source ip address> 送信元 IPv6 アドレス • <source port> 送信元ポート番号 • <received interface> 受信インタフェース • <destination ip address> 宛先 IPv6 アドレス • <destination port> 宛先ポート番号 • <packets> 該当パケット数 <packet> packet: 表示パケット数が 1 以下の場合 <packets> packets: 表示パケット数が 2 以上の場合 [対応] なし。

6.2 L2LD

メッセージ種別 L2LD のシステムメッセージを次の表に示します。

表 6-2 メッセージ種別 L2LD のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20800003	S5	The port was inactivated because a loop was detected. (SourcePort = <nif no.>/<port no.>)
		ループ障害を検出したため、ポートを inactive 状態にしました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。
20800004	S5	The port was inactivated because a loop was detected. (SourcePort = ChGr:<channel group number>)
		ループ障害を検出したため、ポートを inactive 状態にしました。 • <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。
20800005	S5	The channel group was inactivated because a loop was detected. (SourcePort = <nif no.>/<port no.>)
		ループ障害を検出したため、チャンネルグループを inactive 状態にしました。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。
20800006	S5	The channel group was inactivated because a loop was detected. (SourcePort = ChGr:<channel group number>)
		ループ障害を検出したため、チャンネルグループを inactive 状態にしました。 • <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。
20800007	S5	A loop was detected on the port. (SourcePort = <nif no.>/<port no.>)
		ループ障害を検出しました。 メッセージ識別子 20800007～20800010 のシステムメッセージを出力したあとの 1 分間は、ループ障害を検出した場合でも、同一ポートまたはチャンネルグループでこれらのシステムメッセージを出力しません。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] ネットワーク構成を確認してください。
20800008	S5	A loop was detected on the port. (SourcePort = ChGr:<channel group number>)
		ループ障害を検出しました。 メッセージ識別子 20800007～20800010 のシステムメッセージを出力したあとの 1 分間は、ループ障害を検出した場合でも、同一ポートまたはチャンネルグループでこれらのシステムメッセージを出力しません。 • <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。
20800009	S5	A loop was detected on the channel group. (SourcePort = <nif no.>/<port no.>)
		ループ障害を検出しました。 メッセージ識別子 20800007～20800010 のシステムメッセージを出力したあとの 1 分間は、ループ障害を検出した場合でも、同一ポートまたはチャンネルグループでこれらのシステムメッセージを出力しません。 • <nif no.> NIF 番号 • <port no.> ポート番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。
20800010	S5	A loop was detected on the channel group. (SourcePort = ChGr:<channel group number>)
		ループ障害を検出しました。 メッセージ識別子 20800007～20800010 のシステムメッセージを出力したあとの 1 分間は、ループ障害を検出した場合でも、同一ポートまたはチャンネルグループでこれらのシステムメッセージを出力しません。 • <channel group number> チャンネルグループ番号 [対応] ネットワーク構成を確認してください。
20800011	S6	The inactive port was automatically activated.
		L2 ループ検知の自動復旧で、ポートの inactive 状態を解除します。 [対応] なし。
20800012	S6	The inactive channel group was automatically activated.
		L2 ループ検知の自動復旧で、チャンネルグループの inactive 状態を解除します。 [対応] なし。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20800013	S3	The number of ports to send L2 loop detection frames exceeded the capacity.
		L2 ループ検知フレームを送信できるポート数が収容条件を超えました。 [対応] L2 ループ検知フレームを送信するポート数を減らしてください。

6.3 STMCTL

メッセージ種別 STMCTL のシステムメッセージを次の表に示します。

表 6-3 メッセージ種別 STMCTL のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
52000002	S6	The port was inactivated because a broadcast storm was detected.
		ブロードキャストストームの発生を検出したため、ポートを inactive 状態にしました。 [対応] ストームから回復したあと、activate コマンドでポートを active 状態にしてください。
52000003	S6	The port was inactivated because a multicast storm was detected.
		マルチキャストストームの発生を検出したため、ポートを inactive 状態にしました。 [対応] ストームから回復したあと、activate コマンドでポートを active 状態にしてください。
52000004	S6	The port was inactivated because a unicast storm was detected.
		ユニキャストストームの発生を検出したため、ポートを inactive 状態にしました。 [対応] ストームから回復したあと、activate コマンドでポートを active 状態にしてください。
52000005	S6	A broadcast storm was detected.
		ブロードキャストストームの発生を検出しました。 [対応] なし。
52000006	S6	A multicast storm was detected.
		マルチキャストストームの発生を検出しました。 [対応] なし。
52000007	S6	A unicast storm was detected.
		ユニキャストストームの発生を検出しました。 [対応] なし。
52000008	S6	The port recovered from a broadcast storm.
		ブロードキャストストームから回復しました。 [対応] なし。
52000009	S6	The port recovered from a multicast storm.
		マルチキャストストームから回復しました。 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		なし。
52000010	S6	The port recovered from a unicast storm.
		ユニキャストストームから回復しました。 [対応] なし。

6.4 TRACK

メッセージ種別 TRACK のシステムメッセージを次の表に示します。

表 6-4 メッセージ種別 TRACK のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
31010001	S5	The track state changed from Down to Up. (track name = <track name>, track ID = <track id>, type = <type>[, address = <destination address>])
		トラックの状態が DOWN から UP に変化しました。 • <track name> トラック名 • <track id> トラック ID • <type> 監視タイプ • <destination address> 監視先アドレス [対応] なし。
31010002	S5	The track state changed from Up to Down. (track name = <track name>, track ID = <track id>, type = <type>[, address = <destination address>])
		トラックの状態が UP から DOWN に変化しました。 • <track name> トラック名 • <track id> トラック ID • <type> 監視タイプ • <destination address> 監視先アドレス [対応] なし。
31020001	S4	The number of tracks exceeded the capacity limit.
		トラック数が収容条件を超えました。 [対応] トラック数が上限に達しているため、超過分を監視しません。 次に示す対応を実施してください。 1. トラッキング連携を行っているコンフィグレーションに不要な情報があれば削除してください。 2. ネットワークシステム構成を見直し、トラックのエントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。
31020002	S4	The number of tracks exceeded <percent>% of the capacity limit.
		トラック数が収容条件の<percent>%を超えました。 • <percent> パーセント 98 [対応] トラック数が収容条件を超えないように注意してください。
31020003	S6	The number of tracks fell below <percent>% of the capacity limit.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
	内容と対応	
		トラック数が収容条件の<percent>%を下回りました。 • <percent> パーセント 95 [対応] なし。

7 ネットワークの管理

7.1 EFMOAM

メッセージ種別 EFMOAM のシステムメッセージを次の表に示します。

表 7-1 メッセージ種別 EFMOAM のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20700002	S5	The port was inactivated by uni-directional link detection.
		片方向リンク障害を検出したため、ポートを inactive 状態にしました。 [対応] 1. 接続先で IEEE802.3ah OAM が有効であることを確認してください。 2. 装置またはケーブルが正常な場合、接続先の機器を確認してください。 その後、activate コマンドでポートを active 状態にしてください。
20700003	S5	The port was inactivated by loop detection.
		ループを検出したため、ポートを inactive 状態にしました。 [対応] ネットワーク構成を確認してください。

7.2 CFM

メッセージ種別 CFM のシステムメッセージを次の表に示します。

表 7-2 メッセージ種別 CFM のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20900003	S3	The number of Remote MEP entries exceeded the total Remote MEP capacity.
		リモート MEP の数が収容条件を超えています。 [対応] リモート MEP 数が収容条件を超えない運用をしてください。
20900004	S5	An OtherCCM failure was detected in MEP. (Domain Level = <level>, MA = <no.>, MEP = <mepid>)
		該当 MEP で障害 (OtherCCM) を検出しました。 • <level> ドメインレベル • <no.> MA 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] 対向装置を同一 MA として認識していません。 ドメインレベル, MA 識別番号, ドメイン名称, MA 名称が対向装置と一致しているか確認してください。
20900005	S5	An ErrorCCM failure was detected in MEP. (Domain Level = <level>, MA = <no.>, MEP = <mepid>)
		該当 MEP で障害 (ErrorCCM) を検出しました。 • <level> ドメインレベル • <no.> MA 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] 対向装置と構成が一致していません。 MEP ID が対向装置と異なっているか, 送信間隔 (interval) が対向装置と一致しているか確認してください。
20900006	S5	A Timeout failure was detected in MEP. (Domain Level = <level>, MA = <no.>, MEP = <mepid>)
		該当 MEP で障害 (Timeout) を検出しました。 • <level> ドメインレベル • <no.> MA 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] 対向装置からの CCM 受信がタイムアウトしました。 ネットワークの状態を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20900007	S5	A PortState failure was detected in MEP. (Domain Level = <level>, MA = <no.>, MEP = <mepid>)
		該当 MEP で障害 (PortState) を検出しました。 • <level> ドメインレベル • <no.> MA 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] 対向装置からの CCM 受信がタイムアウトしました。 ネットワークの状態を確認してください。
20900008	S5	An RDI failure was detected in MEP. (Domain Level = <level>, MA = <no.>, MEP = <mepid>)
		該当 MEP で障害 (RDI) を検出しました。 • <level> ドメインレベル • <no.> MA 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] 対向装置で障害を検出しています。 対向装置の状態を確認してください。
20900009	S5	A Mismatch failure was detected in MEP. (MEL = <level>, MEG = <no.>, MEP = <mepid>)
		該当 MEP で障害 (Mismatch) を検出しました。 • <level> MEG レベル • <no.> MEG 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] 対向装置を同一 MEG として認識していません。 MEG レベル, MEG 識別番号, MEG ID が対向装置と一致しているか確認してください。
20900010	S5	An UnexpectedMEGLevel failure was detected in MEP. (MEL = <level>, MEG = <no.>, MEP = <mepid>)
		該当 MEP で障害 (UnexpectedMEGLevel) を検出しました。 • <level> MEG レベル • <no.> MEG 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] 本装置で設定している MEG レベルよりも低いレベルの CCM を受信しました。 本装置または対向装置の設定を見直してください。
20900011	S5	An UnexpectedMEP failure was detected in MEP. (MEL = <level>, MEG = <no.>, MEP = <mepid>)

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20900012	S5	該当 MEP で障害 (UnexpectedMEP) を検出しました。 • <level> MEG レベル • <no.> MEG 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] 対向装置から受信した CCM と本装置に設定している MEP ID が重複しています。 本装置または対向装置の MEP ID を変更してください。
		該当 MEP で障害 (UnexpectedPeriod) を検出しました。 • <level> MEG レベル • <no.> MEG 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] 対向装置と本装置の CCM 送信周期が異なります。 CCM 送信周期を一致させてください。
20900013	S5	An UnexpectedPriority failure was detected in MEP. (MEL = <level>, MEG = <no.>, MEP = <mepid>)
		該当 MEP で障害 (UnexpectedPriority) を検出しました。 • <level> MEG レベル • <no.> MEG 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] 対向装置と本装置の CoS 値が異なります。 CoS 値を一致させてください。
20900014	S5	An LOC failure was detected in MEP. (MEL = <level>, MEG = <no.>, MEP = <mepid>)
		該当 MEP で障害 (LOC) を検出しました。 • <level> MEG レベル • <no.> MEG 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] 対向装置からの CCM 受信がタイムアウトしました。 ネットワークの状態を確認してください。
20900015	S5	An RDI failure was detected in MEP. (MEL = <level>, MEG = <no.>, MEP = <mepid>)
		該当 MEP で障害 (RDI) を検出しました。 • <level> MEG レベル

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <no.> MEG 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] 対向装置で障害を検出しています。 対向装置の状態を確認してください。
20900016	S5	An AIS failure was detected in MEP. (MEL = <level>, MEG = <no.>, MEP = <mepid>)
		該当 MEP で障害 (AIS) を検出しました。 • <level> MEG レベル • <no.> MEG 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] AIS 状態になりました。 ネットワークの状態を確認してください。
20900017	S5	An LCK failure was detected in MEP. (MEL = <level>, MEG = <no.>, MEP = <mepid>)
		該当 MEP で障害 (LCK) を検出しました。 • <level> MEG レベル • <no.> MEG 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] 対向装置から LCK を受信したため、LCK 状態になりました。 ネットワークの状態を確認してください。
20900018	S6	An AIS failure was cleared in MEP. (MEL = <level>, MEG = <no.>, MEP = <mepid>)
		該当 MEP で障害 (AIS) が解除されました。 • <level> MEG レベル • <no.> MEG 識別番号 • <mepid> MEP ID [対応] なし。
20900019	S6	An LCK failure was cleared in MEP. (MEL = <level>, MEG = <no.>, MEP = <mepid>)
		該当 MEP で障害 (LCK) が解除されました。 • <level> MEG レベル • <no.> MEG 識別番号 • <mepid> MEP ID

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
	内容と対応	
	[対応] なし。	

7.3 LLDP

メッセージ種別 LLDP のシステムメッセージを次の表に示します。

表 7-3 メッセージ種別 LLDP のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
20140003	S6	First LLDP neighbor has been detected on the port.
		該当するポートで最初の LLDP 隣接装置を検出しました。 [対応] なし。
20140004	S6	All the LLDP neighbors have been deleted on the port.
		該当するポートですべての LLDP 隣接装置が削除されました。 [対応] なし。

8

IP パケット中継

8.1 IP

メッセージ種別 IP のシステムメッセージを次の表に示します。

表 8-1 メッセージ種別 IP のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
00400100	S5	Duplication of IPv4 address with the node was detected. (IPv4 address = <ipv4 address>, node MAC address = <mac address>)
		IPv4 アドレス<ipv4 address>が、MAC アドレス<mac address>を持つ装置と競合しています。 • <ipv4 address> 本装置のインタフェースに設定した IPv4 アドレス • <mac address> IPv4 アドレスとの重複を検出した装置の MAC アドレス [対応] 1. 自 IPv4 アドレスまたは MAC アドレスを持つ装置の IPv4 アドレスを変更してください。Address Conflict Detection 使用時に他装置の IPv4 アドレスを変更した場合は本装置で clear ip duplicate-address コマンドを実行してください。 2. VRRP 使用時、CPU の負荷が高い状況では、このメッセージが頻発する場合があります。その場合には、該当 VRRP を構成している装置間で、コンフィグレーションコマンド vrrp timers advertise の値を大きくしてください。 3. Address Conflict Detection を利用している場合はネットワーク構成を見直して、clear ip duplicate-address コマンドを実行してください。
00400101	S3	The number of ARP entries exceeded the maximum, causing old entries to be deleted in order to add new entries.
		ARP エントリ数が本装置の収容条件を超えたため、古いエントリを削除して、新しいエントリを追加しました。 [対応] このメッセージが頻発する場合は、次の対応をしてください。 1. コンフィグレーションコマンド arp の設定に不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は、clear arp-cache コマンドを実行して、エントリを削除してください。 3. ネットワークシステム構成を見直して、ARP エントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。
00400102	S3	The number of ARP entries exceeded the maximum allowed for the global network, causing old entries to be deleted in order to add new entries.
		ARP エントリ数がグローバルネットワークの上限値を超えたため、古いエントリを削除して、新しいエントリを追加しました。 [対応] このメッセージが頻発する場合は、次の対応をしてください。 1. コンフィグレーションコマンド arp の設定に不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は、clear arp-cache コマンドを実行して、エントリを削除してください。 3. ネットワークシステム構成を見直して、ARP エントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
00400103	S3	The number of ARP entries exceeded the maximum allowed for each VRF, causing old entries to be deleted in order to add new entries.
		ARP エントリ数が VRF ごとの上限值を超えたため、古いエントリを削除して、新しいエントリを追加しました。 [対応] このメッセージが頻発する場合は、次の対応をしてください。 1. コンフィグレーションコマンド arp の設定に不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は、clear arp-cache コマンドを実行して、エントリを削除してください。 3. ARP エントリ数を削減できるネットワーク構成に変更してください。
00400104	S3	The number of ARP entries of the interface exceeded the maximum. (interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>でインタフェースごとの ARP 上限数を超えています。 • <interface name> インタフェース名 [対応] show ip arp interface コマンドでインタフェースの ARP エントリを表示して、ARP エントリが上限数を超えていないか確認してください。上限数を超えている場合は、次の対応をしてください。 1. コンフィグレーションコマンド arp の設定に不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は、clear arp-cache コマンドを実行して、エントリを削除してください。 3. ARP エントリ数を削減できるネットワーク構成に変更してください。
00600100	S5	Duplication of IPv6 address with the node was detected. (IPv6 address = <ipv6 address>, node MAC address = <mac address>)
		IPv6 アドレス<ipv6 address>が、MAC アドレス<mac address>を持つ装置と競合しています。 • <ipv6 address> アドレス重複検出によって使用できなくなった本装置のインタフェースの IPv6 アドレス • <mac address> アドレス重複検出によって検出されたアドレスが重複している装置の MAC アドレス [対応] 1. 本装置に設定した<ipv6 address>が誤っている場合は、本装置の<ipv6 address>を変更してください。 2. 他装置の<ipv6 address>が誤っている場合は、競合している他装置の<ipv6 address>を修正してください。そのあと、本装置の<IPv6 アドレス>を削除して再設定するか、または clear ipv6 duplicate-address コマンドを実行してください。 3. VRRP 使用時、CPU の負荷が高い状況では、このメッセージが頻発する場合があります。その場合には、該当 VRRP を構成している装置間で、コンフィグレーションコマンド vrrp timers advertise の値を大きくしてください。
00600101	S3	The number of NDP entries exceeded the maximum, causing old entries to be deleted in order to add new entries.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		NDP エントリ数が本装置の収容条件を超えたため、古いエントリを削除して、新しいエントリを追加しました。 [対応] このメッセージが頻発する場合は、次の対応をしてください。 1. コンフィグレーションコマンド <code>ipv6 neighbor</code> の設定に不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は、<code>clear ipv6 neighbors</code> コマンドを実行して、エントリを削除してください。 3. NDP エントリ数を削減できるネットワーク構成に変更してください。
00600102	S3	The number of NDP entries exceeded the maximum allowed for the global network, causing old entries to be deleted in order to add new entries.
		NDP エントリ数がグローバルネットワークの上限値を超えたため、古いエントリを削除して、新しいエントリを追加しました。 [対応] このメッセージが頻発する場合は、次の対応をしてください。 1. コンフィグレーションコマンド <code>ipv6 neighbor</code> の設定に不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は、<code>clear ipv6 neighbors</code> コマンドを実行して、エントリを削除してください。 3. ネットワークシステム構成を見直して、NDP エントリ数を削減できるシステム構成に変更してください。
00600103	S3	The number of NDP entries exceeded the maximum allowed for each VRF, causing old entries to be deleted in order to add new entries.
		NDP エントリ数が VRF ごとの上限值を超えたため、古いエントリを削除して、新しいエントリを追加しました。 [対応] このメッセージが頻発する場合は、次の対応をしてください。 1. コンフィグレーションコマンド <code>ipv6 neighbor</code> の設定に不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は、<code>clear ipv6 neighbors</code> コマンドを実行して、エントリを削除してください。 3. NDP エントリ数を削減できるネットワーク構成に変更してください。
00600104	S3	The number of the NDP entries of the interface exceeded the maximum. (interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>でインタフェースごとの NDP 上限数を超えています。 • <interface name> インタフェース名 [対応] <code>show ipv6 neighbors interface</code> コマンドでインタフェースの NDP エントリを表示して、NDP エントリが上限数を超えていないか確認してください。上限数を超えている場合は、次の対応をしてください。 1. コンフィグレーションコマンド <code>ipv6 neighbor</code> の設定に不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は、<code>clear ipv6 neighbors</code> コマンドを実行して、エントリを削除してください。 3. NDP エントリ数を削減できるネットワーク構成に変更してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
00600110	S4	The number of the NDP entries of the interface exceeded the threshold. (threshold = <higher count>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>でインタフェースごとの NDP エントリ数が閾値を超えました。 • <interface name> インタフェース名 • <higher count> インタフェースごとの NDP エントリ数警告閾値 [対応] 1. コンフィグレーションコマンド ipv6 neighbor の設定に不要な情報があれば削除してください。 2. 不要なエントリが動的に生成されていた場合は、clear ipv6 neighbors コマンドを実行して、エントリを削除してください。 3. NDP エントリ数を削減できるネットワーク構成に変更してください。
00600111	S6	The number of the NDP entries of the interface recovered from the threshold. (threshold = <lower count>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>でインタフェースごとの NDP エントリ数が閾値まで回復しました。 • <interface name> インタフェース名 • <lower count> インタフェースごとの NDP エントリ数回復閾値 コンフィグレーションを削除した直後は[undefined]と表示されます。 [対応] なし。
05100100	S5	A received message was ignored because the option length in the message was 0. (type = <type>)
		オプションの長さが 0 のため、受信したメッセージを無視しました。 • <type> 受信したオプションタイプ [対応] ルータ要請を送信する端末の設定を確認してください。
05100200	S5	A Router Solicitation message was ignored because the received interface was not found. (source = <address1>, destination = <address2>)
		ルータ要請を受信したインタフェースが見つからなかったため、ルータ要請を無視しました。 • <address1> ルータ要請送信元アドレス • <address2> ルータ要請宛先アドレス [対応] 頻繁に発生する場合は、該当するインタフェースの状態を確認してください。
05100201	S5	A Router Solicitation message from the unspecified address (::) was ignored because the message had a source link-layer address option. (interface = <interface name>)
		未指定アドレス (::) からのルータ要請にソースリンクレイヤアドレスオプションが設定されていたため、ルータ要請を無視しました。 • <interface name> ルータ要請受信インタフェース名

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] ルータ要請を送信する端末の設定を確認してください。
05100202	S5	A Router Solicitation message was ignored because it was received on a non-advertising interface. (interface = <interface name>)
		ルータ広告をしないインタフェースでルータ要請を受信したため、ルータ要請を無視しました。 • <interface name> ルータ要請受信インタフェース名 [対応] そのルータ要請に応答する必要がある場合は、該当するインタフェースでルータ広告を有効にしてください。
05100203	S5	A Router Solicitation message was ignored because of an invalid hoplimit. (received hoplimit = <hoplimit>, source = <address>, interface = <interface name>)
		受信したルータ要請メッセージの Hoplimit が正しい値 (255) ではないため、ルータ要請を無視しました。 • <hoplimit> 受信ルータ要請メッセージホップリミット値 • <address> ルータ要請送信元アドレス • <interface name> ルータ要請受信インタフェース名 [対応] ルータ要請を送信する端末の設定を確認してください。
05100204	S5	A Router Solicitation message was ignored because of an invalid code. (code = <code>, source = <address>, interface = <interface name>)
		受信したルータ要請メッセージのコードが正しい値 (0) ではないため、ルータ要請を無視しました。 • <code> 受信ルータ要請メッセージ ICMP6 コード値 • <address> ルータ要請送信元アドレス • <interface name> ルータ要請受信インタフェース名 [対応] ルータ要請を送信する端末の設定を確認してください。
05100205	S5	A Router Solicitation message was ignored because the packet length was too short. (source = <address>, interface = <interface name>, length = <length>)
		受信したルータ要請メッセージが短いため、ルータ要請を無視しました。 • <address> ルータ要請送信元アドレス • <interface name> ルータ要請受信インタフェース名 • <length> 受信ルータ要請パケット長 [対応] ルータ要請を送信する端末の設定を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05100400	S4	A Router Advertisement message could not be sent from an interface because there was no valid link-local address on the interface. (interface = <interface name>)
		有効なリンクローカルアドレスが存在しないため、該当するインタフェースからルータ広告を送信できません。 • <interface name> ルータ広告送信インタフェース名 [対応] 頻繁に発生する場合は、該当するインタフェースの状態を確認してください。
05100402	S3	A Router Advertisement message could not be sent from an interface. (interface = <interface name>, error = <error string>)
		該当するインタフェースからルータ広告を送信できません。 • <interface name> ルータ広告送信インタフェース名 • <error string> エラー要因 [対応] 頻繁に発生する場合は、該当するインタフェースの状態を確認してください。
05104101	S3	A Router Advertisement message could not be sent from an interface because the MTU option value exceeded the interface MTU. (interface = <interface name>, MTU option = <configured value>, MTU = <interface mtu>)
		MTU オプションの値が物理インタフェースの MTU 長を超えているため、該当するインタフェースからルータ広告を送信できません。 • <interface name> ルータ広告送信インタフェース名 • <configured value> RA の MTU オプション値 • <interface mtu> 該当インタフェースの物理 MTU 長 [対応] 本装置の設定を確認してください。

8.2 PBR

メッセージ種別 PBR のシステムメッセージを次の表に示します。

表 8-2 メッセージ種別 PBR のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
11210011	S6	There is a change in the nexthop of an IPv4 policy-based routing list. (policy-list = <policy list name>, new priority = <priority>)
		IPv4 ポリシーベースルーティングリスト<policy list name>は、優先度<priority>のネクストホップを選択しました。 • <policy list name> ポリシーベースルーティングリスト名 • <priority> ネクストホップの優先度 [対応] なし。
11210012	S6	There is a change in an IPv4 policy-based routing list based on the default rule. (policy-list = <policy list name>)
		IPv4 ポリシーベースルーティングリスト<policy list name>は、デフォルト動作を選択しました。 • <policy list name> ポリシーベースルーティングリスト名 [対応] なし。
11310011	S6	There is a change in the nexthop of an IPv6 policy-based routing list. (policy-list = <policy list name>, new priority = <priority>)
		IPv6 ポリシーベースルーティングリスト<policy list name>は、優先度<priority>のネクストホップを選択しました。 • <policy list name> ポリシーベースルーティングリスト名 • <priority> ネクストホップの優先度 [対応] なし。
11310012	S6	There is a change in an IPv6 policy-based routing list based on the default rule. (policy-list = <policy list name>)
		IPv6 ポリシーベースルーティングリスト<policy list name>は、デフォルト動作を選択しました。 • <policy list name> ポリシーベースルーティングリスト名 [対応] なし。

8.3 DHCP

メッセージ種別 DHCP のシステムメッセージを次の表に示します。

表 8-3 メッセージ種別 DHCP のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
1f01b024	S3	A DHCPv6 packet was discarded by a DHCPv6 relay agent because the number of binding(IA_PD) exceeded the maximum.
		アドレス割り当て数（IA_PD）が最大数を越えたため、DHCPv6 リレーエージェントで DHCPv6 パケットを廃棄しました。なお、このメッセージを出力したあとは、5 分経過するまで同じシステムメッセージを出力しません。 [対応] 1. show ipv6 dhcp relay binding コマンドで、想定以上のアドレス割り当て数（IA_PD）になっていないか確認してください。また、show ipv6 dhcp relay statistics コマンドで、廃棄された DHCPv6 パケット数を確認してください。 2. DHCPv6 リレーエージェントの設定（コンフィグレーションコマンド ipv6 dhcp relay destination）を確認してください。 3. ネットワーク構成を確認して、本装置の構成を再検討してください。

8.4 VRRP

メッセージ種別 VRRP のシステムメッセージを次の表に示します。

表 8-4 メッセージ種別 VRRP のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
0e008001	S6	The status of a virtual router changed from active to "<state>". (interface = <interface name>)
		仮想ルータの状態が遷移しました。 • <state> 仮想ルータの状態 • <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] なし。
0e008002	S5	A virtual router received a VRRP packet with an IP TTL not equal to 255. (interface = <interface name>)
		IP ヘッダの TTL (Time-to-Live) が 255 ではない VRRP ADVERTISEMENT パケットを受信しました。 • <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置を確認してください。
0e008003	S5	A virtual router received a VRRP packet shorter than the VRRP header. (interface = <interface name>)
		パケット長が不正な VRRP ADVERTISEMENT パケットを受信しました。 • <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置を確認してください。
0e008004	S5	A virtual router received a VRRP packet that did not pass the authentication check. (interface <interface name>)
		受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットの認証に失敗しました。 • <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置のパスワードの設定と、本装置のパスワードの設定を確認してください。
0e008005	S5	A virtual router received a VRRP packet whose address list differs from the one set for the virtual router. (interface <interface name>)
		受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットで指定された仮想ルータの IP アドレスと本装置の設定が一致しません。 • <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		同一の仮想ルータを構成している相手装置の仮想ルータの IP アドレスと、本装置の仮想ルータの IP アドレスの設定を確認してください。
0e008006	S5	A virtual router received a VRRP packet whose advertisement interval differs from the one set for the local virtual router. (interface <interface name>)
		受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットで指定された送信間隔と本装置の設定が一致しません。 • <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置の送信間隔と、本装置の送信間隔の設定を確認してください。
0e008007	S5	A received VRRP packet has an unsupported VRRP version number.
		受信した VRRP ADVERTISEMENT パケットで指定された VRRP のバージョンが本装置の VRRP バージョンと一致しません。 [対応] 本装置と仮想ルータを構成する場合は、相手装置の VRRP のバージョンと本装置の VRRP のバージョンを合わせてください。
0e008012	S6	A virtual router ended. (interface = <interface name>)
		仮想ルータを終了しました。 • <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] なし。
0e008015	S5	A virtual router received a VRRP packet with an IP hop limit not equal to 255. (interface = <interface name>)
		IP ヘッダの Hoplimit が 255 ではない VRRP ADVERTISEMENT パケットを受信しました。 • <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 同一の仮想ルータを構成している相手装置を確認してください。
0e008017	S6	The interface assigned a virtual router is down because of a track state change. (interface = <interface name>)
		トラック状態を変更するため、仮想ルータを設定しているインタフェースをダウンしました。 • <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 切り替えが頻繁に発生する場合は、コンフィグレーションを調整すると解決できることがあります。
0e008018	S6	The interface assigned a virtual router is up because of a track state change. (interface = <interface name>)
		トラック状態を変更するため、仮想ルータを設定しているインタフェースをアップしました。 • <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] なし。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
0e008022	S5	An unsupported value is set for the send interval of Advertisement packets. The default value will be used. (interface = <interface name>)
		ADVERTISEMENT パケットの送信間隔にサポートしていない値が設定されています。 Advertisement Interval は、default の値で動作します。 • <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] 1.VRRP 動作モード (ietf-ipv6-spec-07-mode, ietf-unified-spec-02-mode) が設定されている場合、40 秒以下の値に設定してください。 2.ADVVERTISEMENT 送信間隔にミリ秒を指定する場合は、VRRP 動作モード (ietf-ipv6-spec-07-mode, ietf-unified-spec-02-mode) を設定してください。
0e008023	S5	A virtual router was disabled because the primary virtual router is not running. (interface = <interface name>)
		プライマリ仮想ルータが設定されていないため、フォロー仮想ルータは無効です。 • <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] プライマリ仮想ルータを設定してください。
0e008024	S6	A virtual router was enabled because the primary virtual router started. (interface = <interface name>)
		プライマリ仮想ルータが設定されたため、フォロー仮想ルータは有効です。 • <interface name> VRRP を設定したインタフェース名 [対応] なし。

9

ユニキャストルーティング

9.1 STATIC

メッセージ種別 STATIC のシステムメッセージを次の表に示します。

表 9-1 メッセージ種別 STATIC のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05110101	S5	The static route gateway state changed to unreachable. (gateway = <ipv4 address>)
		スタティック経路のゲートウェイ状態が到達不可能に変化しました。 • <ipv4 address> ゲートウェイの IPv4 アドレス [対応] なし。
05110102	S5	The static route gateway state changed to reachable. (gateway = <ipv4 address>)
		スタティック経路のゲートウェイ状態が到達可能に変化しました。 • <ipv4 address> ゲートウェイの IPv4 アドレス [対応] なし。
05110201	S5	The static route gateway state changed to unreachable. (gateway = <ipv6 address>)
		スタティック経路のゲートウェイ状態が到達不可能に変化しました。 • <ipv6 address> ゲートウェイの IPv6 アドレス [対応] なし。
05110202	S5	The static route gateway state changed to reachable. (gateway = <ipv6 address>)
		スタティック経路のゲートウェイ状態が到達可能に変化しました。 • <ipv6 address> ゲートウェイの IPv6 アドレス [対応] なし。

9.2 RIP

メッセージ種別 RIP のシステムメッセージを次の表に示します。

表 9-2 メッセージ種別 RIP のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05020100	S5	A received RIP packet was ignored because a version field was 0. (message type = <rip command>, source = <source address>)
		バージョンフィールドが 0 のため、受信した RIP パケットを無視しました。 • <rip command> 受信メッセージタイプ Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry • <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を確認してください。
05020101	S5	A received RIP packet was ignored because a reserved field was not 0. (message type = <rip command>, source = <source address>)
		リザーブフィールドが 0 ではないため、受信した RIP パケットを無視しました。 • <rip command> 受信メッセージタイプ Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry • <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を確認してください。
05020201	S5	A received RIP packet was ignored because of an authentication error. (message type = <rip command>, source = <source address>[, key ID = <key id>])
		認証エラーのため、受信した RIP パケットを無視しました。このシステムメッセージは、次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1, 2 の契機で出力されます。 ただし、この回数は、次のメッセージを出力した回数の合計となります。 メッセージ種別: RIP メッセージ識別子: 05020201 メッセージ種別: RIP メッセージ識別子: 05020202 メッセージ種別: RIP メッセージ識別子: 05020203 メッセージ種別: RIP メッセージ識別子: 05020204 • <rip command> 受信メッセージタイプ Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry • <source address> 送信元ゲートウェイ • <key id> キー識別子

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] 1. 自装置と相手装置の RIP で認証キーが一致しているか確認してください。 2. 一致していない場合は、認証キーが一致するように設定してください。
05020202	S5	A received RIP packet was ignored because the authentication type was invalid. (message type = <rip command>, source = <source address>) 認証情報の認証タイプが不正なため、受信した RIP パケットを無視しました。このシステムメッセージは、次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1, 2 の契機で出力されます。 ただし、この回数は、次のメッセージを出力した回数の合計となります。 メッセージ種別：RIP メッセージ識別子：05020201 メッセージ種別：RIP メッセージ識別子：05020202 メッセージ種別：RIP メッセージ識別子：05020203 メッセージ種別：RIP メッセージ識別子：05020204 • <rip command> 受信メッセージタイプ Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry • <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を確認してください。
05020203	S5	A received RIP packet was ignored because the authentication key ID was invalid. (message type = <rip command>, source = <source address>, key ID = <key id>) 認証情報のキー識別子が不正なため、受信した RIP パケットを無視しました。このシステムメッセージは、次の契機で出力されます。 1. 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 2. 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3. 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1, 2 の契機で出力されます。 ただし、この回数は、次のメッセージを出力した回数の合計となります。 メッセージ種別：RIP メッセージ識別子：05020201 メッセージ種別：RIP メッセージ識別子：05020202 メッセージ種別：RIP メッセージ識別子：05020203 メッセージ種別：RIP メッセージ識別子：05020204 • <rip command> 受信メッセージタイプ Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry • <source address> 送信元ゲートウェイ • <key id> キー識別子 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		1. 自装置と相手装置の RIP で認証情報のキー識別子が一致しているか確認してください。 2. 一致していない場合は、認証情報のキー識別子が一致するように設定してください。
05020204	S5	A received RIP packet was ignored because an authentication sequence number was invalid. (message type = <rip command>, source = <source address>, key ID = <key id>) 認証情報の Sequence Number が不正なため、受信した RIP パケットを無視しました。このシステムメッセージは、次の契機で出力されます。 - 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 - 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 - 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1, 2 の契機で出力されます。 ただし、この回数は、次のメッセージを出力した回数の合計となります。 メッセージ種別: RIP メッセージ識別子: 05020201 メッセージ種別: RIP メッセージ識別子: 05020202 メッセージ種別: RIP メッセージ識別子: 05020203 メッセージ種別: RIP メッセージ識別子: 05020204 <rip command> 受信メッセージタイプ Invalid, Request, Response, TraceOn, TraceOff, Poll, PollEntry <source address> 送信元ゲートウェイ <key id> キー識別子 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を確認してください。
05020400	S5	A received route information was ignored because of an invalid metric value. (metric = <metric>, destination = <destination address>, source = <source address>) 不正なメトリック値 (0 または 17 以上のメトリック) を持つ経路情報を受信したため、該当の経路情報を無視しました。 <metric> 経路情報のメトリック値 <destination address> 経路情報の宛先アドレス <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIP) を確認してください。
05020401	S5	A received route information was ignored because of an invalid network mask. (mask = <mask>, source = <source address>, destination = <destination address>) 不正なネットワークマスクを持つ経路情報を受信したため、該当の経路情報を無視しました。 <mask> 経路情報のネットワークマスク <source address> 送信元ゲートウェイ <destination address> 経路情報の宛先アドレス

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム（RIP）を確認してください。
05020500	S3	The total number of RIP targets exceeded the permitted maximum.
		RIP ターゲット（隣接）の総数が最大許容数をオーバーしました。 [対応] 隣接ルータの最大数が収容条件を超えないように RIP の設定を見直してください。

9.3 RIPng

メッセージ種別 RIPng のシステムメッセージを次の表に示します。

表 9-3 メッセージ種別 RIPng のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05030100	S5	A received RIPng packet was ignored because its packet length was too short. (source = <source address>, packet length = <size>)
		RIPng ヘッダよりパケット長が短いため、受信した RIPng パケットを無視しました。 • <source address> 送信元ゲートウェイ • <size> パケット長 [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を確認してください。
05030101	S5	A received RIPng packet was ignored because of an invalid version field value. (message type = <ripng command>, source = <source address>)
		バージョンフィールドが不正のため、受信した RIPng パケットを無視しました。 • <ripng command> 受信メッセージタイプ Request, Response • <source address> 送信元ゲートウェイアドレス [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を確認してください。
05030102	S5	A received RIPng packet was ignored because of an invalid hoplimit. (hoplimit = <hoplimit>)
		ホップリミットが不正なため、受信した RIPng パケットを無視しました。 • <hoplimit> 受信ホップリミット [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を確認してください。
05030300	S5	A received RIPng packet was ignored because of the invalid length of a route information. (source = <source address>)
		不正な長さの経路情報が含まれているため、受信した RIPng パケットを無視しました。 • <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を確認してください。
05030400	S5	A received RIPng packet was ignored because the source address was not a link-local address. (message type = <ripng command>, source = <source address>)
		送信元アドレスがリンクローカルアドレスではないため、受信した RIPng パケットを無視しました。 • <ripng command> 受信メッセージタイプ • <source address> 送信元ゲートウェイ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を確認してください。
05030401	S5	A received RIPng packet was ignored because of the invalid source UDP port number. (message type = <ripng command>, source = <source address>)
		不正なソースポートのため、受信した RIPng パケットを無視しました。 • <ripng command> 受信メッセージタイプ • <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を確認してください。
05030402	S5	A route information was ignored because of its invalid length. (source = <source address>)
		受信した RIPng パケットの不正な長さの経路情報を無視しました。 • <source address> 送信元ゲートウェイ [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を確認してください。
05030403	S5	A received route information was ignored because of an invalid metric value. (metric = <metric>, prefix = <prefix>, source = <source address>)
		不正なメトリック値 (0 または 17 以上のメトリック) を持つ経路情報を受信したため、該当の経路情報を無視しました。 • <metric> 経路情報のメトリック値 • <prefix> 経路情報の宛先プレフィックス • <source address> 送信元ゲートウェイアドレス [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を確認してください。
05030404	S5	A received route information was ignored because of an invalid prefix length. (prefix length = <prefixlen>, destination = <prefix>, source = <source address>)
		不正なプレフィックス長を持つ経路情報を受信したため、該当の経路情報を無視しました。 • <prefixlen> 経路情報のプレフィックス長 • <prefix> 経路情報の宛先 • <source address> 送信元ゲートウェイアドレス [対応] 送信元ゲートウェイのユニキャストルーティングプログラム (RIPng) を確認してください。
05030500	S3	The total number of RIPng targets exceeded the permitted maximum.
		RIPng ターゲット (隣接) の総数が最大許容数をオーバーしました。 [対応] 隣接ルータの最大数が収容条件を超えないように RIPng の設定を見直してください。

9.4 OSPF

メッセージ種別 OSPF のシステムメッセージを次の表に示します。

表 9-4 メッセージ種別 OSPF のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05040000	S6	The adjacency has been established. (router ID = <router id>, address = <address>, interface = <interface name>)
		OSPF の隣接ルータとの接続に成功しました。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス • <interface name> インタフェース名 [対応] なし。
05040001	S6	The system finished advertising my own router-LSA as a stub router. (domain = <domain id>)
		スタブルータのルータ LSA 広告動作を終了しました。 • <domain id> OSPF のドメイン ID [対応] なし。
05040002	S6	A graceful restart succeeded. (domain = <domain id>)
		グレースフル・リスタートに成功しました。 • <domain id> OSPF のドメイン ID [対応] なし。
05040100	S4	Sending of an OSPF packet failed. (source = <source address>, destination = <destination address>, error = <error string>)
		OSPF パケットの送信に失敗しました。 • <source address> 送信元 IPv4 アドレス • <destination address> 宛先 IPv4 アドレス • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05040200	S5	A received OSPF packet was ignored because the packet was invalid. (source = <source address>, destination = <destination address>[, area ID = <area id>], log = <log type>)
		受信した OSPF パケットが不正なため、該当パケットを無視しました。 • <source address> 送信元 IPv4 アドレス

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <destination address> 宛先 IPv4 アドレス • <area id> エリア ID • <log type> ログ種別 - OSPF: invalid checksum - OSPF: unknown neighbor - OSPF: area mismatch - OSPF: invalid virtual link - OSPF: authentication type mismatch - OSPF: authentication failure - HELLO: netmask mismatch - HELLO: hello timer mismatch - HELLO: dead timer mismatch - HELLO: unknown neighbor on NBMA network - HELLO: extern option mismatch - DD: extern option mismatch - HELLO: router id confusion - DD: router id confusion [対応] ログ種別によって対応が異なります。 • OSPF: invalid checksum OSPF ヘッダのチェックサム値が不正です。隣接ルータを確認してください。 • OSPF: unknown neighbor Hello パケットで認識していない隣接ルータから、Hello パケット以外のパケットを受信していますが対応不要です。 • OSPF: area mismatch • OSPF: invalid virtual link 新規の隣接ルータからパケットを受信している場合、エリアの設定を見直してください。それ以外 は対応不要です。 • OSPF: authentication type mismatch • OSPF: authentication failure 認証の設定を見直してください。 • HELLO: netmask mismatch • HELLO: hello timer mismatch • HELLO: dead timer mismatch • HELLO: unknown neighbor on NBMA network OSPF インタフェースの設定を見直してください。 • HELLO: extern option mismatch • DD: extern option mismatch スタブエリアの設定を見直してください。 • HELLO: router id confusion • DD: router id confusion

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		ルータ ID の設定を見直してください。
05040201	S5	The system stopped forming the adjacency to a neighbor because a received DD packet had invalid LS Type. (router ID = <router id>, address (name) = <address> (<interface name>), invalid LS Type = <lsid> <advertised router id> <ls type>)
		受信した Database Description パケットに不正な LS Type が含まれているため、隣接ルータと隣接関係の確立を中断します。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス • <interface name> インタフェース名 • <lsid> LSA の LSID • <advertised router id> LSA の広告ルータ ID • <ls type> LSA の LS タイプコード [対応] 隣接ルータが広告している LSA を確認してください。
05040202	S5	The system stopped forming the adjacency to a neighbor stopped because a received LSA differed from a requested LSA. (router ID = <router id>, address (name) = <address> (<interface name>), LSA information= <lsid> <advertised router id> <ls type>)
		リクエストした LSA と異なる LSA を受信したため、隣接ルータと隣接関係の確立を中断します。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス • <interface name> インタフェース名 • <lsid> LSA の LSID • <advertised router id> LSA の広告ルータ ID • <ls type> LSA の LS タイプコード [対応] なし。
05040203	S5	The adjacency to a neighbor was lost because a received DD packet had an unexpected sequence or optional code. (router ID = <router id>, address (name) = <address> (<interface name>), sequence number 1, 2 = <sequence1>, <sequence2>)
		受信した Database Description パケットのシーケンス（またはオプション）の不一致によって隣接関係を切断しました。このメッセージは隣接ルータが再起動した場合、および本装置が送信した Database Description パケットを隣接ルータが適切に受信していない場合に出力されます。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス • <interface name> インタフェース名 • <sequence1> 制御データ上のシーケンス番号

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <sequence2> DD メッセージ内のシーケンス番号 [対応] なし。
05040204	S5	The adjacency to a neighbor was lost because a requested LSA was not exist in LSDB. (router ID = <router id>, address = <address>, interface = <interface name>, invalid LS request = <lsid> <advertised router id> <ls type>) データベースに存在しない LSA のリクエストによって隣接関係を切断しました。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス • <interface name> インタフェース名 • <lsid> LSA の LSID • <advertised router id> LSA の広告ルータ ID • <ls type> LSA の LS タイプコード [対応] 隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム (OSPF) を確認してください。
05040206	S5	The mismatch of the MTU value of a receiving DD packet was ignored. (source = <source address>(<interface name>)[, area ID = <area id>]) Database Description パケットで通知された MTU 値が、インタフェース MTU よりも大きい値となっています。この MTU 不一致を無視して、Database Description パケットを学習しました。 • <source address> 送信元 IPv4 アドレス • <interface name> インタフェース名 • <area id> エリア ID [対応] MTU 不一致のために隣接関係が確立しないおそれがあります。MTU を隣接ルータと統一してください。
05040300	S5	The adjacency to a neighbor was lost because the adjacency timed out. (router ID = <router id>, address (name) = <address> (<interface name>)) 隣接ルータから最後に Hello パケットを受信してから、一定時間が経過しても Hello パケットを受信しなかったため、隣接関係を切断しました。このメッセージは隣接ルータが動作を停止した場合、または本装置と隣接ルータ間の通信に不具合がある場合に出力されます。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス • <interface name> インタフェース名 [対応] 頻発する場合、Hello パケット送信間隔 (hello-interval) を短く、隣接関係を維持する時間 (dead-interval) を長くしてください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05040301	S5	The adjacency to a neighbor was lost because a neighbor did not receive a Hello packet recently. (router ID = <router id>, address = <address>, interface = <interface name>)
		隣接ルータが本装置を認識しなくなったため、隣接関係を切断しました。このメッセージは隣接ルータが再起動した場合、および本装置が送信した Hello パケットを隣接ルータが適切に受信していない場合に出力されます。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス • <interface name> インタフェース名 [対応] 頻発する場合、Hello パケット送信間隔 (hello-interval) を短く、隣接関係を維持する時間 (dead-interval) を長くしてください。
05040302	S5	The adjacency to a neighbor was lost because of a track state change. (router ID = <router id>, address (name) = <address> (<interface name>))
		トラック状態の変更のため、隣接関係を切断しました。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス • <interface name> インタフェース名 [対応] BFD セッションの状態を調査してください。
05040400	S5	A graceful restart failed because a neighbor was not running as a helper. (router ID = <router id>, address = <address>, domain = <domain id>)
		隣接ルータがヘルパーとして動作していないため、グレースフル・リスタートに失敗しました。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス • <domain id> OSPF のドメイン ID [対応] 隣接ルータのグレースフル・リスタートのコンフィグレーションを確認してください。
05040401	S5	A graceful restart failed because a neighbor stopped working as a helper. (router ID = <router id>, address = <address>, domain = <domain id>)
		隣接ルータがヘルパーの動作を停止したため、グレースフル・リスタートに失敗しました。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス • <domain id> OSPF のドメイン ID [対応] 頻発する場合は、隣接ルータの OSPF 状態、およびヘルパー動作の停止要因を確認してください。
05040402	S5	A graceful restart failed because the system failed in LSA synchronization between all the neighbors. (domain = <domain id>)

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		リスタート時間内に、再起動前に接続していた全隣接ルータとの再接続および LSA 同期ができなかったため、グレースフル・リスタートに失敗しました。 • <domain id> OSPF のドメイン ID [対応] リスタート時間のコンフィグレーションを確認してください。
05040500	S5	The system stopped acting as a helper because the network topology changed. (router ID = <router id>, address = <address>)
		トポロジ変更のため、ヘルパーの動作を停止しました。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス [対応] なし。
05040501	S5	The system stopped acting as a helper because the restart timed out. (router ID = <router id>, address = <address>)
		リスタート待ち時間が経過したため、ヘルパーの動作を停止しました。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータの IPv4 アドレス [対応] 1. 隣接ルータがリスタート動作を停止していないか確認してください。 2. 停止していない場合、隣接ルータのリスタート時間を見直してください。

9.5 OSPFv3

メッセージ種別 OSPFv3 のシステムメッセージを次の表に示します。

表 9-5 メッセージ種別 OSPFv3 のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05050000	S6	The adjacency has been established. (router ID = <router id>, interface = <interface name>)
		OSPFv3 の隣接ルータとの接続に成功しました。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <interface name> インタフェース名 [対応] なし。
05050001	S6	The system finished advertising my own router-LSA as a stub router. (domain = <domain id>)
		スタブルータのルータ LSA 広告動作を終了しました。 • <domain id> OSPFv3 のドメイン ID [対応] なし。
05050002	S6	A graceful restart succeeded. (domain = <domain id>)
		グレースフル・リスタートに成功しました。 • <domain id> OSPFv3 のドメイン ID [対応] なし。
05050100	S4	Sending of an OSPFv3 packet failed. (source = <source address> (<interface name>), destination = <destination address>, error = <error string>)
		OSPFv3 パケットの送信に失敗しました。 • <source address> 送信元 IPv6 アドレス • <interface name> インタフェース名 • <destination address> 宛先 IPv6 アドレス • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05050200	S5	A received OSPFv3 packet was ignored because the packet was invalid. ([area = <area id>,]router ID = <router id>[(<interface name>)], destination = <destination address>, log = <log type>)
		受信した OSPFv3 パケットが不正なため、該当パケットを無視しました。 • <area id> エリア ID

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <router id> 隣接ルータのルータ ID • <interface name> インタフェース名 • <destination address> 宛先 IPv6 アドレス • <log type> ログ種別 - invalid checksum - unknown neighbor - area mismatch - invalid virtual link - HELLO: hello timer mismatch - HELLO: dead timer mismatch - HELLO: extern option mismatch - DD: extern option mismatch - HELLO: router id confusion - DD: router id confusion [対応] ログ種別によって、対応が異なります。 • invalid checksum OSPFv3 ヘッダのチェックサム値が不正です。隣接ルータを確認してください。 • unknown neighbor Hello パケットで認識していない隣接ルータから、Hello パケット以外のパケットを受信していますが対応不要です。 • area mismatch • invalid virtual link 新規の隣接ルータからパケットを受信している場合、エリアの設定を見直してください。それ以外は対応不要です。 • HELLO: hello timer mismatch • HELLO: dead timer mismatch OSPFv3 インタフェースの設定を見直してください。 • HELLO: extern option mismatch • DD: extern option mismatch スタブエリアの設定を見直してください。 • HELLO: router id confusion • DD: router id confusion ルータ ID の設定を見直してください。
05050201	S5	The system stopped forming the adjacency to a neighbor because a received DD packet had invalid LS Type. (router ID = <router id>, address (name) = <address> (<interface name>), invalid LS Type = <lsid> <advertised router id> <ls type>
		受信した Database Description パケットに不正な LS Type が含まれているため、隣接ルータと隣接関係の確立を中断します。このメッセージは LS Type のスコープの値が不正である場合に出力されません。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータのアドレス • <interface name> インタフェース名 • <lsid> LSA の LSID • <advertised router id> LSA の広告ルータ ID • <ls type> LSA の LS タイプコード [対応] 隣接ルータが広告している LSA を確認してください。
05050202	S5	The system stopped forming the adjacency to a neighbor because a received LSA differed from a requested LSA. (router ID = <router id>, address (name) = <address> (<interface name>), LSA info.= <lsid> <advertised router id> <ls type>
		リクエストした LSA と異なる LSA を受信したため、隣接ルータと隣接関係の確立を中断します。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータのアドレス • <interface name> インタフェース名 • <lsid> LSA の LSID • <advertised router id> LSA の広告ルータ ID • <ls type> LSA の LS タイプコード [対応] なし。
05050203	S5	The adjacency to a neighbor was lost because a received DD packet had an unexpected sequence number or optional code. (router ID = <router id>, address (name) = <address> (<interface name>), sequence number 1, 2 = <sequence1>, <sequence2>)
		受信した Database Description パケットのシーケンスまたはオプションの不一致によって隣接関係を切断しました。このメッセージは隣接ルータが再起動した場合、および本装置が送信した Database Description パケットを隣接ルータが適切に受信していない場合に出力されます。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータのアドレス • <interface name> インタフェース名 • <sequence1> 制御データ上のシーケンス番号 • <sequence2> DD メッセージ内のシーケンス番号 [対応] なし。
05050204	S5	The adjacency to a neighbor was lost because a requested LSA was not exist in LSDB. (router ID = <router id>, address (name) = <address> (<interface name>), invalid LS request = <lsid> <advertised router id> <ls type>)
		データベースに存在しない LSA のリクエストによって隣接関係を切断しました。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータのアドレス • <interface name> インタフェース名 • <lsid> LSA の LSID • <advertised router id> LSA の広告ルータ ID • <ls type> LSA の LS タイプコード [対応] 隣接ルータのユニキャストルーティングプログラム (OSPFv3) を確認してください。
05050205	S5	The mismatch of the MTU value of a receiving DD packet was ignored. (router ID = <router id>(<interface name>)[, area ID = <area id>])
		Database Description パケットで通知された MTU 値が、インタフェース MTU よりも大きい値となっています。この MTU 不一致を無視して、Database Description パケットを学習しました。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <interface name> インタフェース名 • <area id> エリア ID [対応] MTU 不一致のために隣接関係が確立しないおそれがあります。MTU を隣接ルータと統一してください。
05050301	S5	The adjacency to a neighbor was lost because a neighbor did not receive a Hello packet recently. (router ID = <router id>, address (name) = <address> (<interface name>))
		隣接ルータが本装置を認識しなくなったため、隣接関係を切断しました。このメッセージは隣接ルータが再起動した場合、および本装置が送信した Hello パケットを隣接ルータが適切に受信していない場合に出力されます。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータのアドレス • <interface name> インタフェース名 [対応] 頻発する場合 Hello パケット送信間隔 (hello-interval) を短く、隣接関係を維持する時間 (dead-interval) を長くしてください。
05050302	S5	The adjacency to a neighbor was lost because of a track state change. (router ID = <router id>, address (name) = <address> (<interface name>))
		トラック状態の変更のため、隣接関係を切断しました。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID • <address> 隣接ルータのアドレス • <interface name> インタフェース名 [対応] BFD セッションの状態を調査してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05050401	S5	A graceful restart failed because a neighbor stopped working as a helper. (domain = <domain id>, router ID = <router id>)
		隣接ルータがヘルパーの動作を停止したため、グレースフル・リスタートに失敗しました。 • <domain id> OSPFv3 のドメイン ID • <router id> 隣接ルータのルータ ID [対応] 頻発する場合は、隣接ルータの OSPF 状態とヘルパー動作の停止要因を確認してください。
05050402	S5	A graceful restart failed because the system failed in LSA synchronization between all the neighbors. (domain = <domain id>)
		リスタート時間内に、再起動前に接続していた全隣接ルータとの再接続および LSA 同期ができなかったため、グレースフル・リスタートに失敗しました。 • <domain id> OSPFv3 のドメイン ID [対応] リスタート時間のコンフィグレーションを確認してください。
05050500	S5	The system stopped acting as a helper because the network topology changed. (router ID = <router id>)
		トポロジ変更のため、ヘルパー動作を停止しました。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID [対応] なし。
05050501	S5	The system stopped acting as a helper because the restart timed out. (router ID = <router id>)
		リスタート待ち時間が経過したため、ヘルパー動作を停止しました。 • <router id> 隣接ルータのルータ ID [対応] 1. 隣接ルータがリスタート動作を停止していないか確認してください。 2. 停止していない場合、隣接ルータのリスタート時間を見直してください。

9.6 BGP4

メッセージ種別 BGP4 のシステムメッセージを次の表に示します。

表 9-6 メッセージ種別 BGP4 のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05070000	S5	A peer connection has been established. (local = <local bgp name>, peer = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアのコネクションが確立しました。 • <local bgp name> 接続元ピア名称 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
05070001	S5	A peer connection closed because of a change in the interface state. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		インタフェース状態の変化によって、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] インタフェースの状態が変化した要因を確認してください。
05070003	S6	A peer connection closed because the peer configuration was deleted. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		コンフィグレーションの変更（ピア情報の削除または変更）によって、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
05070004	S6	A peer connection closed because of a configuration change. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		コンフィグレーションの変更によって、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
05070005	S6	A peer connection closed because of the execution of 'clear ip bgp' command. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		clear ip bgp コマンドの実行によって、該当ピアのコネクションを切断しました。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
05070006	S6	A peer connection has been reestablished in a graceful restart. (local = <local bgp name>, peer = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアのコネクションを再確立しました。 • <local bgp name> 接続元ピア名称 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
05070007	S6	An End-Of-RIB marker was received. (source = <bgp name>[(<description>)])
		End-Of-RIB を受信しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] なし。
05070008	S6	An End-Of-RIB marker was sent. (destination peer = <bgp name>[(<description>)])
		End-Of-RIB を送信しました。 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 [対応] なし。
05070009	S6	Learning of a route information from receiving routers has finished.
		レシーブルータからの経路学習が完了しました。 [対応] なし。
05070010	S5	The system has stopped route learning from at least one receive router and started route advertisement.
		一部のレシーブルータからの経路学習を中断して、経路広告を開始します。 [対応] なし。
05070011	S5	A peer connection closed because of a track state change. (peer = <bgp name>[(<description>)])

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		トラック状態の変更のため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] BFD セッションの状態を調査してください。
05070100	S4	A connection to a peer failed because the local address was unusable. (peer = <bgp name>[(<description>)], address = <ipv4 address>)
		該当ピアとのコネクション接続に使用するアドレスが利用できないため、コネクション接続が失敗しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 • <ipv4 address> ピアリングに使用するアドレス [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05070101	S3	The peer remains in idle state because the interface to be used to the peer connection was not found. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアと接続されたインタフェースが見つからないため、ピアの状態がアイドル状態のままです。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] 1. コンフィグレーションを確認してください。 2. コンフィグレーションが正しい場合は、該当ピアと接続するインタフェースの状態を確認してください。
05070102	S3	The peer remains in idle state because the local address to be used to the peer connection was not on the same network as the peer. (peer = <bgp name>[(<description>)], address = <ipv4 address>)
		該当ピアとのコネクション接続に使用するアドレスが同一ネットワーク上にないため、ピアの状態がアイドル状態のままです。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 • <ipv4 address> コネクション接続に使用するアドレス [対応] コンフィグレーションを確認してください。
05070103	S3	The peer remains in idle state because the interface for the local address to be used to the peer connection was not found. (peer = <bgp name>[(<description>)], local address = <ipv4 address>)
		該当ピアとのコネクション接続に使用する自装置アドレスに対するインタフェースが見つからないため、ピアの状態がアイドル状態のままです。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 • <ipv4 address> コネクション接続に使用するアドレス [対応] コンフィグレーションを確認してください。
05070200	S4	A connection request was ignored because an acceptance of a connection failed. (socket = <socket>, error = <error string>)
		コネクションの受付に失敗したため、該当コネクション要求を無視しました。 • <socket> ソケットのディスクリプタ番号 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05070201	S4	The connection will be closed because a fetching of the address to be used to connection failed.
		コネクション接続に使用するアドレス取り出しに失敗したため、コネクション接続をいったん終了します。 [対応] 頻発する場合は、ピアのユニキャストルーティングプログラム（BGP4）を確認してください。
05070202	S5	A connection request was ignored because no MD5 digest was attached to the received TCP segment. (source IPv4 + TCP port = <source ipv4> + <TCP port no.>, destination IPv4 + TCP port = <destination ipv4> + <TCP port no.>)
		受信した TCP セグメントに MD5 認証オプションが設定されていないため、該当コネクション要求を無視しました。このシステムメッセージは、次の契機で出力されます。 1.最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 2.最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3.最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1、2 の契機で出力されます。 ただし、この回数は、次のメッセージを出力した回数の合計となります。 メッセージ種別：BGP4 メッセージ識別子：05070202 メッセージ種別：BGP4 メッセージ識別子：05070203 • <source ipv4> 送信元 IPv4 アドレス • <TCP port no.> TCP ポート番号 • <destination ipv4> 宛先 IPv4 アドレス [対応] 1.相手装置の BGP4 で MD5 認証が設定されているか確認してください。 2.設定されていない場合は、MD5 認証の設定が一致するように設定してください。 3.設定が一致している場合は、送信元 BGP4 ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05070203	S5	A connection request was ignored because an invalid MD5 digest was attached. (source IPv4 + TCP port = <source ipv4> + <TCP port no.>, destination IPv4 + TCP port = <destination ipv4> + <TCP port no.>)
		受信した TCP セグメントの MD5 認証オプションが不正なため、該当コネクション要求を無視しました。このシステムメッセージは、次の契機で出力されます。 1.最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 2.最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 3.最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1, 2 の契機で出力されます。 ただし、この回数は、次のメッセージを出力した回数の合計となります。 メッセージ種別: BGP4 メッセージ識別子: 05070202 メッセージ種別: BGP4 メッセージ識別子: 05070203 • <source ipv4> 送信元 IPv4 アドレス • <TCP port no.> TCP ポート番号 • <destination ipv4> 宛先 IPv4 アドレス [対応] 1.自装置と相手装置の BGP4 で MD5 認証キーが一致しているか確認してください。 2.MD5 認証キーが一致していない場合は、MD5 認証キーが一致するように設定してください。 3.MD5 認証キーが一致している場合は、送信元 BGP4 ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか確認してください。
05070300	S4	A peer connection closed because a message could not be sent to the peer owing to the lack of space in socket buffer. (send request message length = <length> bytes, destination peer = <bgp name>[(<description>)], error = <error string>)
		ソケットバッファがいっぱいになったため、該当ピアへのメッセージの送信に失敗しました。該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 送信要求メッセージ長 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05070301	S4	A peer connection closed because a message could not be sent to the peer. (message length = <length> bytes, destination peer = <bgp name>[(<description>)], error = <error string>)
		該当ピアへのメッセージの送信に失敗したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 送信要求メッセージ長 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 • <error string> エラー要因

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05070302	S5	A message could not be sent to a peer because the connection closed. (send request = <length> bytes, destination peer = <bgp name>[(<description>)])
		コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージの送信に失敗しました。 • <length> 送信要求メッセージ長 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 [対応] 頻発する場合は、コネクションの切断原因を確認してください。
05070303	S4	A peer connection closed because the system had repeatedly failed in sending a message to the peer. (destination peer = <bgp name>[(<description>)], error = <error string>)
		該当ピアへのメッセージの再送信が失敗したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05070304	S4	A peer connection closed because the system failed in sending a message to the peer. (send request = <length1> bytes, sent data = <length2> bytes, destination peer = <bgp name>[(<description>)], error = <error string>)
		該当ピアへのメッセージの送信に失敗したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length1> 送信要求データ長 • <length2> 送信済データ長 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05070305	S5	A message was not sent to a peer because the peer connection closed. (send request = <length1> bytes, sent data = <length2> bytes, destination peer = <bgp name>[(<description>)])
		コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージの送信に失敗しました。 • <length1> 送信要求データ長 • <length2> 送信済データ長 • <bgp name> 送信先ピア名称

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <description> 送信先ピア description 名称 [対応] 頻発する場合は、コネクションの切断原因を確認してください。
05070306	S5	A peer connection closed because the system had repeatedly failed in sending a message to the peer. (destination peer = <bgp name>[(<description>)], sent data = <length1>, remaining = <length2>, error = <error string>) 該当ピアへのメッセージの再送信が失敗したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 • <length1> 送信済データ長 • <length2> 送信残データ長 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05070307	S4	A peer connection closed because the system had repeatedly failed in sending KEEPALIVE messages to the peer. (destination peer = <bgp name>[(<description>)], error = <error string>) 該当ピアへの KEEPALIVE メッセージの送信に失敗したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05070308	S5	A NOTIFICATION message was sent to a peer. (destination peer = <bgp name>[(<description>)], code = <code> (<code string>)[, sub code = <sub code> (<sub code string>)][, value = <value>][, data = <data>]) 該当ピアに NOTIFICATION メッセージを送信しました。 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 • <code> (<code string>) エラーコード • <sub code> (<sub code string>) エラーサブコード エラーコード 1 (Message Header Error) エラーサブコード 1 (lost connection synchronization) エラーサブコード 2 (bad length) エラーサブコード 3 (bad message type) エラーコード 2 (OPEN Message Error) エラーサブコード 0 (unspecified error)

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		エラーサブコード 1 (unsupported version) エラーサブコード 2 (bad AS number) エラーサブコード 3 (bad BGP ID) エラーサブコード 4 (unsupported optional parameter) エラーサブコード 6 (unacceptable holdtime) エラーコード 3 (UPDATE Message Error) エラーサブコード 1 (invalid attribute list) エラーサブコード 2 (unknown well known attribute) エラーサブコード 3 (missing well known attribute) エラーサブコード 4 (attribute flags error) エラーサブコード 5 (bad attribute length) エラーサブコード 6 (bad ORIGIN attribute) エラーサブコード 9 (error with optional attribute) エラーサブコード 10 (bad address/prefix field) エラーサブコード 11 (AS path attribute problem) エラーコード 4 (Hold Timer Expired Error) エラーコード 5 (Finite State Machine Error) エラーコード 6 (Cease) invalid : 不正な<code>の場合の<code string> unknown : 不正な<sub code>の場合の<sub code string> • <value> NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報 (10 進表示) • <data> NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報 (16 進表示) [対応] 1. ネットワーク構成およびピアのコンフィグレーションを確認してください。 2. ネットワーク構成およびピアのコンフィグレーションに問題がない場合は、ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070400	S5	A peer connection closed because a header marker in the received message was invalid. (peer = <bgp name> [(<description>)])
		受信したメッセージのヘッダマーカの値が不正なため、該当ピアの接続を切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070401	S5	A NOTIFICATION message from a peer was truncated. (peer = <bgp name>[(<description>)], length = <length>)
		該当ピアから受信した NOTIFICATION メッセージのメッセージ長が不正です。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <length> 受信メッセージ長 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070402	S5	A peer connection closed because there was an error in an UPDATE message from the peer. (error = <code> (<error string>), peer = <bgp name>[(<description>)], <length> bytes error data, first 5 bytes = <error data>)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージでエラーを検出したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <code>(<error string>) エラー要因 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <length> エラーデータ長 • <error data> エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070403	S4	A peer connection closed because the system failed in receiving a message from the peer. (source = <bgp name>[(<description>)], error = <error string>)
		該当ピアからのメッセージの受信に失敗したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05070404	S5	A peer connection closed because the system failed in receiving a message from the peer owing to an unexpected EOF. (source = <bgp name>[(<description>)])
		不適切な EOF の受信によって該当ピアからのメッセージの受信に失敗したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] 頻発する場合は、コネクションの切断原因を確認してください。
05070405	S5	A peer connection closed because of an invalid message length. (source = <bgp name>[(<description>)], message type = <message type>, length = <length>)
		該当ピアから不正なメッセージ長のメッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <message type> 受信メッセージタイプ invalid, OPEN, UPDATE, NOTIFICATION, KEEPALIVE • <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070406	S5	A peer connection closed because of a reception of an unexpected message type. (source = <bgp name>[(<description>)], received type = <message type1>, expected type = <message type2>[or <message type 2>]) 該当ピアから状態に適切ではないメッセージタイプのメッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <message type1> 受信メッセージタイプ invalid, OPEN, UPDATE, NOTIFICATION, KEEPALIVE • <message type2> 状態に適切なメッセージタイプ invalid, OPEN, UPDATE, NOTIFICATION, KEEPALIVE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070407	S5	A peer connection closed because an OPEN message from the peer was too short. (source = <bgp name>[(<description>)], BGP version in message = <version>, message length = <length> octets) 該当ピアからメッセージ長が不正な OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <version> 受信メッセージ内の BGP バージョン番号 • <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070408	S5	A peer connection closed because an OPEN message from a peer had an unsupported BGP version. (version = <version>, peer = <bgp name>[(<description>)]) 該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <version> 受信メッセージの BGP バージョン番号 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアが BGP4 をサポートしているか確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05070409	S5	A peer connection closed because the holdtime in an OPEN message from the peer was too small. (source = <bgp name>[(<description>)], holdtime = <holdtime>)
		該当ピアからホールドタイムが3秒より短い OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <holdtime> 受信メッセージ内のホールドタイム [対応] ピアのコンフィグレーションを確認してください。
05070410	S5	A peer connection closed because the BGP identifier in an OPEN message from the peer was invalid. (source = <bgp name>[(<description>)], invalid ID = <router id>)
		該当ピアから不正な BGP 識別子の OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <router id> 受信メッセージ内の BGP 識別子 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070411	S5	A peer connection closed because an OPEN message from the peer had an invalid option code. (source = <bgp name>[(<description>)], option code = <option>)
		該当ピアから不正なオプションコードを含む OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <option> 受信メッセージ内のオプションコード [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070412	S3	A peer connection closed because an OPEN message from the peer had an AS number different from the configured one. (source = <bgp name>[(<description>)], message AS. = <as1>, configured AS. = <as2>)
		該当ピアから構成された AS 番号と異なる AS 番号の OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as1> 受信メッセージの AS 番号 • <as2> コンフィグレーション上のピアの AS 番号

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] コンフィグレーションを確認してください。
05070413	S5	A peer connection closed because the BGP version in a KEEPALIVE message from the peer was not supported by the system. (source = <bgp name>[(<description>)], source version = <version1>, this system's version = <version2>)
		該当ピアから BGP バージョン番号が不一致の状態では KEEPALIVE メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <version1> 相手側の BGP バージョン番号 • <version2> 自側の BGP バージョン番号 [対応] ピアが BGP4 をサポートしているか確認してください。
05070414	S3	A peer connection closed because the peer sending an OPEN message was not configured in the system. (source = <bgp name>)
		設定されていないピアから OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 [対応] コンフィグレーションを確認してください。
05070415	S5	A peer connection closed because an OPEN message was sent from the peer in an unexpected state. (source = <bgp name>[(<description>)], state = <state>)
		Idle, OpenConfirm, Established 状態中に該当ピアから OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <state> ピア状態 Idle, OpenConfirm, Established [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は、不安定な要因を確認してください。
05070416	S5	A peer connection closed because of an unsupported BGP version in an OPEN message. (received version = <version>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <version> 受信メッセージの BGP バージョン番号 • <bgp name> 送信元ピア名称

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアがサポートしている BGP バージョンを確認してください。
05070417	S5	An OPEN message was ignored because of an unexpected extra data. (source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアからのメッセージに不要なデータが付加されているため、該当 OPEN メッセージを無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070418	S3	The configured Capabilities for the system did not match with the received Capabilities from a peer. Only a set of matched capabilities has been enabled for the peer. (source = <bgp name>[(<description>)])
		本装置に設定されている Capability とピアから受信した Capability が一致していません。一致した Capability だけ有効にしました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] コンフィグレーションを確認してください。
05070419	S5	A peer connection closed because the message length in a message from the peer was invalid. (source = <bgp name>[(<description>)], length in header = <length>)
		該当ピアからの受信メッセージでメッセージヘッダ内のメッセージ長が不正なため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <length> 受信メッセージのヘッダのメッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070420	S5	A peer connection closed because a message type in a message from the peer was invalid. (source = <bgp name>[(<description>)], type = <type>)
		該当ピアからの受信メッセージのメッセージタイプが不正なため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <type> メッセージタイプ [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05070421	S5	A peer connection closed because an OPEN message was received from the peer in the Established state. (source = <bgp name>[(<description>)])
		ESTABLISHED 状態で該当ピアから OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は、不安定な要因を確認してください。
05070422	S5	A peer connection closed because of a too short UPDATE message from the peer. (source = <bgp name>[(<description>)], message length = <length>)
		該当ピアからの UPDATE メッセージ長が短いため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070423	S5	A peer connection closed because an unreachable prefix length of an UPDATE message from the peer exceeded the message length. (prefix length = <length1>, message length = <length2>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長がメッセージ長を超えているため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length1> 受信メッセージ内の非到達経路情報のプレフィックス長 • <length2> 受信メッセージ長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070424	S5	An UPDATE message was ignored because a path attribute length of the UPDATE message from a peer was 0, but there was a data in the path attribute. (source = <bgp name>[(<description>)], data length = <length> bytes)
		該当ピアからの UPDATE メッセージの属性長が 0 であるが、実体のデータが存在します。該当 UPDATE メッセージを無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <length> 実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05070425	S5	A peer connection closed because a path attribute length of an UPDATE message from the peer exceeded the actual path attribute length. (received attribute lengths = <length1>, actual length = <length2>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアからの UPDATE メッセージのパス属性長が実体のパス属性長より長いため、該当ピアの接続を切断しました。 • <length1> 受信メッセージのパス属性長 • <length2> 実体のデータ長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070426	S5	A peer connection closed because there was no nexthop attribute in an UPDATE message from the peer. (source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアからの UPDATE メッセージにネクストホップ属性が見つからないため、該当ピアの接続を切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070427	S5	The LOCALPREF attribute in an UPDATE message was ignored because the UPDATE message was sent from an external peer. (source = <bgp name>[(<description>)])
		該当外部ピアからの UPDATE メッセージに LOCAL_PREF 属性を含んでいます。LOCAL_PREF 属性を無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070428	S5	A peer connection closed because there was no LOCALPREF attribute in a received UPDATE message from the internal peer. (source = <bgp name>[(<description>)])
		該当内部ピアからの UPDATE メッセージに LOCAL_PREF 属性が見つからないため、該当ピアの接続を切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア番号 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05070429	S5	The UPDATE message was ignored because a received UPDATE message from a peer had no reachable prefixes in a path attribute. (source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアからの UPDATE メッセージはパス属性を持っているが、対応する経路情報を持っていないため、該当 UPDATE メッセージを無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070430	S5	A peer connection closed because an UPDATE message from the peer had an invalid prefix length in the unreachable route information. (source = <bgp name>[(<description>)], prefix length = <length>)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が不正なため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <length> 受信メッセージ内のプレフィックス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070431	S5	A peer connection closed because a prefix length in an UPDATE message from the peer exceeded the remaining unreachable prefix data. (received prefix length = <length1>, actual length = <length2>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が非到達経路情報のプレフィックスデータを超過しているため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length1> 受信メッセージ内のプレフィックス長 • <length2> 実体のデータ長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070434	S5	A route information was ignored because an UPDATE message from a peer had an invalid unreachable route. (route = <ipv4 address>/<mask>, source = <bgp name>[(<description>)], location = <length1> of <length2>)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの不正な非到達経路情報の経路を無視しました。 • <ipv4 address> 非到達経路情報の宛先アドレス • <mask> 非到達経路情報のネットワークマスク • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <length1> of <length2> メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070435	S5	A peer connection closed because an UPDATE message from the peer in AS <as1> had an AS-path with the first-hop AS <as2>. (peer = <bgp name>[(<description>)]) AS 番号<as1>のピアからネクストホップの AS 番号が<as2>の AS パスを受信したため、該当ピアの接続を切断しました。 • <as1> 送信元ピアの AS 番号 • <as2> 受信メッセージ内のネクストホップ AS 番号 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070436	S5	A peer connection closed because of an invalid prefix length in an UPDATE message from the peer. (source = <bgp name>[(<description>)], prefix length = <length>) 該当ピアから受信した UPDATE メッセージのプレフィックス長が不正なため、該当ピアの接続を切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <length> 受信メッセージ内のプレフィックス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070437	S5	A peer connection closed because a prefix length in an UPDATE message from the peer exceeded the actual prefix length. (received prefix length = <length1>, actual length = <length2>, source = <bgp name>[(<description>)]) 該当ピアから受信した UPDATE メッセージのプレフィックス長が実体のプレフィックス長を超えているため、該当ピアの接続を切断しました。 • <length1> 受信メッセージ内のプレフィックス長 • <length2> 実体のプレフィックス長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070440	S5	An invalid route information was ignored in an UPDATE message from a peer. (source = <bgp name>[(<description>)], address = <ipv4 address>/<mask>, location = <length1> of <length2>)

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージは不正な経路を含んでいるため、該当経路を無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <ipv4 address> 宛先アドレス • <mask> ネットワークマスク • <length1> of <length2> 受信メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070441	S5	A network 0 route from a peer was ignored. (destination address = <ipv4 address>/<mask>, peer = <bgp name>[(<description>)], invalid info. in message = <length1> of <length2>)
		該当ピアからのネットワーク 0 宛ての経路を無視しました。 • <ipv4 address> 宛先アドレス • <mask> ネットワークマスク • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <length1> of <length2> 受信メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070442	S5	A loopback route from a peer was ignored. (source = <bgp name>[(<description>)], location = <length1> of <length2>)
		該当ピアからのループバック経路を無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <length1> of <length2> 受信メッセージ内の不正情報の位置 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070443	S5	A peer connection closed because of an invalid MP_UNREACH_NLRI attribute length in an UPDATE message. (attribute length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_UNREACH_NLRI 属性長が不正なため、該当ピアの接続を切断しました。 • <length> 受信した MP_UNREACH_NLRI 属性長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05070444	S5	The MP_UNREACH_NLRI attribute was ignored because of an invalid address family in the MP_UNREACH_NLRI attribute in an UPDATE message from the peer. (source = <bgp name>[(<description>)], address family = <address family>)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_UNREACH_NLRI 属性のアドレスファミリーが不正なため、該当 MP_UNREACH_NLRI 属性を無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <address family> 受信した MP_UNREACH_NLRI 属性のアドレスファミリー情報 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070445	S5	A peer connection closed because of an invalid MP_REACH_NLRI attribute length in an UPDATE message from the peer (no address family length). (attribute length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。アドレスファミリー長がありません。該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070446	S5	The MP_REACH_NLRI attribute was ignored because of an invalid address family in the MP_REACH_NLRI attribute in an UPDATE message from the peer. (source = <bgp name>[(<description>)], address family = <address family>)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性のアドレスファミリーが不正なため、該当 MP_REACH_NLRI 属性を無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <address family> 受信した MP_REACH_NLRI 属性のアドレスファミリー情報 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070447	S5	A peer connection closed because of an invalid MP_REACH_NLRI attribute length in an UPDATE message from the peer (no nexthop length field). (attribute length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップ属性長が設定されていません。該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070448	S5	A peer connection closed because of an invalid nexthop length in the MP_REACH_NLRI attribute in a UPDATE message from the peer. (nexthop length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップ長が不正なため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップ長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070449	S5	A peer connection closed because of an invalid MP_REACH_NLRI attribute in an UPDATE message from the peer (no nexthop). (attribute length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップが設定されていません。該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070450	S5	A peer connection closed because of an invalid nexthop route distinguisher (RD) in the MP_REACH_NLRI attribute of an UPDATE message from the peer. (source = <bgp name>[(<description>)], nexthop RD = <rd1>:<rd2>)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップの経路識別子(RD)が不正なため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <rd1>:<rd2> 受信した MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップの RD [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070451	S5	A peer connection closed because of an invalid MP_REACH_NLRI attribute length in an UPDATE message from the peer (no reserved field attribute length). (attribute length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。Reserved フィールド属性長が設定されていません。該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070452	S5	A peer connection closed because of an invalid MP_REACH_NLRI attribute length in an UPDATE message from the peer (no SNPA length). (attribute length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)]) 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA 属性長が設定されていません。該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070453	S5	A peer connection closed because of an invalid MP_REACH_NLRI attribute in an UPDATE message from the peer (no SNPA). (attribute length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)]) 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA が設定されていません。該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070454	S5	A peer connection closed because a NOTIFICATION message was received from a peer. (source = <bgp name>[(<description>)], code = <code> (<code string>)[, sub code = <sub code> (<sub code string>)][, value = <value>][, data = <data>)]) 該当ピアから NOTIFICATION メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <code> (<code string>) エラーコード • <sub code> (<sub code string>) エラーサブコード エラーコード 1 (Message Header Error) エラーサブコード 1 (lost connection synchronization) エラーサブコード 2 (bad length) エラーサブコード 3 (bad message type) エラーコード 2 (OPEN Message Error) エラーサブコード 0 (unspecified error) エラーサブコード 1 (unsupported version)

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		エラーサブコード 2 (bad AS number) エラーサブコード 3 (bad BGP ID) エラーサブコード 4 (unsupported optional parameter) エラーサブコード 6 (unacceptable holdtime) エラーサブコード 7 (unsupported capability) エラーコード 3 (UPDATE Message Error) エラーサブコード 1 (invalid attribute list) エラーサブコード 2 (unknown well known attribute) エラーサブコード 3 (missing well known attribute) エラーサブコード 4 (attribute flags error) エラーサブコード 5 (bad attribute length) エラーサブコード 6 (bad ORIGIN attribute) エラーサブコード 7 (AS loop detected) エラーサブコード 8 (invalid NEXT_HOP) エラーサブコード 9 (error with optional attribute) エラーサブコード 10 (bad address/prefix field) エラーサブコード 11 (AS path attribute problem) エラーコード 4 (Hold Timer Expired Error) エラーコード 5 (Finite State Machine Error) エラーコード 6 (Cease) invalid : 不正な<code>の場合の<code string> unknown : 不正な<sub code>の場合の<sub code string> • <value> NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報 (10 進表示) • <data> NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報 (16 進表示) [対応] ネットワーク構成およびコンフィグレーションを確認してください。
05070455	S5	All routes learned from a peer will be deleted because the peer in a graceful restart could not retain the forwarding routes. (peer =<bgp name>)
		グレースフル・リスタートを実行したピアがフォワーディング経路を保存できなかったため、該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 • <bgp name> 接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070456	S4	The number of prefixes received from a peer exceeded the threshold. (source = <bgp name>[(<description>)], routes from peer = <routes1>, max. routes from peer = <routes2>)
		該当ピアから学習した経路数 (アクティブ経路と非アクティブ経路の合計) が閾値を超えました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <routes1> ピアから学習した経路数 • <routes2> ピアから学習する経路数の上限値

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] 該当ピアから学習する経路がさらに増加する場合は、ピアが広告する経路数を確認してください。
05070457	S3	The number of prefixes received from a peer exceeded the limit. If a 'warning-only' command is not set, the peer connection will be closed. (source = <bgp name>[(<description>)], routes from peer = <routes1>, max. routes from peer = <routes2>)
		該当ピアから学習した経路数（アクティブ経路と非アクティブ経路の合計）が上限値を超えました。コンフィグレーションで warning-only 指定がない場合はピアを切断します。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <routes1> ピアから学習した経路数 • <routes2> ピアから学習する経路数の上限値 [対応] 該当ピアが広告する経路数を確認してください。
05070458	S5	A peer connection closed because the number of prefixes received from the peer had exceeded the limit. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		学習経路数が上限値を超えたため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] 1. 該当ピアが広告する経路数を確認してください。 2. ピアを再接続する場合は、ピアが広告する経路数が上限値以下になることを確認してから、clear ip bgp コマンドを実行してください。
05070459	S5	A peer acting as a receiving router could not retain the forwarding routes. A message sent to the peer might be discarded. (peer = <bgp name>)
		レシーブルータとして動作中のピアがフォワーディング経路を保存できません。該当ピアへ転送されたメッセージが廃棄されるおそれがあります。 • <bgp name> 接続先ピア名称 [対応] グレースフル・リスタートのネゴシエーションで、フォワーディング不可の状態を通知されました。ピアルータで障害が発生していないか確認してください。
05070460	S5	A received path attribute was ignored because an UPDATE message from a peer had a path attribute with type code 0. (source = <bgp name>[(<description>)], AS path = <as number>: <aspath>)
		該当ピアからタイプコードが0のパス属性を含む UPDATE メッセージを受信したため、該当パス属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <as number> AS 番号の数 • <aspath> AS パス AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070461	S5	A received AS4_PATH attribute was ignored because it was received from a peer that supports 4-byte AS numbers. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_PATH = <as number>: <aspath>) 4 バイト AS 番号をサポートしているピアから AS4_PATH 属性を受信したため、AS4_PATH 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as number> AS 番号の数 • <aspath> AS パス AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070462	S5	A received AS4_PATH attribute was ignored because the number of AS numbers in the AS_PATH attribute was less than the number of AS numbers in the AS4_PATH attribute. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_PATH = <as number>: <aspath>) AS_PATH 属性の AS 番号の数が AS4_PATH 属性の AS 番号の数より小さいため、AS4_PATH 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as number> AS 番号の数 • <aspath> AS パス AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070463	S5	A received AS_CONFED_SEQUENCE segment was ignored because it was contained in an AS4_PATH attribute. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_PATH = <as number>: <aspath>)

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		AS4_PATH 属性に AS_CONFED_SEQUENCE セグメントが含まれているため、AS_CONFED_SEQUENCE セグメントを無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as number> AS 番号の数 • <aspath> AS パス AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070464	S5	A received AS4_AGGREGATOR attribute was ignored because it was received from a peer that supports 4-byte AS numbers. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_AGGREGATOR = <as> <ipv4 address>)
		4 バイト AS 番号をサポートしているピアから AS4_AGGREGATOR 属性を受信したため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as> AS 番号 • <ipv4 address> IPv4 アドレス [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070465	S5	A received AS4_PATH attribute was ignored because the AGGREGATOR and AS4_AGGREGATOR attributes were received and the AS number in the AGGREGATOR attribute was not AS_TRANS. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_PATH = <as number>: <aspath>)
		AGGREGATOR 属性と AS4_AGGREGATOR 属性を受信し、AGGREGATOR 属性の AS 番号が AS_TRANS 以外のため、AS4_PATH 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as> AS 番号 • <as number> AS 番号の数 • <aspath> AS パス AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05070466	S5	A received AS4_AGGREGATOR attribute was ignored because the AGGREGATOR and AS4_AGGREGATOR attributes were received and the AS number in the AGGREGATOR attribute was not AS_TRANS. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_AGGREGATOR = <as> <ipv4 address>)
		AGGREGATOR 属性と AS4_AGGREGATOR 属性を受信し、AGGREGATOR 属性の AS 番号が AS_TRANS 以外のため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as> AS 番号 • <ipv4 address> IPv4 アドレス [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070467	S5	A received AS4_AGGREGATOR attribute was ignored because there was no AGGREGATOR attribute. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_AGGREGATOR = <as> <ipv4 address>)
		AGGREGATOR 属性がないため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as> AS 番号 • <ipv4 address> IPv4 アドレス [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070468	S5	Part of a received AS_PATH attribute was ignored because there is a conflict between the AS_PATH and AS4_PATH attributes. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS_PATH = <as number>: <aspath>)
		AS_PATH 属性と AS4_PATH 属性が不一致のため、AS_PATH 属性の一部を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as number> AS 番号の数 • <aspath> AS パス AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05070469	S5	A received AS4_PATH attribute was ignored because the attribute length of AS4_PATH attribute from the peer was invalid. (peer = <bgp name>[(<description>)], first 5 bytes = <error data>)
		AS4_PATH 属性の属性長が不正のため、AS4_PATH 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <error data> エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) または該当 AS4_PATH 属性を生成したユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070470	S5	A received AS4_AGGREGATOR attribute was ignored because the attribute length of AS4_AGGREGATOR attribute from the peer was invalid. (peer = <bgp name>[(<description>)], first 5 bytes = <error data>)
		AS4_AGGREGATOR 属性の属性長が不正のため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <error data> エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) または該当 AS4_AGGREGATOR 属性を生成したユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070471	S5	A received AS4_PATH attribute was ignored because the segment type in AS4_PATH attribute from the peer was invalid. (peer = <bgp name>[(<description>)], first 5 bytes = <error data>)
		AS4_PATH 属性のセグメント種別が不正のため、AS4_PATH 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <error data> エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) または該当 AS4_PATH 属性を生成したユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070472	S5	A received AS4_PATH attribute was ignored because the attribute flags in AS4_PATH attribute from the peer was invalid. (peer = <bgp name>[(<description>)], first 5 bytes = <error data>)
		AS4_PATH 属性の属性フラグが不正のため、AS4_PATH 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <error data> エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) または該当 AS4_PATH 属性を生成したユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070473	S5	A received AS4_AGGREGATOR attribute was ignored because the attribute flags in AS4_AGGREGATOR attribute from the peer was invalid. (peer = <bgp name>[(<description>)], first 5 bytes = <error data>)
		AS4_AGGREGATOR 属性の属性フラグが不正のため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <error data> エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) または該当 AS4_AGGREGATOR 属性を生成したユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070474	S5	A received AS4_PATH attribute was ignored because there was duplicated AS4_PATH attribute in an UPDATE message from the peer. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_PATH = <as number>: <aspath>)
		AS4_PATH 属性が重複しているため、AS4_PATH 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as number> AS 番号の数 • <aspath> AS パス AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) または該当 AS4_PATH 属性を生成したユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070475	S5	A received AS4_AGGREGATOR attribute was ignored because there was duplicated AS4_AGGREGATOR attribute in an UPDATE message from the peer. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_AGGREGATOR = <as> <ipv4 address>)
		AS4_AGGREGATOR 属性が重複しているため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as> AS 番号 • <ipv4 address> IPv4 アドレス

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) または該当 AS4_AGGREGATOR 属性を生成したユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070500	S5	A peer connection closed because the holdtime for the peer timed out. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアに対するホールドタイムアウトが発生したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070501	S5	A peer connection closed because no OPEN message received from the peer before the expiry of its holdtime. (peer = <bgp name>)
		該当ピアとの OPEN メッセージ待ちタイマがタイムアウトしたため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4) を確認してください。
05070502	S5	A graceful restart failed because a peer connection did not reestablish within 'restart-time'. All routes learned from the peer will be deleted. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから指定された restart-time 以内にピアルータに接続できません。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] 1. ピアルータと通信できるか確認してください。 2. ピアルータで BGP4 が動作しているか確認してください。 3. ピアルータが動作している場合は、ピアルータの restart-time の値を、ピアルータが復旧して接続できる時間まで延ばしてください。
05070503	S5	A graceful restart failed because no End-Of-RIB marker received from a restarting router. All routes learned from the peer will be deleted. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから End-Of-RIB を受信できません。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] 1. 該当するピアルータで BGP4 が動作しているか確認してください。 2. 動作している場合は、stalepath-time の値を延ばしてください。

9.7 BGP4+

メッセージ種別 BGP4+のシステムメッセージを次の表に示します。

表 9-7 メッセージ種別 BGP4+のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05080000	S5	A peer connection has been established. (local = <local bgp name>, peer = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアのコネクションが確立しました。 • <local bgp name> 接続元ピア名称 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
05080001	S5	A peer connection closed because of a change in the interface state. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		インタフェース状態の変化によって、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] インタフェースの状態が変化した要因を確認してください。
05080003	S6	A peer connection closed because the peer configuration was deleted. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		コンフィグレーションの変更（ピア情報の削除）によって、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
05080004	S6	A peer connection closed because of a configuration change. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		コンフィグレーションの変更によって、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
05080005	S6	A peer connection closed because of the execution of 'clear ipv6 bgp' command. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		clear ipv6 bgp コマンドの実行によって、該当ピアのコネクションを切断しました。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
05080006	S6	A peer connection has been reestablished in a graceful restart. (local = <local bgp name>, peer = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアのコネクションを再確立しました。 • <local bgp name> 接続元ピア名称 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] なし。
05080007	S6	An End-Of-RIB marker was received. (source = <bgp name>[(<description>)])
		End-Of-RIB を受信しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] なし。
05080008	S6	An End-Of-RIB marker was sent. (destination peer = <bgp name>[(<description>)])
		End-Of-RIB を送信しました。 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 [対応] なし。
05080009	S5	A peer connection closed because the number of prefixes received from the peer had exceeded the limit. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		学習経路数が上限値を超えたため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] 1. 該当ピアが広告する経路数を確認してください。 2. ピアを再接続する場合は、ピアが広告する経路数が上限値以下になることを確認してから、clear ipv6 bgp コマンドを実行してください。
05080010	S6	Learning of a route information from receiving routers has finished.
		レシーブルータからの経路学習が完了しました。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] なし。
05080011	S5	The system has stopped route learning from at least one receive router and started route advertisement.
		一部のレシーブルーータからの経路学習を中断して、経路広告を開始します。 [対応] なし。
05080012	S5	A peer connection closed because of a track state change. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		トラック状態の変更のため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] BFD セッションの状態を調査してください。
05080100	S4	A connection to a peer failed because the local address was unusable. (peer = <bgp name>[(<description>)], address = <ipv6 address>)
		該当ピアとのコネクション接続に使用するアドレスが利用できないため、コネクション接続が失敗しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 • <ipv6 address> ピアリングに使用するアドレス [対応] 頻発する場合は、エラー要因を調査してください。
05080101	S3	The peer remains in idle state because the interface to be used to the peer connection was not found. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアと接続されたインタフェースが見つからないため、ピアの状態がアイドル状態のままです。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] 1. コンフィグレーションを確認してください。 2. コンフィグレーションが正しい場合は、該当ピアと接続するインタフェースの状態を確認してください。
05080102	S3	The peer remains in idle state because the local address to be used to the peer connection was not on the same network as the peer. (peer = <bgp name>[(<description>)], address = <ipv6 address>)
		該当ピアとのコネクション接続に使用するアドレスが同一ネットワーク上にないため、ピアの状態がアイドル状態のままです。 • <bgp name> 接続先ピア名称

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <description> 接続先ピア description 名称 • <ipv6 address> コネクション接続に使用するアドレス [対応] コンフィグレーションを確認してください。
05080103	S3	The peer remains in idle state because the interface for the local address to be used to the peer connection was not found. (peer = <bgp name>[(<description>)], address = <ipv6 address>) 該当ピアとのコネクション接続に使用する自装置アドレスに対するインタフェースが見つからないため、ピアの状態がアイドル状態のままです。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 • <ipv6 address> コネクション接続に使用するアドレス [対応] コンフィグレーションを確認してください。
05080200	S4	A connection request was ignored because an acceptance of a connection failed. (socket = <socket>, error = <error string>) コネクションの受付に失敗したため、該当コネクション要求を無視しました。 • <socket> ソケットのディスクリプタ番号 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05080201	S4	The connection will be closed because a fetching of the link-local address to be used to connection failed. (peer = <bgp name>[(<description>)], error = <error string>) コネクション接続に使用するリンクローカルアドレス取り出しに失敗したため、コネクション接続をいったん終了します。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080202	S4	The connection will be closed because a fetching of the address to be used to connection failed. コネクション接続に使用するアドレス取り出しに失敗したため、コネクション接続をいったん終了します。 [対応] 頻発する場合は、ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080203	S5	A connection request was ignored because no MD5 digest was attached to the received TCP segment. (source IPv6 + TCP port = <source ipv6> +

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		<TCP port no.>, destination IPv6 + TCP port = <destination ipv6> + <TCP port no.>)
		受信した TCP セグメントに MD5 認証オプションが設定されていないため、該当コネクション要求を無視しました。このシステムメッセージは、次の契機で出力されます。 - 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 - 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 - 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1, 2 の契機で出力されます。 ただし、この回数は、次のメッセージを出力した回数の合計となります。 メッセージ種別: BGP4+ メッセージ識別子: 05080203 メッセージ種別: BGP4+ メッセージ識別子: 05080204 <source ipv6> 送信元 IPv6 アドレス <TCP port no.> TCP ポート番号 <destination ipv6> 宛先 IPv6 アドレス [対応] - 相手装置の BGP4+で MD5 認証が設定されているか確認してください。 - 設定されていない場合は、MD5 認証の設定が一致するように設定してください。 - 設定が一致している場合は、送信元 BGP4+ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか確認してください。
05080204	S5	A connection request was ignored because an invalid MD5 digest was attached. (source IPv6 + TCP port = <source ipv6> + <TCP port no.>, destination IPv6 + TCP port = <destination ipv6> + <TCP port no.>)
		受信した TCP セグメントの MD5 認証オプションが不正なため、該当コネクション要求を無視しました。このシステムメッセージは、次の契機で出力されます。 - 最初の事象発生から 16 回目までは、すべて出力されます。 - 最初の事象発生から 17 回目以降は、256 回事象が発生するごとに 1 回出力されます。 - 最後の事象発生から 3 分間以上経過してから事象が発生した場合は、上記 1, 2 の契機で出力されます。 ただし、この回数は、次のメッセージを出力した回数の合計となります。 メッセージ種別: BGP4+ メッセージ識別子: 05080203 メッセージ種別: BGP4+ メッセージ識別子: 05080204 <source ipv6> 送信元 IPv6 アドレス <TCP port no.> TCP ポート番号 <destination ipv6> 宛先 IPv6 アドレス [対応] - 自装置と相手装置の BGP4+で MD5 認証キーが一致しているか確認してください。 - MD5 認証キーが一致していない場合は、MD5 認証キーが一致するように設定してください。 - MD5 認証キーが一致している場合は、送信元 BGP4+ピア以外から TCP セグメントが送信されていないか確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05080300	S4	A peer connection closed because a message could not be sent to the peer owing to the lack of space in socket buffer. (send request message length = <length> bytes, destination peer = <bgp name>[(<description>)], error = <error string>)
		ソケットバッファがいっぱいになったため、該当ピアへのメッセージの送信に失敗しました。該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 送信要求メッセージ長 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05080301	S4	A peer connection closed because a message could not be sent to the peer. (message length = <length> bytes, destination peer = <bgp name>[(<description>)], error = <error string>)
		該当ピアへのメッセージの送信に失敗したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 送信要求メッセージ長 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05080302	S5	A message could not be sent to a peer because the connection closed. (send request = <length> bytes, destination peer = <bgp name>[(<description>))])
		コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージの送信に失敗しました。 • <length> 送信要求メッセージ長 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 [対応] 頻発する場合は、コネクションの切断原因を確認してください。
05080303	S4	A peer connection closed because the system had repeatedly failed in sending a message to the peer. (destination peer = <bgp name>[(<description>)], error = <error string>)
		該当ピアへのメッセージの再送信が失敗したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 • <error string> エラー要因 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05080304	S4	A peer connection closed because the system failed in sending a message to the peer. (send request = <length1> bytes, sent data = <length2> bytes, destination peer = <bgp name>[(<description>)], error = <error string>)
		該当ピアへのメッセージの送信に失敗したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length1> 送信要求データ長 • <length2> 送信済データ長 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05080305	S5	A message was not sent to a peer because the peer connection closed. (send request = <length1> bytes, sent data = <length2> bytes, destination peer = <bgp name>[(<description>)])
		コネクションの切断によって該当ピアへのメッセージの送信に失敗しました。 • <length1> 送信要求データ長 • <length2> 送信済データ長 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 [対応] 頻発する場合はコネクションの切断原因を確認してください。
05080306	S5	A peer connection closed because the system had repeatedly failed in sending a message to the peer. (destination peer = <bgp name>[(<description>)], sent data = <length1>, remaining = <length2>, error = <error string>)
		該当ピアへのメッセージの再送信が失敗したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 • <length1> 送信済データ長 • <length2> 送信残データ長 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05080307	S4	A peer connection closed because the system had repeatedly failed in sending KEEPALIVE messages to the peer. (destination peer = <bgp name>[(<description>)], error = <error string>)

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		該当ピアへの KEEPALIVE メッセージの送信に失敗したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05080308	S5	A NOTIFICATION message was sent to a peer. (destination peer = <bgp name>[(<description>)], code = <code> (<code string>)[, sub code = <sub code> (<sub code string>)][, value = <value>][, data = <data>]) 該当ピアに NOTIFICATION メッセージを送信しました。 • <bgp name> 送信先ピア名称 • <description> 送信先ピア description 名称 • <code> (<code string>) エラーコード • <sub code> (<sub code string>) エラーサブコード エラーコード 1 (Message Header Error) エラーサブコード 1 (lost connection synchronization) エラーサブコード 2 (bad length) エラーサブコード 3 (bad message type) エラーコード 2 (OPEN Message Error) エラーサブコード 0 (unspecified error) エラーサブコード 1 (unsupported version) エラーサブコード 2 (bad AS number) エラーサブコード 3 (bad BGP ID) エラーサブコード 4 (unsupported optional parameter) エラーサブコード 6 (unacceptable holdtime) エラーコード 3 (UPDATE Message Error) エラーサブコード 1 (invalid attribute list) エラーサブコード 2 (unknown well known attribute) エラーサブコード 3 (missing well known attribute) エラーサブコード 4 (attribute flags error) エラーサブコード 5 (bad attribute length) エラーサブコード 6 (bad ORIGIN attribute) エラーサブコード 9 (error with optional attribute) エラーサブコード 10 (bad address/prefix field) エラーサブコード 11 (AS path attribute problem) エラーコード 4 (Hold Timer Expired Error) エラーコード 5 (Finite State Machine Error) エラーコード 6 (Cease) invalid: 不正な<code>の場合の<code string> unknown: 不正な<subcode>の場合の<subcode string>

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <value> NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報 (10 進表示) • <data> NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報 (16 進表示) [対応] 1. ネットワーク構成およびピアのコンフィギュレーションを確認してください。 2. ネットワーク構成およびピアのコンフィギュレーションに問題がない場合は、ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080400	S5	A peer connection closed because a header marker in the received message was invalid. (peer = <bgp name> [(<description>)])
		受信したメッセージのヘッダマーカの値が不正なため、該当ピアの接続を切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080401	S5	A NOTIFICATION message from a peer was truncated. (peer = <bgp name>[(<description>)], length = <length>)
		該当ピアから受信した NOTIFICATION メッセージのメッセージ長が不正です。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080402	S5	A peer connection closed because there was an error in an UPDATE message from the peer. (error = <code> (<error string>), peer = <bgp name>[(<description>)], <length> bytes error data, first 5 bytes = <error data>)
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージでエラーを検出したため、該当ピアの接続を切断しました。 • <code>(<error string>) エラー要因 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <length> エラーデータ長 • <error data> エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080403	S5	A peer connection closed because the system failed in receiving a message from the peer. (source = <bgp name>[(<description>)], error = <error string>)
		該当ピアからのメッセージの受信に失敗したため、該当ピアの接続を切断しました。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <error string> エラー要因 [対応] 頻発する場合は、エラー要因を確認してください。
05080404	S5	A peer connection closed because the system failed in receiving a message from the peer owing to an unexpected EOF. (source = <bgp name>[(<description>)])
		不適切な EOF の受信によって該当ピアからのメッセージの受信に失敗したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] 頻発する場合は、コネクションの切断原因を確認してください。
05080405	S5	A peer connection closed because of an invalid message length. (source = <bgp name>[(<description>)], message type = <message type>, length = <length>)
		該当ピアから不正なメッセージ長のメッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <message type> 受信メッセージタイプ invalid, OPEN, UPDATE, NOTIFICATION, KEEPALIVE • <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080406	S5	A peer connection closed because of a reception of an unexpected message type. (source = <bgp name>[(<description>)], received type = <message type1>, expected type = <message type2>[or <message type 2>])
		該当ピアから状態に適切でないメッセージタイプのメッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <message type1> 受信メッセージタイプ invalid, OPEN, UPDATE, NOTIFICATION, KEEPALIVE • <message type2> 状態に適切なメッセージタイプ invalid, OPEN, UPDATE, NOTIFICATION, KEEPALIVE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05080407	S5	A peer connection closed because an OPEN message from the peer was too short. (source = <bgp name>[(<description>)], BGP version in message = <version>, message length = <length> octets)
		該当ピアからメッセージ長が不正な OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <version> 受信メッセージ内の BGP バージョン番号 • <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080408	S5	A peer connection closed because an OPEN message from a peer had an unsupported BGP version. (version = <version>, peer = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <version> 受信メッセージの BGP バージョン番号 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアが BGP4+をサポートしているか確認してください。
05080409	S5	A peer connection closed because the holdtime in an OPEN message from the peer was too small. (source = <bgp name>[(<description>)], holdtime = <holdtime>)
		該当ピアからホールドタイムが 3 秒より短い OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <holdtime> 受信メッセージ内のホールドタイム [対応] ピアのコンフィグレーションを確認してください。
05080410	S5	A peer connection closed because the BGP4+ identifier in an OPEN message from the peer was invalid. (source = <bgp name>[(<description>)], invalid ID = <router id>)
		該当ピアから不正な BGP4+識別子の OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <router id> 受信メッセージ内の BGP4+識別子

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080411	S5	A peer connection closed because an OPEN message from the peer had an invalid option code. (source = <bgp name>[(<description>)], option code = <option>)
		該当ピアから不正なオプションコードを含む OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <option> 受信メッセージ内のオプションコード [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080412	S3	A peer connection closed because an OPEN message from the peer had an AS number different from the configured one. (source = <bgp name>[(<description>)], message AS. = <as1>, configured AS. = <as2>)
		該当ピアから構成された AS 番号と異なる AS 番号の OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as1> 受信メッセージの AS 番号 • <as2> コンフィグレーション上のピアの AS 番号 [対応] コンフィグレーションを確認してください。
05080413	S5	A peer connection closed because the BGP version in a KEEPALIVE message from the peer was not supported by the system. (source = <bgp name>[(<description>)], source version = <version1>, this system's version = <version2>)
		該当ピアから BGP バージョン番号が不一致の状態の KEEPALIVE メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <version1> 相手側の BGP バージョン番号 • <version2> 自側の BGP バージョン番号 [対応] ピアが BGP4+をサポートしているか確認してください。
05080414	S3	A peer connection closed because the peer sending an OPEN message was not configured in the system. (source = <bgp name>)
		設定されていないピアから OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <bgp name> 送信元ピア名称 [対応] コンフィグレーションを確認してください。
05080415	S5	A peer connection closed because an OPEN message was sent from the peer in an unexpected state. (source = <bgp name>[(<description>)], state = <state>) Idle, OpenConfirm, Established 状態中に該当ピアから OPEN メッセージを受信したため、該当ピアの接続を切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <state> ピア状態 Idle, OpenConfirm, Established [対応] 接続が不安定になっています。頻発する場合は、不安定な要因を確認してください。
05080416	S5	A peer connection closed because of an unsupported BGP version in an OPEN message. (received version = <version>, source = <bgp name>[(<description>)]) 該当ピアから未サポートの BGP バージョン番号を持つ OPEN メッセージを受信したため、該当ピアの接続を切断しました。 • <version> 受信メッセージの BGP バージョン番号 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアがサポートしている BGP バージョンを確認してください。
05080417	S5	An OPEN message was ignored because of an unexpected extra data. (source = <bgp name>[(<description>)]) 該当ピアからのメッセージに不要なデータが付加されているため、該当 OPEN メッセージを無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080418	S3	The configured Capabilities for the system did not match with the received Capabilities from a peer. Only a set of matched capabilities has been enabled for the peer. (source = <bgp name>[(<description>)]) 本装置に設定されている Capability とピアから受信した Capability が一致していません。一致した Capability だけ有効にしました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] コンフィグレーションを確認してください。
05080419	S5	A peer connection closed because the message length in a message from the peer was invalid. (source = <bgp name>[(<description>)], length in header = <length>)
		該当ピアからの受信メッセージでメッセージヘッダ内のメッセージ長が不正なため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <length> 受信メッセージのヘッダのメッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080420	S5	A peer connection closed because a message type in a message from the peer was invalid. (source = <bgp name>[(<description>)], type = <type>)
		該当ピアからのメッセージのメッセージタイプが不正なため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <type> メッセージタイプ [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080421	S5	A peer connection closed because an OPEN message was received from the peer in the Established state. (source = <bgp name>[(<description>)])
		ESTABLISHED 状態で該当ピアから OPEN メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] コネクションが不安定になっています。頻発する場合は、不安定な要因を確認してください。
05080422	S5	A peer connection closed because of a too short UPDATE message from the peer. (source = <bgp name>[(<description>)], message length = <length>)
		該当ピアからの UPDATE メッセージ長が短いため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <length> 受信メッセージ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080423	S5	A peer connection closed because an unreachable prefix length of an UPDATE message from the peer exceeded the message length. (prefix length

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		= <length1>, message length = <length2>, source = <bgp name>[(<description>)] 該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長がメッセージ長を超えているため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length1> 受信メッセージ内の非到達経路情報のプレフィックス長 • <length2> 受信メッセージ長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080424	S5	A peer connection closed because an unreachable prefix length of an UPDATE message from the peer was too long. (prefix length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)] 該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が最大長を超えているため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信メッセージ内のプレフィックス長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080425	S5	A peer connection closed because a prefix length in an UPDATE message from the peer exceeded the remaining unreachable prefix data. (received prefix length = <length1>, actual length = <length2>, source = <bgp name>[(<description>)] 該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が非到達経路情報のプレフィックスデータを超過しているため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length1> 受信メッセージ内のプレフィックス長 • <length2> 実体のデータ長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080426	S5	An UPDATE message was ignored because a path attribute length of the UPDATE message from a peer was 0, but there was a data in the path attribute. (source = <bgp name>[(<description>)], data length = <length> bytes) 該当ピアからの UPDATE メッセージの属性長が 0 であるが、実体のデータが存在します。該当 UPDATE メッセージを無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <description> 送信元ピア description 名称 • <length> 実体のデータ長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080427	S5	A peer connection closed because a path attribute length of an UPDATE message from the peer exceeded the actual path attribute length. (received attribute lengths = <length1>, actual length = <length2>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアからの UPDATE メッセージのパス属性長が実体のパス属性長より長い場合、該当ピアの接続を切断しました。 • <length1> 受信メッセージのパス属性長 • <length2> 実体のデータ長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080428	S5	A peer connection closed because there was no nexthop attribute in an UPDATE message from the peer. (source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアからの UPDATE メッセージにネクストホップ属性が見つからないため、該当ピアの接続を切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080429	S5	The LOCALPREF attribute in an UPDATE message was ignored because the UPDATE message was sent from an external peer. (source = <bgp name>[(<description>)])
		該当外部ピアからの UPDATE メッセージに LOCAL_PREF 属性を含んでいます。LOCAL_PREF 属性を無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080430	S5	A peer connection closed because there was no LOCALPREF attribute in a received UPDATE message from the internal peer. (source = <bgp name>[(<description>)])
		該当内部ピアからの UPDATE メッセージに LOCAL_PREF 属性が見つからないため、該当ピアの接続を切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080431	S5	The UPDATE message was ignored because a received UPDATE message from a peer had no reachable prefixes in a path attribute. (source = <bgp name>[(<description>)]) 該当ピアからの UPDATE メッセージはパス属性を持っているが、対応する経路情報を持っていないため、該当 UPDATE メッセージを無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080432	S5	A peer connection closed because an UPDATE message from the peer in AS <as1> had an AS-path with the first-hop AS <as2>. (peer = <bgp name>[(<description>)]) AS 番号<as1>のピアからネクストホップの AS 番号が<as2>の AS パスを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <as1> 送信元ピアの AS 番号 • <as2> 受信メッセージ内のネクストホップ AS 番号 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080433	S5	A routing information in the NLRI field as described in RFC 1771 was ignored. (source = <bgp name>[(<description>)]) RFC1771 に従ったフォーマットの経路情報を無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080434	S5	A peer connection closed because of an invalid MP_REACH_NLRI attribute length in an UPDATE message. (attribute length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)]) 該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正なため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080435	S5	A peer connection closed because of an invalid MP_REACH_NLRI attribute length in an UPDATE message from the peer (no nexthop length field). (attribute length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。ネクストホップ属性長が設定されていません。該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080436	S5	A peer connection closed because of an invalid nexthop length in the MP_REACH_NLRI attribute in a UPDATE message from the peer. (nexthop length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性のネクストホップ長が不正なため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080437	S5	A peer connection closed because of an invalid MP_REACH_NLRI attribute length in an UPDATE message from the peer (no reserved field attribute length). (attribute length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。Reserved フィールド属性長が設定されていません。該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080438	S5	A peer connection closed because of an invalid MP_REACH_NLRI attribute length in an UPDATE message from the peer (no SNPA length). (attribute length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA 属性長が設定されていません。該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 • <bgp name> 送信元ピア名称

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080439	S5	A peer connection closed because of an invalid MP_REACH_NLRI attribute in an UPDATE message from the peer (no SNPA). (attribute length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)]) 該当ピアから受信した UPDATE メッセージの MP_REACH_NLRI 属性長が不正です。SNPA が設定されていません。該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信した MP_REACH_NLRI 属性長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080440	S5	A peer connection closed because a multi-protocol prefix length in an UPDATE message from a peer exceeded the remaining prefix data. (prefix length = <length1>, remaining data length = <length2>, source = <bgp name>[(<description>)]) 該当ピアからの UPDATE メッセージの経路のプレフィックス長が残データ量と比較して長すぎるため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length1> 受信メッセージ内のプレフィックス長 • <length2> 実体のデータ長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080441	S5	A peer connection closed because a multi-protocol prefix length in an UPDATE message from a peer was too long. (prefix length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)]) 該当ピアからの UPDATE メッセージの経路のプレフィックス長が最大長を超えているため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信メッセージ長 • <bgp name> 送信元のピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080442	S5	A peer connection closed because a nexthop address length was invalid. (source = <bgp name>[(<description>)], length = <length>) 該当ピアからの経路のネクストホップアドレス長が不正なため、該当ピアのコネクションを切断しました。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <length> ネクストホップアドレス長 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080443	S5	A route information was ignored because there was no nexthop address on the same network as the peer. (source = <bgp name>[(<description>)], nexthop = <ipv6 address>)
		該当ピアからの経路のネクストホップアドレスが同一ネットワーク上にないため、該当経路を無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <ipv6 address> ネクストホップアドレス [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080444	S5	A peer connection closed because the received route information from a peer was not an IPv6 unicast address. (source = <bgp name>[(<description>)], family/sub family = <family>/<sub family>)
		該当ピアから IPv6 ユニキャスト以外の経路情報を受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <family> アドレスファミリ • <sub family> サブアドレスファミリ [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080445	S5	A peer connection closed because of an invalid MP_UNREACH_NLRI attribute length in an Update message from the peer (no address family). (attribute length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアからの UPDATE メッセージの MP_UNREACH_NLRI 属性長が不正です。アドレスファミリがありません。該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信した MP_UNREACH_NLRI 属性長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080446	S5	A peer connection closed because a prefix length in an UPDATE message from a peer exceeded the remaining unreachable multi-protocol prefix data.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		(prefix length = <length1>, remaining data = <length2>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長で残りの到達経路情報のデータ長を超えているため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> ネクストホップアドレス長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080447	S5	A peer connection closed because an unreachable multi-protocol prefix length in an UPDATE message from a peer was too long. (prefix length = <length>, source = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアからの UPDATE メッセージの非到達経路情報のプレフィックス長が 128 ビットを超えているため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <length> 受信メッセージ内のプレフィックス長 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080448	S5	The route information was ignored because an unreachable muti-protocol prefix was not an IPv6 unicast address. (source = <bgp name>[(<description>)], family/sub family = <family>/<sub family>)
		該当ピアから IPv6 ユニキャスト以外の非到達経路情報を受信したため、該当経路を無視しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <family> アドレスファミリ • <sub family> サブアドレスファミリ [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080449	S5	A peer connection closed because a NOTIFICATION message was received from a peer. (source = <bgp name>[(<description>)], code = <code> (<code string>)[, sub code = <sub code> (<sub code string>)] [, value = <value>][, data = <data>])
		該当ピアから NOTIFICATION メッセージを受信したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <code> (<code string>) エラーコード • <sub code> (<sub code string>) エラーサブコード エラーコード 1 (Message Header Error)

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		エラーサブコード 1 (lost connection synchronization) エラーサブコード 2 (bad length) エラーサブコード 3 (bad message type) エラーコード 2 (OPEN Message Error) エラーサブコード 0 (unspecified error) エラーサブコード 1 (unsupported version) エラーサブコード 2 (bad AS number) エラーサブコード 3 (bad BGP ID) エラーサブコード 4 (unsupported optional parameter) エラーサブコード 6 (unacceptable holdtime) エラーサブコード 7 (unsupported capability) エラーコード 3 (UPDATE Message Error) エラーサブコード 1 (invalid attribute list) エラーサブコード 2 (unknown well known attribute) エラーサブコード 3 (missing well known attribute) エラーサブコード 4 (attribute flags error) エラーサブコード 5 (bad attribute length) エラーサブコード 6 (bad ORIGIN attribute) エラーサブコード 7 (AS loop detected) エラーサブコード 8 (invalid NEXT_HOP) エラーサブコード 9 (error with optional attribute) エラーサブコード 10 (bad address/prefix field) エラーサブコード 11 (AS path attribute problem) エラーコード 4 (Hold Timer Expired Error) エラーコード 5 (Finite State Machine Error) エラーコード 6 (Cease) invalid : 不正な<code>の場合の<code string> unknown : 不正な<subcode>の場合の<subcode string> • <value> に NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報 (10 進表示) • <data> に NOTIFICATION メッセージのデータフィールドの情報 (16 進表示) [対応] ネットワーク構成およびコンフィグレーションを確認してください。
05080450	S5	All routes learned from a peer will be deleted because the peer in a graceful restart could not retain the forwarding routes. (peer =<bgp name>)
		グレースフル・リスタートを実行したピアがフォワーディング経路を保存できなかったため、該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 • <bgp name> 接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080451	S5	A graceful restart failed because a peer connection did not reestablish within 'restart-time'. All routes learned from the peer will be deleted. (peer = <bgp name>[(<description>)])

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから指定された restart-time 以内にピアルータに接続できません。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] 1. ピアルータと通信できるか確認してください。 2. ピアルータで BGP4+が動作しているか確認してください。 3. ピアルータが動作している場合は、ピアルータの restart-time の値を、ピアルータが復旧して接続できる時間まで延ばしてください。
05080452	S5	A graceful restart failed because no End-Of-RIB marker received from a restarting router. All routes learned from the peer will be deleted. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		グレースフル・リスタートが失敗しました。ピアルータから End-Of-RIB を受信できません。該当ピアから学習していた経路をすべて削除します。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] 1. 該当ピアルータで BGP4+が動作しているか確認してください。 2. 動作している場合は、stalepath-time の値を延ばしてください。
05080453	S4	The number of prefixes received from a peer exceeded the threshold. (source = <bgp name>[(<description>)], routes from peer = <routes1>, threshold routes from peer = <routes2>)
		該当ピアから学習した経路数（アクティブ経路と非アクティブ経路の合計）が閾値を超えました。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <routes1> ピアから学習した経路数 • <routes2> ピアから学習する経路数の上限値 [対応] 該当ピアから学習する経路がさらに増加する場合は、ピアが広告する経路数を確認してください。
05080454	S3	The number of prefixes received from a peer exceeded the limit. If a 'warning-only' command is not set, the peer connection will be closed. (source = <bgp name>[(<description>)], routes from peer = <routes1>, max. routes from peer = <routes2>)
		該当ピアから学習した経路数（アクティブ経路と非アクティブ経路の合計）が上限値を超えました。コンフィグレーションで warning-only 指定がない場合はピアを切断します。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <routes1> ピアから学習した経路数 • <routes2> ピアから学習する経路数の上限値

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] 該当ピアが広告する経路数を確認してください。
05080455	S5	A peer acting as a receiving router could not retain the forwarding routes. A message sent to the peer might be discarded. (peer = <bgp name>)
		レシーブルータとして動作中のピアがフォワーディング経路を保存できません。該当ピアへ転送されたメッセージが廃棄されるおそれがあります。 • <bgp name> 接続先ピア名称 [対応] グレースフル・リスタートのネゴシエーションで、フォワーディング不可の状態を通知されました。ピアルータで障害が発生していないか確認してください。
05080456	S5	A received path attribute was ignored because an UPDATE message from a peer had a path attribute with type code 0. (source = <bgp name>[(<description>)], AS path = <as number>: <aspath>)]
		該当ピアからタイプコードが0のパス属性を含むUPDATEメッセージを受信したため、該当パス属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から1時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as number> AS 番号の数 • <aspath> AS パス AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080457	S5	A received AS4_PATH attribute was ignored because it was received from a peer that supports 4-byte AS numbers. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_PATH = <as number>: <aspath>)
		4バイトAS番号をサポートしているピアからAS4_PATH属性を受信したため、AS4_PATH属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から1時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as number> AS 番号の数 • <aspath> AS パス AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05080458	S5	A received AS4_PATH attribute was ignored because the number of AS numbers in the AS_PATH attribute was less than the number of AS numbers in the AS4_PATH attribute. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_PATH = <as number>: <aspath>)
		AS_PATH 属性の AS 番号の数が AS4_PATH 属性の AS 番号の数より小さいため、AS4_PATH 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as number> AS 番号の数 • <aspath> AS パス AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080459	S5	A received AS_CONFED_SEQUENCE segment was ignored because it was contained in an AS4_PATH attribute. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_PATH = <as number>: <aspath>)
		AS4_PATH 属性に AS_CONFED_SEQUENCE セグメントが含まれているため、AS_CONFED_SEQUENCE セグメントを無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as number> AS 番号の数 • <aspath> AS パス AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080460	S5	A received AS4_AGGREGATOR attribute was ignored because it was received from a peer that supports 4-byte AS numbers. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_AGGREGATOR = <as> <ipv4 address>)
		4 バイト AS 番号をサポートしているピアから AS4_AGGREGATOR 属性を受信したため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as> AS 番号 • <ipv4 address> IPv4 アドレス

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		[対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080461	S5	A received AS4_PATH attribute was ignored because the AGGREGATOR and AS4_AGGREGATOR attributes were received and the AS number in the AGGREGATOR attribute was not AS_TRANS. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_PATH = <as number>: <aspath>)
		AGGREGATOR 属性と AS4_AGGREGATOR 属性を受信し、AGGREGATOR 属性の AS 番号が AS_TRANS 以外のため、AS4_PATH 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as> AS 番号 • <as number> AS 番号の数 • <aspath> AS パス AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080462	S5	A received AS4_AGGREGATOR attribute was ignored because the AGGREGATOR and AS4_AGGREGATOR attributes were received and the AS number in the AGGREGATOR attribute was not AS_TRANS. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_AGGREGATOR = <as> <ipv4 address>)
		AGGREGATOR 属性と AS4_AGGREGATOR 属性を受信し、AGGREGATOR 属性の AS 番号が AS_TRANS 以外のため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as> AS 番号 • <ipv4 address> IPv4 アドレス [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080463	S5	A received AS4_AGGREGATOR attribute was ignored because there was no AGGREGATOR attribute. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_AGGREGATOR = <as> <ipv4 address>)
		AGGREGATOR 属性がないため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <as> AS 番号 • <ipv4 address> IPv4 アドレス [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080464	S5	Part of a received AS_PATH attribute was ignored because there is a conflict between the AS_PATH and AS4_PATH attributes. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS_PATH = <as number>: <aspath>) AS_PATH 属性と AS4_PATH 属性が不一致のため、AS_PATH 属性の一部を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as number> AS 番号の数 • <aspath> AS パス AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080465	S5	A received AS4_PATH attribute was ignored because the attribute length of AS4_PATH attribute from the peer was invalid. (peer = <bgp name>[(<description>)], first 5 bytes = <error data>) AS4_PATH 属性の属性長が不正のため、AS4_PATH 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <error data> エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) または該当 AS4_PATH 属性を生成したユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080466	S5	A received AS4_AGGREGATOR attribute was ignored because the attribute length of AS4_AGGREGATOR attribute from the peer was invalid. (peer = <bgp name>[(<description>)], first 5 bytes = <error data>) AS4_AGGREGATOR 属性の属性長が不正のため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <error data> エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) または該当 AS4_AGGREGATOR 属性を生成したユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05080467	S5	A received AS4_PATH attribute was ignored because the segment type in AS4_PATH attribute from the peer was invalid. (peer = <bgp name>[(<description>)], first 5 bytes = <error data>)
		AS4_PATH 属性のセグメント種別が不正のため、AS4_PATH 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <error data> エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) または該当 AS4_PATH 属性を生成したユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080468	S5	A received AS4_PATH attribute was ignored because the attribute flags in AS4_PATH attribute from the peer was invalid. (peer = <bgp name>[(<description>)], first 5 bytes = <error data>)
		AS4_PATH 属性の属性フラグが不正のため、AS4_PATH 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <error data> エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) または該当 AS4_PATH 属性を生成したユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080469	S5	A received AS4_AGGREGATOR attribute was ignored because the attribute flags in AS4_AGGREGATOR attribute from the peer was invalid. (peer = <bgp name>[(<description>)], first 5 bytes = <error data>)
		AS4_AGGREGATOR 属性の属性フラグが不正のため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <error data> エラーデータの先頭 5 バイト [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) または該当 AS4_AGGREGATOR 属性を生成したユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080470	S5	A received AS4_PATH attribute was ignored because there was duplicated AS4_PATH attribute in an UPDATE message from the peer. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_PATH = <as number>: <aspath>)
		AS4_PATH 属性が重複しているため、AS4_PATH 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		• <as number> AS 番号の数 • <aspath> AS パス AS 番号列: AS_SEQ {AS 番号列}: AS_SET (AS 番号列): AS_CONFED_SEQUENCE [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) または該当 AS4_PATH 属性を生成したユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080471	S5	A received AS4_AGGREGATOR attribute was ignored because there was duplicated AS4_AGGREGATOR attribute in an UPDATE message from the peer. (peer = <bgp name>[(<description>)], AS4_AGGREGATOR = <as> <ipv4 address>)
		AS4_AGGREGATOR 属性が重複しているため、AS4_AGGREGATOR 属性を無視しました。このシステムメッセージは、同一ピアで前回の出力から 1 時間以内は再出力しません。 • <bgp name> 送信元ピア名称 • <description> 送信元ピア description 名称 • <as> AS 番号 • <ipv4 address> IPv4 アドレス [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) または該当 AS4_AGGREGATOR 属性を生成したユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080500	S5	A peer connection closed because the holdtime for the peer timed out. (peer = <bgp name>[(<description>)])
		該当ピアに対するホールドタイムアウトが発生したため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 • <description> 接続先ピア description 名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。
05080501	S5	A peer connection closed because no OPEN message received from the peer before the expiry of its holdtime. (peer = <bgp name>)
		該当ピアとの OPEN メッセージ待ちタイマがタイムアウトしたため、該当ピアのコネクションを切断しました。 • <bgp name> 接続先ピア名称 [対応] ピアのユニキャストルーティングプログラム (BGP4+) を確認してください。

9.8 UNICAST

メッセージ種別 UNICAST のシステムメッセージを次の表に示します。

表 9-8 メッセージ種別 UNICAST のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
05010000	S4	The dump collection was canceled because of a lack of memory.
		dump protocols unicast コマンドによるユニキャストルーティングプログラムの制御情報ダンプ収集中に、システムのメモリ残量が一時的に既定値を下回ったため、ダンプ収集を中断しました。 [対応] コマンド実行するために必要な空きメモリ量が不足しています。収容条件を見直してください。
05010100	S4	The number of IPv4 unicast routes on the global network exceeded the warning threshold.
		グローバルネットワークの IPv4 ユニキャスト経路数が警告閾値を超過しました。 [対応] 経路を追加する場合は、最大経路数を超えないように注意してください。
05010101	S4	The number of IPv4 unicast routes on a VRF exceeded the warning threshold.
		VRF <vrf id>の IPv4 ユニキャスト経路数が警告閾値を超過しました。 [対応] 経路を追加する場合は、最大経路数を超えないように注意してください。
05010102	S3	The number of IPv4 unicast routes on the global network exceeded the limit.
		グローバルネットワークの IPv4 ユニキャスト経路数が最大経路数を超過しました。 [対応] 1. 不要な経路を削除してください。 2. コンフィグレーションで指定した最大経路数を見直してください。
05010103	S3	The number of IPv4 unicast routes on a VRF exceeded the limit.
		VRF <vrf id>の IPv4 ユニキャスト経路数が最大経路数を超過しました。 [対応] 1. 不要な経路を削除してください。 2. コンフィグレーションで指定した最大経路数を見直してください。
05010104	S4	The number of IPv6 unicast routes on the global network exceeded the warning threshold.
		グローバルネットワークの IPv6 ユニキャスト経路数が警告閾値を超過しました。 [対応] 経路を追加する場合は、最大経路数を超えないように注意してください。
05010105	S4	The number of IPv6 unicast routes on a VRF exceeded the warning threshold.

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		VRF <vrf id>のIPv6 ユニキャスト経路数が警告閾値を超過しました。 [対応] 経路を追加する場合は、最大経路数を超えないように注意してください。
05010106	S3	The number of IPv6 unicast routes on the global network exceeded the limit. グローバルネットワークのIPv6 ユニキャスト経路数が最大経路数を超過しました。 [対応] 1. 不要な経路を削除してください。 2. コンフィグレーションで指定した最大経路数を見直してください。
05010107	S3	The number of IPv6 unicast routes on a VRF exceeded the limit. VRF <vrf id>のIPv6 ユニキャスト経路数が最大経路数を超過しました。 [対応] 1. 不要な経路を削除してください。 2. コンフィグレーションで指定した最大経路数を見直してください。
05010200	S4	A graceful restart failed. グレースフル・リスタートに失敗しました。 [対応] グレースフル・リスタート中に再び系切替やユニキャストルーティングプログラムの再起動が発生していないか確認してください。

10 マルチキャストルーティング

10.1 PIM-IPv4

メッセージ種別 PIM-IPv4 のシステムメッセージを次の表に示します。

表 10-1 メッセージ種別 PIM-IPv4 のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
0f040001	S5	A received Bootstrap message was ignored because a unicast route to the BSR was not found. (source = <source address>, BSR address = <ip address>)
		PIM Bootstrap メッセージ内のブートストラップルータアドレスへのユニキャスト経路が見つからないため、受信 PIM メッセージを無視しました。 • <source address> 送信元 IPv4 アドレス • <ip address> ブートストラップルータアドレス [対応] PIM Bootstrap メッセージ内のブートストラップルータアドレスへの経路が存在するか確認してください。
0f040002	S5	BSR information was cleared because Rendezvous Point advertisements from the Bootstrap router were lost.
		ブートストラップルータからの広告がなくなったため、ブートストラップルータ情報をクリアしました。 [対応] ブートストラップルータの広告がなくなった要因を確認してください。
0f040003	S6	BSR address has been changed. (new BSR address = <ip address>)
		ブートストラップルータアドレスが<ip address>に更新されました。 • <ip address> ブートストラップルータアドレス ブートストラップルータアドレスが本装置の場合は、IPv4 アドレスの後ろに"(this system)"が表示されます。 [対応] なし。
0f040004	S5	Deleted a neighbor because no Hello message has been advertised from the neighbor recently. (neighbor = <neighbor address>, interface = <interface name>, Generation ID = <generation id>)
		隣接ルータから PIM Hello メッセージを一定時間受信しなかったため、隣接関係を削除しました。 • <neighbor address> 隣接ルータのアドレス • <interface name> インタフェース名 • <generation id> Generation ID NONE : Generation ID が未サポート [対応] 1. 隣接ルータが動作を停止した場合、本装置と隣接ルータ間の通信に不具合がないことを確認してください。 2. 問題がない場合、本装置の CPU 負荷が上がっていないか show cpu コマンドで確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
0f040005	S5	Deleted a neighbor because a Hello message with holdtime 0 has been advertised from the neighbor. (neighbor = <neighbor address>, interface = <interface name>, Generation ID = <generation id>)
		隣接ルータからホールドタイム値 0 の PIM Hello メッセージを受信したため、隣接関係を削除しました。 • <neighbor address> 隣接ルータのアドレス • <interface name> インタフェース名 • <generation id> Generation ID NONE : Generation ID が未サポート [対応] なし。
0f040006	S6	Added a neighbor. (neighbor = <neighbor address>, interface = <interface name>, Generation ID = <generation id>)
		新しい隣接ルータを検出しました。 • <neighbor address> 隣接ルータのアドレス • <interface name> インタフェース名 • <generation id> Generation ID NONE : Generation ID が未サポート [対応] なし。
0f040008	S5	Refreshed a neighbor because of a change of Generation ID. (neighbor = <neighbor address>, interface = <interface name>, old Generation ID = <old generation id>, new Generation ID = <new generation id>)
		隣接ルータの Generation ID が変化しました。 • <neighbor address> 隣接ルータのアドレス • <interface name> インタフェース名 • <old generation id> 変化前の Generation ID NONE : 隣接ルータが未サポート • <new generation id> : 変化後の Generation ID NONE : 隣接ルータが未サポート [対応] なし。
0f040009	S6	Updated a DR address. (interface = <interface name>, old DR address = <old ip address>, new DR address = <ip address>)
		インタフェース<interface name>上で、DR アドレスが<ip address>に更新されました。 • <interface name> インタフェース名 • <old ip address> 前回の DR アドレス • <ip address> DR アドレス

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
	内容と対応	
	[対応] なし。	

10.2 IGMP

メッセージ種別 IGMP のシステムメッセージを次の表に示します。

表 10-2 メッセージ種別 IGMP のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
0f030001	S6	Updated a querier address. (interface = <interface name>, new querier = <ip address>, old querier = <old ip address>)
		インタフェース<interface name>上で, Querier が<ip address>に更新されました。 • <interface name> インタフェース名 • <ip address> Querier IPv4 アドレス (this system) : Querier IPv4 アドレスが本装置 • <old ip address> 前回の Querier IPv4 アドレス (this system) : 前回の Querier IPv4 アドレスが本装置 [対応] なし。

10.3 PIM-IPv6

メッセージ種別 PIM-IPv6 のシステムメッセージを次の表に示します。

表 10-3 メッセージ種別 PIM-IPv6 のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
19040001	S5	A received Bootstrap message was ignored because a unicast route to the BSR was not found. (source = <source address>, BSR address = <ipv6 address>)
		PIM Bootstrap メッセージ内のブートストラップルータアドレスへのユニキャスト経路が見つからないため、受信 PIM メッセージを無視しました。 • <source address> 送信元 IPv6 アドレス • <ipv6 address> ブートストラップルータアドレス [対応] PIM Bootstrap メッセージ内のブートストラップルータアドレスへの経路が存在するか確認してください。
19040002	S5	BSR information was cleared because Rendezvous Point advertisements from the Bootstrap router were lost.
		ブートストラップルータからの広告がなくなったため、ブートストラップルータ情報をクリアしました。 [対応] ブートストラップルータからの広告がなくなった要因を確認してください。
19040003	S6	BSR address has been changed. (new BSR address = <ipv6 address>)
		ブートストラップルータアドレスが<ipv6 address>に更新されました。 • <ipv6 address> ブートストラップルータアドレス ブートストラップルータアドレスが本装置の場合は、IPv6 アドレスの後ろに"(this system)"が表示されます。 [対応] なし。
19040004	S5	Deleted a neighbor because no Hello message has been advertised from the neighbor recently. (neighbor = <neighbor address>, interface = <interface name>, Generation ID = <generation id>)
		隣接ルータから PIM Hello メッセージを一定時間受信しなかったため、隣接関係を削除しました。 • <neighbor address> 隣接ルータのアドレス • <interface name> インタフェース名 • <generation id> Generation ID NONE : Generation ID が未サポート [対応] 1. 隣接ルータが動作を停止した場合、本装置と隣接ルータ間の通信に不具合がないことを確認してください。 2. 問題がない場合、本装置の CPU 負荷が上がっていないか show cpu コマンドで確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
19040005	S5	Deleted a neighbor because a Hello message with holdtime 0 has been advertised from the neighbor. (neighbor = <neighbor address>, interface = <interface name>, Generation ID = <generation id>)
		隣接ルータからホールドタイム値 0 の PIM Hello メッセージを受信したため、隣接関係を削除しました。 • <neighbor address> 隣接ルータのアドレス • <interface name> インタフェース名 • <generation id> Generation ID NONE : Generation ID が未サポート [対応] なし。
19040006	S6	Added a neighbor. (neighbor = <neighbor address>, interface = <interface name>, Generation ID = <generation id>)
		新しい隣接ルータを検出しました。 • <neighbor address> 隣接ルータのアドレス • <interface name> インタフェース名 • <generation id> Generation ID NONE : Generation ID が未サポート [対応] なし。
19040008	S5	Refreshed a neighbor because of a change of Generation ID. (neighbor = <neighbor address>, interface = <interface name>, old Generation ID = <old generation id>, new Generation ID = <new generation id>)
		隣接ルータの Generation ID が変化しました。 • <neighbor address> 隣接ルータのアドレス • <interface name> インタフェース名 • <old generation id> 変化前の Generation ID NONE : 隣接ルータが未サポート • <new generation id> 変化後の Generation ID NONE : 隣接ルータが未サポート [対応] なし。
19040009	S6	Updated a DR address. (interface = <interface name>, old DR address = <old ipv6 address>, new DR address = <ipv6 address>)
		インタフェース<interface name>上で、DR アドレスが<ipv6 address>に更新されました。 • <interface name> インタフェース名 • <old ipv6 address> 前回の DR アドレス • <ipv6 address> DR アドレス

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
	内容と対応	
	[対応] なし。	

10.4 MLD

メッセージ種別 MLD のシステムメッセージを次の表に示します。

表 10-4 メッセージ種別 MLD のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
19030001	S6	Updated a querier address. (interface = <interface name>, new querier = <ipv6 address>, old querier = <old ipv6 address>)
		インタフェース<interface name>上で、Querier が<ipv6 address>に更新されました。 • <interface name> インタフェース名 • <ipv6 address> Querier IPv6 アドレス (this system) : Querier IPv6 アドレスが本装置 • <old ipv6 address> 前回の Querier IPv6 アドレス (this system) : 前回の Querier IPv6 アドレスが本装置 [対応] なし。

10.5 MULTI-IPv4

メッセージ種別 MULTI-IPv4 のシステムメッセージを次の表に示します。

表 10-5 メッセージ種別 MULTI-IPv4 のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
0f020001	S6	The IPv4 multicast routing program (pimd) restarted because the IPv4 multicast (PIM) max-interfaces configuration was changed.
		ランニングコンフィグレーションの IPv4 マルチキャスト (PIM) 情報がコンフィグレーションコマンド ip pim max-interface で変更されたため、IPv4 マルチキャストルーティングプログラムを再起動しました。 [対応] なし。
0f020002	S3	Suspended learning IPv4 multicast routing entries because the number of routing entries exceeded the maximum. (number = <number>)
		IPv4 マルチキャスト経路情報が制限によって最大値<number>を超えたため、エントリを廃棄しました。 • <number> IPv4 マルチキャスト経路情報の最大数 [対応] 1. 想定以上のマルチキャスト経路情報追加要求が発生していないか確認してください。マルチキャスト経路情報が制限によって最大値を超えています。 2. コンフィグレーションコマンド ip pim mroute-limit の設定内容を確認してください。 3. ネットワーク構成を確認して、本装置の構成を再検討してください。
0f020003	S6	Resumed learning IPv4 multicast routing entries because the number of routing entries fell below the maximum. (number = <number>)
		IPv4 マルチキャスト経路情報の追加要求を廃棄する状態から回復しました。 • <number> IPv4 マルチキャスト経路情報の最大数 [対応] なし。
0f020004	S3	Suspended creating IPv4 multicast forwarding entries because the number of forwarding entries exceeded the maximum. (number = <number>)
		IPv4 マルチキャスト中継エントリが制限によって最大値<number>を超えたため、エントリを廃棄しました。 • <number> IPv4 マルチキャスト中継エントリの最大数 [対応] 1. 想定以上のマルチキャスト中継エントリ追加要求が発生していないか確認してください。マルチキャスト中継エントリが制限によって最大値を超えています。 2. 中継しないマルチキャストパケットの受信によって、ネガティブキャッシュが生成されていないか確認してください。 3. コンフィグレーションコマンド ip pim mcache-limit の設定内容を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		4. ネットワーク構成を確認して、本装置の構成を再検討してください。
0f020005	S6	Resumed creating IPv4 multicast forwarding entries because the number of forwarding entries fell below the maximum. (number = <number>)
		IPv4 マルチキャスト中継エントリの追加要求を廃棄する状態から回復しました。 • <number> IPv4 マルチキャスト中継エントリの最大数 [対応] なし。
0f020006	S3	Suspended receiving IGMP requests because the number of IGMP groups exceeded the limit number at interface. (number = <number>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>で、IGMP マルチキャストグループ制限値<number>を超える要求があったため、要求を廃棄しました。 • <number> IGMP マルチキャストグループ制限値 • <interface name> インタフェース名 [対応] 1. 想定以上の IGMP マルチキャストグループ追加要求が発生していないか確認してください。 2. コンフィグレーションコマンド ip igmp group-limit の設定内容を確認してください。 3. ネットワーク構成を確認して、本装置の構成を再検討してください。
0f020007	S6	Resumed receiving IGMP requests because the number of IGMP groups fell below the limit number at interface. (number = <number>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>で、IGMP マルチキャストグループの追加要求を廃棄する状態から回復しました。 • <number> IGMP マルチキャストグループ制限値 • <interface name> インタフェース名 [対応] なし。
0f020008	S3	Suspended receiving IGMP requests because the number of IGMP sources exceeded the limit number at interface. (number = <number>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>で、IGMP マルチキャストグループに属するソースの制限値<number>を超える要求があったため、要求を廃棄しました。 • <number> IGMP マルチキャストグループに属するソース制限値 • <interface name> インタフェース名 [対応] 1. 想定以上の IGMP マルチキャストグループに属するソース追加要求が発生していないか確認してください。 2. コンフィグレーションコマンド ip igmp source-limit の設定内容を確認してください。 3. ネットワーク構成を確認して、本装置の構成を再検討してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
0f020009	S6	Resumed receiving IGMP requests because the number of IGMP sources fell below the limit number at interface. (number = <number>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>で、IGMP マルチキャストグループに属するソースの追加要求を廃棄する状態から回復しました。 • <number> IGMP マルチキャストグループに属するソース制限値 • <interface name> インタフェース名 [対応] なし。
0f02000a	S5	Learning of IPv4 multicast routing entries started because a BCU switchover occurred. (aging time = <time> seconds)
		待機系から運用系への系切替による、IPv4 マルチキャスト経路情報の学習を開始しました（学習時間は約<time>秒です）。 • <time> IPv4 マルチキャスト経路情報の再学習時間 [対応] なし。
0f02000b	S6	Learning of IPv4 multicast routing entries finished after a BCU switchover occurred.
		待機系から運用系への系切替による、IPv4 マルチキャスト経路情報の学習が終了しました。 [対応] なし。

10.6 MULTI-IPv6

メッセージ種別 MULTI-IPv6 のシステムメッセージを次の表に示します。

表 10-6 メッセージ種別 MULTI-IPv6 のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
19020001	S6	The IPv6 multicast routing program (pim6sd) restarted because the IPv6 multicast (PIM6) max-interfaces configuration was changed.
		ランニングコンフィグレーションの IPv6 マルチキャスト (PIM6) 情報がコンフィグレーションコマンド <code>ipv6 pim max-interface</code> で変更されたため、IPv6 マルチキャストルーティングプログラムを再起動しました。 [対応] なし。
19020002	S3	Suspended learning IPv6 multicast routing entries because the number of routing entries exceeded the maximum. (number = <number>)
		IPv6 マルチキャスト経路情報が制限によって最大値<number>を超えたため、エントリを廃棄しました。 • <number> IPv6 マルチキャスト経路情報の最大数 [対応] 1. 想定以上のマルチキャスト経路情報追加要求が発生していないか確認してください。マルチキャスト経路情報が制限によって最大値を超えています。 2. コンフィグレーションコマンド <code>ipv6 pim mroute-limit</code> の設定内容を確認してください。 3. ネットワーク構成を確認して、本装置の構成を再検討してください。
19020003	S6	Resumed learning IPv6 multicast routing entries because the number of routing entries fell below the maximum. (number = <number>)
		IPv6 マルチキャスト経路情報の追加要求を廃棄する状態から回復しました。 • <number> IPv6 マルチキャスト経路情報の最大数 [対応] なし。
19020004	S3	Suspended creating IPv6 multicast forwarding entries because the number of forwarding entries exceeded the maximum. (number = <number>)
		IPv6 マルチキャスト中継エントリが制限によって最大値<number>を超えたため、エントリを廃棄しました。 • <number> IPv6 マルチキャスト中継エントリの最大数 [対応] 1. 想定以上のマルチキャスト中継エントリ追加要求が発生していないか確認してください。マルチキャスト中継エントリが制限によって最大値を超えています。 2. 中継しないマルチキャストパケットの受信によって、ネガティブキャッシュが生成されていないか確認してください。 3. コンフィグレーションコマンド <code>ipv6 pim mcache-limit</code> の設定内容を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		4. ネットワーク構成を確認して、本装置の構成を再検討してください。
19020005	S6	Resumed creating IPv6 multicast forwarding entries because the number of forwarding entries fell below the maximum. (number = <number>)
		IPv6 マルチキャスト中継エントリの追加要求を廃棄する状態から回復しました。 • <number> IPv6 マルチキャスト中継エントリの最大数 [対応] なし。
19020006	S3	Suspended receiving MLD requests because the number of MLD groups exceeded the limit number at interface. (number = <number>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>で、MLD マルチキャストグループ制限値<number>を超える要求があったため、要求を廃棄しました。 • <number> MLD マルチキャストグループ制限値 • <interface name> インタフェース名 [対応] 1. 想定以上の MLD マルチキャストグループ追加要求が発生していないか確認してください。 2. コンフィグレーションコマンド ipv6 mld group-limit の設定内容を確認してください。 3. ネットワーク構成を確認して、本装置の構成を再検討してください。
19020007	S6	Resumed receiving MLD requests because the number of MLD groups fell below the limit number at interface. (number = <number>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>で、MLD マルチキャストグループの追加要求を廃棄する状態から回復しました。 • <number> MLD マルチキャストグループ制限値 • <interface name> インタフェース名 [対応] なし。
19020008	S3	Suspended receiving MLD requests because the number of MLD sources exceeded the limit number at interface. (number = <number>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>で、MLD マルチキャストグループに属するソースの制限値<number>を超える要求があったため、要求を廃棄しました。 • <number> MLD マルチキャストグループに属するソース制限値 • <interface name> インタフェース名 [対応] 1. 想定以上の MLD マルチキャストグループに属するソース追加要求が発生していないか確認してください。 2. コンフィグレーションコマンド ipv6 mld source-limit の設定内容を確認してください。 3. ネットワーク構成を確認して、本装置の構成を再検討してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
19020009	S6	Resumed receiving MLD requests because the number of MLD sources fell below the limit number at interface. (number = <number>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>で、MLD マルチキャストグループに属するソースの追加要求を廃棄する状態から回復しました。 • <number> MLD マルチキャストグループに属するソース制限値 • <interface name> インタフェース名 [対応] なし。
1902000a	S3	Suspended receiving MLD requests because the number of MLD hosts exceeded the total-limit at VRF. (total-limit = <number>)
		VRF <vrf id>で、MLD 受信者数の制限値<number>を超える要求があったため、要求を廃棄しました。 • <number> VRF に設定した総受信者数 [対応] 1. 想定以上の受信者が存在していないか確認してください。 2. コンフィグレーションコマンド ipv6 mld explicit-tracking の設定内容を確認してください。 3. ネットワーク構成を確認して、本装置の構成を再検討してください。
1902000b	S6	Resumed receiving MLD requests because the number of MLD hosts fell below the total-limit at VRF. (total-limit = <number>)
		VRF <vrf id>で、MLD 受信者の追加要求を廃棄する状態から回復しました。 • <number> VRF に設定した総受信者数 [対応] なし。
1902000c	S3	Suspended receiving MLD requests because the number of MLD hosts exceeded the total-limit at global network. (total-limit = <number>)
		グローバルネットワークで、MLD 受信者数の制限値<number>を超える要求があったため、要求を廃棄しました。 • <number> グローバルネットワークに設定した総受信者数 [対応] 1. 想定以上の受信者が存在していないか確認してください。 2. コンフィグレーションコマンド ipv6 mld explicit-tracking の設定内容を確認してください。 3. ネットワーク構成を確認して、本装置の構成を再検討してください。
1902000d	S6	Resumed receiving MLD requests because the number of MLD hosts fell below the total-limit at global network. (total-limit = <number>)
		グローバルネットワークで、MLD 受信者の追加要求を廃棄する状態から回復しました。 • <number> グローバルネットワークに設定した総受信者数 [対応]

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		なし。
1902000e	S3	Suspended receiving MLD requests because the number of MLD hosts exceeded the limit at interface. (limit = <number>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>で、MLD 受信者数の制限値<number>を超える要求があったため、要求を廃棄しました。 • <number> インタフェースに設定した受信者数 • <interface name> インタフェース名 [対応] 1. 想定以上の受信者が存在していないか確認してください。 2. コンフィグレーションコマンド <code>ipv6 mld explicit-tracking</code> の設定内容を確認してください。 3. ネットワーク構成を確認して、本装置の構成を再検討してください。
1902000f	S6	Resumed receiving MLD requests because the number of MLD hosts fell below the limit at interface. (limit = <number>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>で、MLD 受信者の追加要求を廃棄する状態から回復しました。 • <number> インタフェースに設定した受信者数 • <interface name> インタフェース名 [対応] なし。
19020010	S3	Suspended receiving MLD requests because the bandwidth exceeded the limit at interface. (limit = <value>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>で、帯域制限値<value>を超える要求があったため、要求を廃棄しました。 • <value> インタフェースに設定した帯域制限値 • <interface name> インタフェース名 [対応] 1. 想定以上の MLD マルチキャストグループ追加要求が発生していないか確認してください。 2. コンフィグレーションコマンド <code>ipv6 mld bandwidth-limit</code> の設定内容を確認してください。 3. ネットワーク構成を確認して、本装置の構成を再検討してください。
19020011	S6	Resumed receiving MLD requests because the bandwidth fell below the limit at interface. (limit = <value>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>で、帯域の追加要求を廃棄する状態から回復しました。 • <value> インタフェースに設定した帯域制限値 • <interface name> インタフェース名 [対応] なし。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
19020012	S3	Suspended receiving MLD requests because the number of multicast channels exceeded the limit at interface. (limit = <number>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>で、マルチキャストチャンネル数の制限値<number>を超える要求があったため、要求を廃棄しました。 • <number> インタフェースに設定したマルチキャストチャンネル数 • <interface name> インタフェース名 [対応] 1. 想定以上の MLD マルチキャストグループ追加要求が発生していないか確認してください。 2. コンフィグレーションコマンド ipv6 mld channel-limit の設定内容を確認してください。 3. ネットワーク構成を確認して、本装置の構成を再検討してください。
19020013	S6	Resumed receiving MLD requests because the number of multicast channels fell below the limit at interface. (limit = <number>, interface = <interface name>)
		インタフェース<interface name>で、マルチキャストチャンネル数の追加要求を廃棄する状態から回復しました。 • <number> インタフェースに設定したマルチキャストチャンネル数 • <interface name> インタフェース名 [対応] なし。
19020014	S5	Learning of IPv6 multicast routing entries started because a BCU switchover occurred. (aging time = <time> seconds)
		待機系から運用系への系切替による IPv6 マルチキャスト経路情報の学習を開始しました（学習時間は約<time>秒です）。 • <time> IPv6 マルチキャスト経路情報の再学習時間 [対応] なし。
19020015	S6	Learning of IPv6 multicast routing entries finished after a BCU switchover occurred.
		待機系から運用系への系切替による IPv6 マルチキャスト経路情報の学習が終了しました。 [対応] なし。
19020016	S3	Learning of IPv6 multicast routing entries failed after a BCU switchover occurred.
		待機系から運用系への系切替後、IPv6 マルチキャスト経路情報の学習に失敗したエントリがあります。 [対応] 送信元へのユニキャスト経路または隣接ルータを確認してください。

10.7 MULTI-INFO

メッセージ種別 MULTI-INFO のシステムメッセージを次の表に示します。

表 10-7 メッセージ種別 MULTI-INFO のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
19050001	S6	An interface was added from the output interface list of IPv6 multicast forwarding entries. (interface = <interface name>, source = <source address>, group = <group address>)
		IPv6 マルチキャスト中継エントリの出力インタフェースリストにインタフェース<interface name>を追加しました。このメッセージはコンフィグレーションコマンド ipv6 multicast join-prune-event logging enable を指定した場合に出力されます。 • <interface name> インタフェース名 • <source address> 送信元 IPv6 アドレス • <group address> IPv6 グループアドレス [対応] なし。
19050002	S6	An interface was deleted from the output interface list of IPv6 multicast forwarding entries. (interface = <interface name>, source = <source address>, group = <group address>)
		IPv6 マルチキャスト中継エントリの出力インタフェースリストからインタフェース<interface name>を削除しました。このメッセージはコンフィグレーションコマンド ipv6 multicast join-prune-event logging enable を指定した場合に出力されます。 • <interface name> インタフェース名 • <source address> 送信元 IPv6 アドレス • <group address> IPv6 グループアドレス [対応] なし。

11 ネットワーク経路監視機能

11.1 BFD

メッセージ種別 BFD のシステムメッセージを次の表に示します。

表 11-1 メッセージ種別 BFD のシステムメッセージ

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
47010101	S3	The number of BFD sessions exceeded the limit.
		BFD セッションの数が収容条件を超えたため、超過分の BFD 監視は実施されません。 [対応] 収容条件を超えない運用をしてください。 該当の BFD 監視を有効にする場合は、不要な BFD 監視設定を削除したあと restart bfd コマンドを実行してください。
47010102	S3	The sending rate of BFD sessions exceeded the limit.
		BFD セッションの送信レートが収容条件を超えたため、超過分の BFD 監視は実施されません。 [対応] 収容条件を超えない運用をしてください。 該当の BFD 監視を有効にする場合は、不要な BFD 監視設定を削除したあと restart bfd コマンドを実行してください。
47010103	S3	BFD sessions could not be set because an error occurred.
		BFD セッションの設定に失敗しました。 [対応] 本装置が対向装置と通信できる状態であることを確認してください。 該当の BFD 監視を有効にする場合は、設定を見直したあと restart bfd コマンドを実行してください。
47010201	S5	BFD packets cannot be sent because no valid loopback interface address has been set. (remote address = <address>, session index = <index>)
		有効なループバックインタフェースアドレスが設定されていないため、BFD パケットを送信できません。 • <address> リモートシステムの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス • <index> BFD セッション番号 [対応] ループバックインタフェースに有効な IP アドレスを設定してください。
47010202	S5	BFD packets cannot be sent because no valid next hop exists. (remote address = <address>, session index = <index>)
		有効なネクストホップが存在しないため、BFD パケットを送信できません。 • <address> リモートシステムの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス • <index> BFD セッション番号 [対応] インタフェースの状態を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
47010203	S5	The BFD session status changed. (remote address = <address>, session index = <index>, state = <old state> to <new state>[, diagnostic code = <diag code>])
		BFD セッションの状態が変更されました。 • <address> リモートシステムの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス • <index> BFD セッション番号 • <old state> 変更前のセッション状態 Down：ダウン Init：確立要求中 Up：アップ AdminDown：管理的ダウン • <new state> 変更後のセッション状態 • <diag code> リモートシステムからの診断コード（変更後がダウンまたは管理的ダウン時） Control Detection Time Expired Neighbor Signaled Session Down Forwarding Plane Reset Path Down Administratively Down [対応] 意図した変更でない場合、診断コードを基に本装置の運用、および相手装置との通信状態を確認してください。 • Control Detection Time Expired 障害検出時間の間リモートシステムから有効な BFD パケットを受信できていません。 • Neighbor Signaled Session Down リモートシステムから BFD セッションのダウンを通知されています。 • Forwarding Plane Reset clear bfd session コマンドによるダウンです。 • Path Down 送信インタフェースまたは経路がダウンしています。 • Administratively Down 管理的ダウンです。管理的ダウンは、本装置の運用状態による意図的な抑止であることを示します。収容条件や通信状態、設定を見直した上で clear bfd session コマンドまたは restart bfd コマンドを実行してください。
47010205	S5	No BFD packets were received from the remote system during the failure detection period. (remote address = <address>, session index = <index>)
		障害検出時間内に BFD パケットを受信しませんでした。 • <address> リモートシステムの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス • <index> BFD セッション番号 [対応] 相手装置との通信状態を確認してください。

メッセージ 識別子	イベント レベル	メッセージテキスト
		内容と対応
		問題がない場合は、本装置のコンフィグレーションおよびリモートシステムの設定を調査し、本装置の最小受信間隔をリモートシステムの最小送信間隔より長く設定してください。
47010206	S5	The BFD session could not be cleared. (remote address = <address>, session index = <index>)
		clear bfd session コマンドによる BFD セッションの切断に失敗しました。 • <address> リモートシステムの IPv4 アドレスまたは IPv6 アドレス • <index> BFD セッション番号 [対応] show bfd session コマンドで対象の BFD セッションが存在することを確認してください。存在する場合は時間をおいて、再実行してください。 頻発する場合は、restart bfd コマンドを実行してください。

索引

A

ACCESS 78
ACLLOG 128
AXRP 121

B

BCU 12
BFD 256
BGP4 176
BGP4+ 205

C

CFM 139
ChGr 105
CONFIG 72

D

DHCP 153

E

EFMOAM 138
EVENT-MNG 99

F

FAN 52

I

IGMP 241
IGMPsnoop 123
IP 146
IP パケット中継 145

L

L2LD 130
LLDP 144

M

MLD 245
MLDsnoop 125
MULTI-INFO 254
MULTI-IPv4 246

MULTI-IPv6 249

N

NIF 43
NTP 86

O

OSPF 165
OSPFv3 171

P

PBR 152
PIM-IPv4 238
PIM-IPv6 242
PORT 102
PRU 28
PS 49

R

RIP 159
RIPng 163

S

SCRIPT 98
SCRIPT-MNG 96
SFU 24
SNMP 94
SOFTWARE 56
SOP-KEY 88
SOP-RSP 90
STATIC 158
STMCTL 133
STP 113

T

TRACK 135

U

UNICAST 234

V

VLAN 112

VRRP 154

い

イベントレベル 6

う

運用管理 55

運用ログと統計ログの特徴 3

運用ログのフォーマット 4

か

画面出力時のフォーマット 2

し

システムメッセージ 1

システムメッセージのフォーマット 2

システムメッセージの要素 6

と

統計ログのフォーマット 5

ね

ネットワークインタフェース 101

ネットワーク監視機能 127

ネットワーク経路監視機能 255

ネットワークの管理 137

は

ハードウェア 11

ま

マルチキャストルーティング 237

め

メッセージ種別 6

メッセージ種別詳細情報 8

メッセージの種類と参照先 2

ゆ

ユニキャストルーティング 157

れ

レイヤ2スイッチング 111

ろ

ログの種類 2